

プログラム

Program

PL	会長講演	2
SL	特別講演	3
SEL	特別教育講演	4
EL	教育講演	5
IL	海外招待講演	13
SY	シンポジウム	19
IS	国際シンポジウム	26
GS	学会助成研究成果報告講演	31
SE	編集委員会セミナー	32
EXS	交流集会	33
PC	ポストコンGRESセミナー	35
SES	Special English Session	40
LS	ランチョンセミナー	41
SSY	スポンサードシンポジウム	46
SS	スポンサードセミナー	47
HS	ハンズオンセミナー	48
ENS	English Session (Oral)	49
O	一般演題 口演発表	59
PE	English Session (Poster)	123
P	一般演題 ポスター発表	132

会長講演 Presidential Lecture PL

9月12日（土）September 12 (Sat) 14：00～14：50
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

会長講演
「State of the Art を超えて」

座長：水上 美樹（日本歯科大学東京短期大学 歯科衛生学科 / 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
PL	か が や ひ と し 加賀谷 斉 Hitoshi Kagaya	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部	医師	State of the Art を超えて Beyond the State of the Art

特別講演 Special Lecture SL

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:55~11:40
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

特別講演 1
「Evolution of Deglutology; A bi-millennial journey from observation to intervention」

座長：才藤 栄一（藤田学園 上級顧問 相談役 / 藤田医科大学 名誉教授）
Eiichi Saitoh (Senior Advisor and Counselor, Fujita Gakuen / Professor Emeritus, Fujita Health University)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SL1	Reza Shaker	Medical College of Wisconsin, USA	Medical doctor	Evolution of Deglutology; A bi-millennial journey from observation to intervention

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00~16:00
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

特別講演 2
「フレイル・サルコペニア～摂食嚥下の重要性とリハビリテーションの役割～」

座長：尾崎 健一（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SL2	あらい ひでのり 荒井 秀典 Hidenori Arai	国立長寿医療研究センター	医師	フレイル・サルコペニア～摂食嚥下の重要性とリハビリテーションの役割～ Frailty and sarcopenia: Importance of eating and swallowing and the role of rehabilitation

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:50~11:50
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

特別講演 3
「摂食嚥下訓練を巡って、活動医学視点から」

座長：鎌倉 やよい（日本看護系大学協議会）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SL3	さいとう えいいち 才藤 栄一 Eiichi Saitoh	藤田医科大学	医師	摂食嚥下訓練を巡って、活動医学視点から Training Interventions for Dysphagia: An Activity Medicine Perspective

特別教育講演 Special Educational Lecture SEL

9月12日（土）September 12 (Sat) 9：40～10：40
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

特別教育講演
「嚥下調整食と特別食加算」
「Dysphagia diet and Special Diet Surcharge」

座長：栢下 淳（神戸学院大学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SEL-1	ふじたに じゅんこ 藤谷 順子 Junko Fujitani	国立健康危機管理機構国立国際医療センター	医師	嚥下調整食の新たな評価 ― 診療報酬改定が問 いかける「治療としての食事」 A New Valuation of Dysphagia-Adjusted Diets: Food as Treatment in the 2026 Reimbursement Reform
SEL-2	えがしら ふみえ 江頭 文江 Fumie Egashira	地域栄養ケア PEACH 厚木	管理栄養士	実践しよう！嚥下調整食の取り組み Let's Put Our Swallowing-Adjusted Diet Initiatives into Practice

9月11日（金）September 11 (Fri) 16：15～17：15
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

教育講演 1.2
「State of the Art: 摂食嚥下リハビリテーション」
「State of the Art: Dysphagia Rehabilitation」

座長：熊倉 勇美（千里リハビリテーション病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL1	こじま 千枝子 小島 千枝子 Chieko Kojima	藤田医科大学保健衛生学部リ ハビリテーション学科	言語聴覚士	臨床での発見を科学へ - 「なぜだろう」から「なるほど」へ - Translating clinical discoveries into science - from “Why is that?” to “That makes sense” -
EL2	くらち まさこ 倉智 雅子 Masako Fujiu- Kurachi	国際医療福祉大学大学院 医 療福祉学研究科 言語聴覚 分野	言語聴覚士	前舌保持嚥下の State of the Art State of the Art of the Tongue-hold Swallow

9月11日（金）September 11 (Fri) 17：25～18：25
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

教育講演 3.4
「State of the Art: 嚥下内視鏡検査と音声言語」
「State of the Art: Videoendoscopic evaluation of swallowing and speaking」

座長：柴本 勇（聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL3	ひょうどう まさみつ 兵頭 政光 Masamitsu Hyodo	細木病院	医師	嚥下内視鏡検査（VE）の評価のポイントとピット フォール Key points and pitfalls in the videoendoscopic evaluation of swallowing (VE)
EL4	かりやす まこと 刈安 誠 Makoto Kariyasu	ヒト・コミュニケーション科 学ラボ	言語聴覚士	音声言語と摂食嚥下の関連性と臨床での活用 On the relationships between speaking and deglutition and clinical endeavor

9月11日（金）September 11 (Fri) 17：55～18：25
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 5
「State of the Art: ICF」
「State of the Art: ICF」

座長：内山 侑紀（兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL5	むかいの まさひこ 向野 雅彦 Masahiko Mukai	北海道大学病院 リハビリテ ーション科	医師	嚥下障害と ICF：生活への影響を包括的に捉える Dysphagia and the ICF: A Comprehensive View of Its Impact on Daily Life

教育講演 Educational Lecture EL

9月12日（土）September 12 (Sat) 8：30～9：30
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

教育講演 6.7
「State of the Art: VF と VE」
「State of the Art: Videofluoroscopic examination and videoendoscopic evaluation of swallowing」

座長：花山 耕三（川崎医科大学リハビリテーション医学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL6	しばた せいこ 柴田 斉子 Seiko Shibata	藤田医科大学 医学部リハビリテーション医学講座	医師	嚥下造影検査の進め方、診断の工夫 How to conduct a videofluoroscopic examination of swallowing and diagnostic techniques.
EL7	おおた きくお 太田 喜久夫 Kikuo Ota	藤田医科大学 医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学	医師	嚥下内視鏡検査：VEを用いた KR/KP 評価で食事を楽しく安全に Let's make eating enjoyable and safe by using KR and KP evaluations with VE

9月12日（土）September 12 (Sat) 8：30～9：30
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 8.9
「State of the Art: 小児と認知症」
「State of the Art: Pediatrics and Dementia」

座長：近藤 和泉（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL8	ひろなか しょうじ 弘中 祥司 Shouji Hironaka	昭和医科大学 歯学部口腔衛生学講座	歯科医師	小児への摂食嚥下障害の対応 Management of Feeding and Swallowing Disorders in Children
EL9	のほら かんじ 野原 幹司 Kanji Nohara	大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学講座	歯科医師	認知症高齢者の「食べない」という症状への対応 Strategies for Addressing Food Refusal in Older Adults with Dementia

9月12日（土）September 12 (Sat) 9：35～10：35
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 10.11
「State of the Art: 臨床倫理と終末期」
「State of the Art: Clinical Ethics and End-of-Life Care」

座長：深田 順子（愛知県立大学 看護学部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL10	ふじしま いちろう 藤島 一郎 Ichiro Fujishima	浜松市リハビリテーション 病院	医師	臨床倫理 最近の話題 Current Topics in Clinical Ethics
EL11	かなざわ ひであき 金沢 英哲 Hideaki Kanazawa	Swallowish Clinic	医師	摂食嚥下機能の終末期に、為すべきこと When Swallowing Function Reaches Its Limit: What We Can Do Before the End of Life

9月12日（土）September 12 (Sat) 10：40～11：40
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 12.13
「State of the Art: 手術療法」
「State of the Art: Surgical Treatment」

座長：浅見 豊子（医療法人安寿会 田中病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL12	ちとせ しゅんいち 千年 俊一 Shunichi Chitose	久留米大学 耳鼻咽喉科・頭頸 部外科	医師	経口的嚥下機能改善手術の適応と効果 —残存嚥下機能から考える術式選択— Indications and Outcomes of Transoral Swallowing Surgery -Procedure Selection Based on Residual Swallowing Function-
EL13	おおくぼ けいすけ 大久保 啓介 Keisuke Okubo	佐野厚生総合病院 耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	医師	外切開による嚥下機能改善手術の適応を多職種 で考える A Multidisciplinary Approach to the Indications for Open Swallowing Improvement Surgery

教育講演 Educational Lecture EL

9月12日（土）September 12 (Sat) 15：00～16：00
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 14.15
「State of the Art: 嚥下 CT とマノメトリー」
「State of the Art: Swallowing CT and Manometry」

座長：中山 潤利（日本大学歯学部摂食機能療法科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL14	いなもと ようこ 稲本 陽子 Yoko Inamoto	藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科	言語聴覚士	嚥下 CT による 3 次元嚥下評価の進歩 Advances in Three-Dimensional Swallowing Assessment Using Swallowing CT
EL15	あおやぎ よういちろう 青柳 陽一郎 Yoichiro Aoyagi	日本医科大学大学院 リハビ リテーション学分野	医師	嚥下 HRM：VF で捉えた嚥下動態を“圧”で読み 解く —臨床解釈から研究応用まで— High-Resolution Manometry in Dysphagia: Interpreting VFSS Findings Through Pressure -From Clinical Interpretation to Research Applications-

9月12日（土）September 12 (Sat) 16：50～17：50
第6会場 Room 6 【神戸ポートピアホテル】南館 1F ポートピアホール

教育講演 16.17
「State of the Art: サルコペニアと栄養」
「State of the Art: Sarcopenia and Nutrition」

座長：小口 和代（刈谷豊田総合病院リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL16	わかばやし ひでたか 若林 秀隆 Hidetaka Wakabayashi	東京女子医科大学病院 リハ ビリテーション科	医師	サルコペニアの嚥下障害 Sarcopenic dysphagia
EL17	こじょう あきこ 小城 明子 Akiko Kojo	日本女子大学 食科学部 栄養 学科	管理栄養士	摂食嚥下障害における食形態調整と栄養ケアの 統合 Integrating Texture Modification of Foods and Nutritional Care for Dysphagia

教育講演 Educational Lecture EL

9月13日（日）September 13 (Sun) 8：00～9：30
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

教育講演 18.19.20
「State of the Art: 口腔」
「State of the Art: Oral Health」

座長：菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL18	まつお こういちろう 松尾 浩一郎 Koichiro Matsuo	東京科学大学 大学院歯医学 総合研究科	歯科医師	オーラルフレイルと口腔管理 Oral Frailty and Oral Health Management
EL19	わたなべ りさ 渡邊 理沙 Risa Watanabe	桶狭間病院 藤田こころケアセ ンター	歯科衛生士	歯科衛生士による口腔機能実地指導 Practical Oral Rehabilitation and Oral Function Instruction by Dental Hygienists
EL20	おおの ともひさ 大野 友久 Tomohisa Ohno	陵北病院	歯科医師	PAP を実臨床でどう役立てるか How to utilise PAP in clinical practice

9月13日（日）September 13 (Sun) 9：40～10：40
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

教育講演 21.22
「State of the Art: 内服薬、看護」
「State of the Art: Pill dysphagia and Nursing care」

座長：浅田 美江（公益社団法人愛知県看護協会 教育センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL21	くらた なおみ 倉田 なおみ Naomi Kurata	昭和医科大学 薬学部臨床薬 学講座臨床栄養代謝学部門・ 社会健康薬学講座社会薬学 部門	薬剤師	摂食嚥下障害と内服薬嚥下障害－Swallow-5 & PILL-5－ Dysphagia and Pill Dysphagia –Swallow-5 & Pill-5－
EL22	かまくら やよい 鎌倉 やよい Yayoi Kamakura	日本看護系大学協議会	看護師・保 健師	摂食嚥下障害に対する看護ケアプログラムの 開発 Development of Nursing Care Programs for Dysphagia

教育講演 Educational Lecture EL

9月13日（日）September 13 (Sun) 13：20～14：20
第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

教育講演 23.24
「State of the Art: 頭頸部がん」
「State of the Art: Head and Neck Cancer」

座長：中村 智之（獨協医科大学 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL23	ふじもと やすし 藤本 保志 Yasushi Fujimoto	愛知医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	機能評価から機能温存へ ― 頭頸部癌治療後嚥下機能から学んだこと From Functional Assessment to Functional Preservation: Lessons Learned from Swallowing Outcomes After Head and Neck Cancer Treatment
EL24	たかはし みき 高橋 美貴 Miki Takahashi	神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	頭頸部癌患者に対する摂食嚥下支援 ― 周術期から退院後まで― Swallowing and Dysphagia Support for Patients with Head and Neck Cancer: From the Perioperative Period to Post-Discharge Care

9月13日（日）September 13 (Sun) 8：30～9：30
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 25.26
「State of the Art: 周術期と気管カニューレ」
「State of the Art: Perioperative Care and Tracheostomy Tubes」

座長：尾崎 研一郎（足利赤十字病院第二リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL25	よしだ みつよし 吉田 光由 Mitsuyoshi Yoshida	藤田医科大学医学部 歯科口腔外科学講座	歯科医師	周術期等口腔機能管理と肺炎予防 Perioperative Oral Function Management and Pneumonia Prevention
EL26	にとり たかはる 二藤 隆春 Takaharu Nito	国立国際医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	気管切開患者に対する摂食嚥下リハビリテーション～気管カニューレ管理の実際～ Swallowing Rehabilitation in Patients with Tracheostomy: Practical Management of Tracheostomy Tubes

9月13日（日）September 13 (Sun) 9：40～10：40
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 27.28
「State of the Art: 地域における実践」
「State of the Art: Community-Based Practice」

座長：松浦 広昂（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL27	はしもと しげき 橋本 茂樹 Shigeki Hashimoto	医療法人溪仁会 札幌溪仁会 リハビリテーション病院 リハ ビリテーション科	医師	地域で「食べる」を支えるために ～札幌での多職種連携・地域連携～ Supporting "Eating" in the Community — Multidisciplinary Collaboration and Community Partnerships in Sapporo —
EL28	よしまつ ゆき 吉松 由貴 Yuki Yoshimatsu	St Thomas' Hospital, Ageing and Health	医師	日英の誤嚥性肺炎診療と食に関する意思決定 支援 Support for decision-making regarding aspiration pneumonia management and oral intake in Japan and the UK

9月13日（日）September 13 (Sun) 10：50～11：50
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

教育講演 29.30
「State of the Art: 神経筋疾患」
「State of the Art: Neuromuscular Disorders」

座長：山脇 正永（東京科学大学脳神経内科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL29	やまもと としゆき 山本 敏之 Toshiyuki Yamamoto	国立精神・神経医療研究セン ター 病院脳神経内科	医師	パーキンソン病の摂食嚥下障害について Dysphagia in Parkinson's Disease
EL30	おおしま ふみこ 巨島 文子 Fumiko Oshima	諏訪赤十字病院 リハビリテー ション科	医師	神経筋疾患の摂食嚥下障害 Dysphagia in neuromuscular disorders

9 月 13 日（日）September 13 (Sun) 13：20～14：50
第 2 会場 Room 2 【神戸国際展示場】1 号館 2F 展示室 A

教育講演 31.32.33
「State of the Art: 病態理解」
「State of the Art: Understanding Pathophysiology」

座長：平岡 崇（川崎医科大学リハビリテーション医学教室）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EL31	つじむら たかのり 辻村 恭憲 Takanori Tsuji-mura	新潟大学大学院医歯保健学研 究科 摂食嚥下リハビリテー ション学分野	歯科医師	嚥下はどのように誘発されるのか？ — 神経機構 とその変調 — Understanding Swallow Initiation: Neural Mechanisms and Modulation
EL32	まえしま しんいちろう 前島 伸一郎 Shinichiro Maeshima	国立長寿医療研究センター	医師	脳卒中後嚥下障害における「口から食べる」を 支える包括的戦略：予後予測から地域連携まで Strategies for Supporting "Oral Intake" in Post- Stroke Dysphagia: A Comprehensive Approach Connecting Precise Prognosis, Convalescent Rehabilitation, and Community Care
EL33	あらい のぶゆき 新井 伸征 Nobuyuki Arai	川崎医科大学	医師	濃淡情報で読み解く嚥下動態：ARAI Method の 臨床応用 Clinical Application of the Accurate Radio-reduced Assessment of Intensity Method (ARAI Method) for Interpreting Swallowing Dynamics Using Intensity Information

海外招待講演 Overseas Invited Lecture IL

9月11日（金）September 11 (Fri) 16：15～16：55
第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

海外招待講演 1
「Delivery and Efficacy of Respiratory Swallow Training (RST): A Skill-Based Intervention for Dysphagia Rehabilitation」

座長：稲本 陽子（藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL1	Bonnie Martin-Harris	Roxelyn and Richard Pepper Department of Communication Sciences and Disorders, School of Communication, Northwestern University, USA	Speech Language pathologist	Delivery and Efficacy of Respiratory Swallow Training (RST): A Skill-Based Intervention for Dysphagia Rehabilitation

9月11日（金）September 11 (Fri) 17：00～17：40
第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

海外招待講演 2
「The impact of aspiration on lung health」

座長：辻村 恭憲（新潟大学大学院医歯保健学研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL2	Rebecca Z. German	Northeast Ohio Medical University, USA	Scientist	The impact of aspiration on lung health

9月11日（金）September 11 (Fri) 17：45～18：25
第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

海外招待講演 3
「Generative Artificial Intelligence in Dysphagia: Implications for Future Clinical Practice」

座長：大高 洋平（藤田医科大学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL3	Byung-Mo Oh	Dept. Rehabil. Med., Seoul Natl. Univ. Coll. Med., Korea	Medical doctor	Generative Artificial Intelligence in Dysphagia: Implications for Future Clinical Practice

海外招待講演 Overseas Invited Lecture IL

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 10：15～10：55
第 10 会場 Room 10 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 和楽

海外招待講演 4
「Silent Aspiration: From Detection to Precision Monitoring」

座長：出江 紳一（鶴巻温泉病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL4	Zulin Dou	Department of Rehabilitation Medicine, The Third Affiliated Hospital of Sun Yat-sen University, Guangzhou, China	Medical doctor	Silent Aspiration: From Detection to Precision Monitoring

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 11：00～11：40
第 10 会場 Room 10 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 和楽

海外招待講演 5
「From Imaging to Intervention: Current State and Evidence for Ultrasound in Dysphagia
Management」

座長：戸原 玄（東京科学大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL5	Ming-Yen Hsiao	Department of Physical Medicine and Rehabilitation, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan	Medical doctor	From Imaging to Intervention: Current State and Evidence for Ultrasound in Dysphagia Management

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 8：30～9：10
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 6
「Non-Invasive Monitoring of Respiratory–Swallow Coordination」

座長：井口 はるひ（東京大学医学部附属病院リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL6	Chin-Man Wang	Attending Physician, Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Chang-Gung Memorial Hospital, Taiwan	Medical doctor	Non-Invasive Monitoring of Respiratory–Swallow Coordination

海外招待講演 Overseas Invited Lecture IL

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:20~10:00
第11会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野+布引

海外招待講演 7
「Oscillatory Connectivity and Burst Dynamics Underlying Volitional Swallowing」

座長：小川 真央（東刈谷在宅クリニック）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL7	Paul Muhle	Department of Neurology, University Hospital Münster, Germany	Medical doctor	Oscillatory Connectivity and Burst Dynamics Underlying Volitional Swallowing

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:15~10:55
第11会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野+布引

海外招待講演 8
「Challenges to feed the NICU infant: Where is the problem? What are the solutions? Addressing beyond the State of the Art!」

座長：渡邊 賢礼（昭和医科大学歯学部 口腔衛生学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL8	Sudarshan R. Jadcherla	The Innovative Infant Feeding Disorders Research Program, Neonatology, Pediatrics, Nationwide Children's Hospital, The Ohio State University, Columbus, Ohio, USA	Medical doctor	Challenges to feed the NICU infant: Where is the problem? What are the solutions? Addressing beyond the State of the Art!

9月12日(土) September 12 (Sat) 11:00~11:40
第11会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野+布引

海外招待講演 9
「Use of High Resolution Pharyngeal Manometry for the Diagnosis and Treatment of Dysphagia」

座長：柴田 斉子（藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL9	Ashli K. O'Rourke	Department of Otolaryngology – Head and Neck Surgery, Medical University of South Carolina, USA	Medical doctor	Use of High Resolution Pharyngeal Manometry for the Diagnosis and Treatment of Dysphagia

海外招待講演 Overseas Invited Lecture IL

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 15：00～15：40
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 10
「Oropharyngeal dysphagia in oesophageal cancer: shifting from awareness to action」

座長：兼岡 麻子（東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部/摂食嚥下センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL10	Julie Regan	Department of Clinical Speech and Language Studies, Trinity College Dublin, Ireland	Speech-Language Pathologist	Oropharyngeal dysphagia in oesophageal cancer: shifting from awareness to action

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 15：50～16：30
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 11
「Optimising Neuromodulation for Neurogenic Dysphagia: Current Insights and Future Directions」

座長：真柄 仁（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL11	Ivy Cheng	Unit of Human Communication, Learning, and Development, Faculty of Education, The University of Hong Kong, Hong Kong	Speech-Language Pathologist	Optimising Neuromodulation for Neurogenic Dysphagia: Current Insights and Future Directions

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 16：35～17：15
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 12
「Dysphagia in Vocal Cord Immobility: Site-Specific Mechanisms and Management」

座長：藤島 一郎（浜松市リハビリテーション病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL12	Young-Hak Park	The Catholic Univ of Korea, Korea	Medical doctor	Dysphagia in Vocal Cord Immobility: Site-Specific Mechanisms and Management

海外招待講演 Overseas Invited Lecture IL

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 17：20～18：00
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 13
「Sarcopenic Dysphagia: Diagnostic Approaches and Korean Perspectives」

座長：椿原 彰夫（川崎医療福祉大学管理部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL13	Don-Kyu Kim	Department of Physical & Rehabilitation Medicine, Chung-Ang University Gwangmyeong Hospital, Korea	Medical doctor	Sarcopenic Dysphagia: Diagnostic Approaches and Korean Perspectives

9 月 13 日（日）September 13 (Sun) 8：30～9：10
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 14
「Beyond Normal Aging: Presbyphagia as a Modifiable Gateway to Dysphagia」

座長：飯田 貴俊（北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 摂食機能療法・加齢歯科学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL14	Marlis González-Fernández	Johns Hopkins Univ. School of Med., USA	Medical doctor	Beyond Normal Aging: Presbyphagia as a Modifiable Gateway to Dysphagia

9 月 13 日（日）September 13 (Sun) 9：20～10：00
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 15
「A premotor circuit that controls swallowing in the mouse」

座長：井上 誠（新潟大学大学院 医歯保健学研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL15	Simon McMullan	Macquarie Medical School, Macquarie University, Sydney, Australia	University faculty/ Vocational School Instructor	A premotor circuit that controls swallowing in the mouse

海外招待講演 Overseas Invited Lecture IL

9 月 13 日（日）September 13 (Sun) 10：10～10：50
第 11 会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

海外招待講演 16
「Defining pharyngeal and upper esophageal sphincter dysfunction during deglutition：the Leuven consensus on pharyngeal high resolution manometry」

座長：香取 幸夫（東北大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IL16	Nathalie Rommel	Dept Neurosciences, Deglutology, Experimental Otorhinolaryngology, University of Leuven, Leuven, Belgium	University faculty, Deglutologist	Defining pharyngeal and upper esophageal sphincter dysfunction during deglutition: the Leuven consensus on pharyngeal high resolution manometry

9月11日（金）September 11 (Fri) 16：15～17：45
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

シンポジウム 1
『『栄養を強化した嚥下調整食』が求められる時代へ』
「Toward an Era of Nutritionally Enhanced Dysphagia Diets」

座長：江頭 文江（地域栄養ケア PEACH 厚木）
藤谷 順子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY1-1	うえしま じゅんこ 上島 順子 Junko Ueshima	NTT 東日本関東病院 栄養部	管理栄養士	摂食嚥下障害者への栄養サポートの重要性 The Importance of Nutritional Support for Patients with Dysphagia
SY1-2	あわた まゆ 粟田 麻友 Mayu Awata	医療法人 平成博愛会 世田谷 記念病院	管理栄養士	多施設展開における嚥下調整食の質向上 -セン トラルキッチンと各施設による個別最適化の実 践- Quality Improvement of Texture-Modified Diets in Multi-Facility Operations: Practice of Individualized Optimization by Central Kitchens and Local Facilities
SY1-3	まえだ けいすけ 前田 圭介 Keisuke Maeda	愛知医科大学 栄養治療支援 センター	医師	嚥下調整食の効果と魅力 The Benefits and Promise of Texture-Modified Diets

シンポジウム Symposium SY

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:10~17:40

第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

シンポジウム2

「患者中心の医療実現のためにコーチングを活かそう」

「Coaching for Patient-Centered Care」

座長：金森 大輔（藤田医科大学七栗記念病院 歯科）

金沢 英哲（Swallowish Clinic）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY2-1	おおにし たつや 大西 達也 Tatsuya Onishi	医療法人メディカルフォース フォース 歯科	歯科医師	患者中心のチーム医療実践リーダー育成研修の 成果-在宅多系統萎縮症患者の共同意思決定支 援- The Outcomes of the Patient-Centered Team Healthcare Leadership Training: Shared Decision- Making Support for a Home-Care Patient with Multiple System Atrophy
SY2-2	かなざわ ひであき 金沢 英哲 Hideaki Kanazawa	Swallowish Clinic	医師	摂食嚥下障害診療のピットフォール対策に活か す対患者コーチングスキル Applying Coaching Skills to Mitigate Pitfalls in Dysphagia Clinical Practice
SY2-3	たけいち みか 竹市 美加 Mika Takeichi	訪問看護ステーションたべる	看護師・保 健師	重度嚥下障害患者のある在宅患者に食の QOL 向上につなげるコーチングを用いた食支援 Eating Support Using Patient-Centered Coaching to Enhance QOL Through Eating for a Home-Care Patient with Severe Dysphagia
SY2-4	もり やすゆき 森 康行 Yasuyuki Mori	訪問看護ステーションコネ クト	言語聴覚士	「どうしたい？」から始まる思いに寄り添った食 “思”援 —コーチングを活用した患者中心の食支 援— “What Would You Like to Do?": Patient-Centered Eating Support Through Coaching and Respect for Patients' Wishes

9月12日（土）September 12 (Sat) 16：10～17：40
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

シンポジウム 3
「摂食嚥下障害診療の変遷」
「Changes in Dysphagia Management」

座長：出江 紳一（鶴巻温泉病院）
海老原 覚（東北大学 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY3-1	たかはし ひろたつ 高橋 博達 Hirotatsu Takahashi	聖隷佐倉市民病院 リハビリ テーション科	医師	摂食嚥下障害診療の変遷 ー誤嚥リスクを最小化するための運動療法と訓練手技ー Changes in Clinical Practice for Dysphagia - Exercise therapies and training techniques to minimize the risk of aspiration -
SY3-2	かがや ひとし 加賀谷 斉 Hitoshi Kagaya	国立研究開発法人国立長寿医 療研究センター リハビリテー ション科部	医師	摂食嚥下リハビリテーションにおける物理療法の 変遷 Physical modalities in dysphagia rehabilitation
SY3-3	えびはら さとる 海老原 覚 Satoru Ebihara	東北大学大学院医学系研究科 臨床障害学分野	医師	感覚刺激の摂食嚥下リハビリテーションの変遷 The evolution of sensory stimulation in dysphagia rehabilitation.
SY3-4	おいくさ かつり 負門 克典 Katsunori Oikado	虎の門病院 放射線診断科	医師	誤嚥性肺炎の画像診断 Imaging diagnosis of aspiration pneumonia

9月12日（土）September 12 (Sat) 8：30～10：00
第6会場 Room 6 【神戸ポートピアホテル】南館 1F ポートピアホール

シンポジウム 4
「嚥下訓練を整理するー機能低下に応じた訓練の選び方」
「Optimizing Dysphagia Exercises: Selecting Interventions According to Functional Impairment」

座長：小島 千枝子（藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科）
清水 充子（埼玉県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY4-1	や の じつろう 矢野 実郎 Jitsuro Yano	川崎医療福祉大学 リハビリ テーション学部 言語聴覚療 法学科	言語聴覚士	機能低下に応じた舌運動訓練の選び方 Tongue Exercise Programs Based on Functional Deficits
SY4-2	ふくおか たつゆき 福岡 達之 Tatsuyuki Fukuoka	広島国際大学 総合リハビリ テーション学部	言語聴覚士	喉頭挙上を高める舌骨上筋群のレジスタンス トレーニングー各種訓練法のコツと臨床応用ー Resistance Training of the Suprahyoid Muscles to Enhance Laryngeal Elevation: Training Tips and Clinical Application
SY4-3	かねおか あさこ 兼岡 麻子 Asako Kaneoka	東京大学医学部附属病院 リ ハビリテーション部 摂食嚥下 センター	言語聴覚士	咽頭収縮を改善する訓練法 Selecting Exercises for Impaired Pharyngeal Constriction
SY4-4	おかもと けいし 岡本 圭史 Keishi Okamoto	浜松リハビリテーション病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	食道入口部開大不全に対する訓練 Rehabilitation for Upper Esophageal Sphincter Opening Dysfunction

9月12日（土）September 12 (Sat) 10：10～11：40
第6会場 Room 6 【神戸ポートピアホテル】南館 1F ポートピアホール

シンポジウム 5
「日本栄養・嚥下理学療法学会との合同シンポジウム：理学療法と摂食嚥下障害」
「Physiotherapy and Dysphagia」

座長：内田 学（大阪医療大学 医療看護学部理学療法学科）
内山 靖（名古屋大学大学院医学系研究科 予防・リハビリテーション科学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY5-1	もりした もとよし 森下 元賀 Motoyoshi Morishita	令和健康科学大学	理学療法士	摂食嚥下リハビリテーションにおける全身へのアプローチの有効性 The effectiveness of a whole-body approach in dysphagia rehabilitation
SY5-2	さとう よういち 佐藤 陽一 Yoichi Sato	新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科	理学療法士	脳卒中患者の摂食嚥下障害に対する栄養・嚥下理学療法 Nutritional and Swallowing Physical Therapy for Dysphagia in Patients with Stroke
SY5-3	やまもと さやこ 山本 五弥子 Sayako Yamamoto	川崎医科大学	医師	脊髄損傷の摂食嚥下障害における呼吸リハビリテーションの重要性 Respiratory Rehabilitation for Dysphagia in Patients with Spinal Cord Injury
SY5-4	たけはら いたる 武原 格 Itaru Takehara	東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科	医師	姿勢と呼吸からみた摂食嚥下障害 —嚥下を支える身体機能に着目して— Dysphagia from the Perspectives of Posture and Respiration: Focusing on Physical Functions that Support Swallowing

9月12日（土）September 12 (Sat) 15：00～16：30
第6会場 Room 6 【神戸ポートピアホテル】南館 1F ポートピアホール

シンポジウム6
「多職種が活躍する嚥下チームのマネジメント」
「Management of Transdisciplinary Dysphagia Teams」

座長：鎌倉 やよい（日本看護系大学協議会）
藤井 航（九州歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY6-1	生駒 俊裕 Toshihiro Ikoma	藤田医科大学病院 看護部	看護師・保健師	認定看護師が実践する多職種連携の強み The strength of interprofessional collaboration practiced by Certified Nurses
SY6-2	豊島 瑞枝 Mizue Toyoshima	NTT 東日本関東病院 栄養部	管理栄養士	急性期病院の嚥下チームにおける管理栄養士の役割 The Role of Registered Dietitians in Swallowing Teams at Acute Care Hospitals
SY6-3	白石 愛 Ai Shiraishi	東京女子医科大学 歯科口腔外科 リハビリテーション科	歯科衛生士	多職種が活躍する嚥下チームのマネジメント～回復期 Managing a multidisciplinary swallowing team: Recovery phase
SY6-4	保田 祥代 Sachiyo Hota	医療法人豊田会高浜豊田病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	誰一人取り残さない嚥下チーム ～チームビルディングの5段階でどうマネジメントするか～ A Swallowing Team That Leaves No One Behind :How to Manage a Team Through the Five Stages of Team Building
SY6-5	藤井 航 Wataru Fujii	九州歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	在宅における取り組み Home-based initiatives

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:10~10:40

第3会場 Room 3 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 B

シンポジウム7

「摂食嚥下医療における「オンライン医療」の現状と課題」

「The Current State and Challenges of “Online Healthcare” in Dysphagia Treatment」

座長：野崎 園子（関西労災病院 脳神経内科）

戸原 玄（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学系専攻 老化制御学講座摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY7-1	さとう ひでお 佐藤 秀夫 Hideo Sato	鹿児島大学病院 発達系歯科 センター 小児歯科	歯科医師	AI とスマートフォンを活用した次世代オンライン摂食嚥下機能評価システムの開発 Development of a Next-Generation Online Swallowing Function Assessment System Using AI and Smartphones
SY7-2	なかがわ かずはる 中川 量晴 Kazuharu Nakagawa	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	遠隔地の在宅診療医とつないだ摂食嚥下リハビリテーション支援の実際 Current Practice of Tele-Dysphagia Rehabilitation
SY7-3	こまつ ともこ 小松 知子 Tomoko Komatsu	神奈川歯科大学 全身管理歯科学講座 障害者歯科学分野	歯科医師	障害者支援施設における摂食嚥下支援へのオンライン医療の活用 Utilization of Telehealth for Dysphagia Management in Residential Facilities for Individuals with Disabilities
SY7-4	まちだ れいこ 町田 麗子 Reiko Machida	日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科	歯科医師	在宅療養児のオンラインによる摂食嚥下リハビリテーション指導 Tele-rehabilitation for feeding and swallowing disorders in technology-dependent children (TDC) with severe dysphagia undergoing home dental care
SY7-5	のぶき そのこ 野崎 園子 Sonoko Nozaki	関西労災病院 脳神経内科	医師	在宅脳神経内科患者の摂食嚥下障害へのオンライン診療併用リハビリテーション医療 At-home rehabilitation for dysphagia combined with telemedicine to patients with neurological disorders

9月13日（日）September 13 (Sun) 13：20～14：50
第3会場 Room 3 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 B

シンポジウム 8
「呼吸リハビリテーション最前線」
「Cutting Edge of Pulmonary Rehabilitation」

座長：加賀谷 斉（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）
高橋 仁美（福島県立医科大学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SY8-1	たかはし ひとみ 高橋 仁美 Takahashi	福島県立医科大学	理学療法士	COPD に対する包括的呼吸リハビリテーション Comprehensive Pulmonary Rehabilitation for COPD
SY8-2	たまき あきら 玉木 彰 Akira Tamaki	兵庫医科大学 リハビリテーション学部	理学療法士	ICU での呼吸リハビリテーション Pulmonary Rehabilitation in the ICU
SY8-3	ながはま あかし 長濱 あかし Akashi Nagahama	一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会	看護師・保健師	在宅で「息をする」と「食べる」を支える ～訪問看護の実践から～ Supporting Breathing and Eating at Home: Experiences from Home Nursing Practice
SY8-4	いしかわ あきら 石川 朗 Akira Ishikawa	神戸大学大学院医学系研究科	理学療法士	誤嚥性肺炎予防のための呼吸リハビリテーション Respiratory rehabilitation for the prevention of aspiration pneumonia

国際シンポジウム International Symposium IS

9月12日（土）September 12 (Sat) 8：30～10：10
第10会場 Room 10 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 和楽

国際シンポジウム 1 Hosted by WDS Coalition Initiative
「High-Resolution Pharyngeal Manometry: From Measurement to Clinical Application」

座長：Reza Shaker（Medical College of Wisconsin, USA）
青柳 陽一郎（日本医科大学大学院 リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IS1-1	Ashli K. O'Rourke	Department of Otolaryngology – Head and Neck Surgery, Medical University of South Carolina, USA	Doctor	High Resolution Pharyngeal Manometry as a Biofeedback Tool for Oropharyngeal Dysphagia
IS1-2	Nathalie Rommel	Dept Neurosciences, Deglutology, Experimental Otorhinolaryngology, University of Leuven, Leuven, Belgium	University faculty, Deglutologist	The clinical use of High-Resolution Pharyngeal Manometry and Impedance in the Evaluation of Oropharyngeal Dysphagia
IS1-3	Yoichiro Aoyagi	Department of Rehabilitation Medicine, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Japan	Doctor	High-Resolution Manometry in Dysphagia: Bridging Research Applications and Clinical Interpretation
IS1-4	Reza Shaker	Medical College of Wisconsin, USA	Medical doctor	Pharyngo-striated esophageal manometry

9月13日（日）September 13 (Sun) 9：10～10：40
第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

国際シンポジウム 2 Hosted by WDS Coalition Initiative
「Pediatric Feeding and Swallowing Rehabilitation: Practices in Japan and Around the World」

座長：田村 文誉（日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科）
Sudarshan R. Jadcherla（The Innovative Infant Feeding Disorders Research Program, Neonatology, Pediatrics, Nationwide Children's Hospital, The Ohio State University, Columbus, Ohio, USA）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IS2-1	Sudarshan R. Jadcherla	The Innovative Infant Feeding Disorders Research Program, Neonatology, Pediatrics, Nationwide Children's Hospital, The Ohio State University, Columbus, Ohio, USA	Doctor	Feeding the High-Risk Modern Neonate: Importance of Patience, Tolerance and Perseverance during Habilitation.
IS2-2	Kannit Pongpipatpaiboon	Physical Medicine and Rehabilitation center, Samitivej hospital, Thailand	Doctor	Beyond Guidelines: Lessons Learned from Real-World Pediatric Dysphagia Rehabilitation in Thailand
IS2-3	Masahiro Watanabe	Department of Hygiene and Oral Health, Showa Medical University School of Dentistry, Japan	Dentist	Beyond Safe Feeding: Expanding Pediatric Feeding Support from Home Care to Social Participation
IS2-4	Numan Demir	Swallowing Disorders Res. & Appl. Cent., Hacettepe Univ./ Ankara, Turkey	Speech Language pathologist, Physiotherapist	Comprehensive Management and Rehabilitation Practices in Pediatric Dysphagia: Perspectives from Türkiye
IS2-5	Rika Ayano	Department of Pediatric Dentistry Showa Medical University School of Dentistry, Japan	Dentist	Development and Current Perspectives of Pediatric Dysphagia Rehabilitation in Japanese Dentistry

9月13日(日) September 13 (Sun) 8:30~10:10
第10会場 Room 10 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 和楽

国際シンポジウム 3
「Dysphagia Care Across Asia: Systems, Strategies, and Perspectives」

座長：才藤 栄一（藤田学園 上級顧問 相談役 / 藤田医科大学 名誉教授）
Don-Kyu Kim（Department of Physical & Rehabilitation Medicine, Chung-Ang University Gwangmyeong Hospital）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IS3-1	Shun-Te Huang	Department of Oral Hygiene, College of Oral Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan	Dentist	The roles of oral medicine in the trans-disciplinary approach to dysphagia and oral frailty in Taiwan
IS3-2	Khairiah Mohd Yatim	Dept. Rehabil. Med., HTJS, MOH Malaysia; State Head, Rehabil. Med. Specialty, Negeri Sembilan, Malaysia	Doctor	Dysphagia in Stroke Patients: Rehabilitation Medicine Perspective in Malaysia
IS3-3	Flora Min Mei Poon	Ng Teng Fong General Hospital / Jurong Community Hospital, Singapore	Speech Language pathologist	Singapore’s healthcare system and speech therapy service delivery model
IS3-4	Jody P.Y. Lam	The Hong Kong Association of Speech Therapists, Hong Kong	Speech Language pathologist	Service Delivery Models and Developments in Dysphagia Rehabilitation for Paediatric and Adult Populations in Hong Kong
IS3-5	Daryl Anne D. Madrid	Dept. of ORL-HNS, UP Manila College of Medicine- Philippine General Hospital, Manila, Philippines	Doctor	Swallowing the Future: A Strategic Roadmap for Redefining Dysphagia Care in the Philippines
IS3-6	Paitoon Benjapornlert	Department of Rehabilitation Medicine, Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailand	Doctor	Lessons Learned from the 2nd Asian Dysphagia Symposium: Host Perspectives and Implications for Dysphagia Care in Thailand

9月13日（日）September 13 (Sun) 10：20～11：50
第10会場 Room 10 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 和楽

国際シンポジウム 4
「Swallowing CT: From Physiological Mechanisms to Clinical Applications」

座長：稲本 陽子（藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科）
Paul Muhle（Department of Neurology, University Hospital Münster, Germany）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IS4-1	Howell Henrian Bayona	Department of Rehabilitation Medicine, School of Medicine, Fujita Health University, Japan	Speech-Language Pathologist	Seeing Swallowing in 3D: Uncovering the physiology of the pharyngeal swallowing using dynamic CT
IS4-2	Keiko Aihara	Faculty of Rehabilitation, School of Health Sciences, Fujita Health University, Japan	Speech Therapist	Three-Dimensional Quantitative Analysis of Upper Esophageal Sphincter Opening Kinetics Using Swallowing CT
IS4-3	Yoko Inamoto	Faculty of Rehabilitation, School of Health Sciences, Fujita Health University, Japan	Speech Therapist	Swallowing CT for Treatment-Oriented Evaluation in Dysphagia Rehabilitation
IS4-4	Marlis González-Fernández	Johns Hopkins Univ. School of Med., USA	Doctor	Evaluation of ALS patients with Dysphagia in the USA using Swallowing CT: A Case Series
IS4-5	Yoshito Otake	Division of Information Science, Graduate School of Science and Technology, Nara Institute of Science and Technology, Japan	University Faculty/Vocational School Teacher	AI-Based Quantitative Dynamic Analysis of Swallowing-Related Organs from Swallowing CT

国際シンポジウム International Symposium IS

9月13日(日) September 13 (Sun) 13:20~14:50

第10会場 Room 10 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 和楽

国際シンポジウム 5 Hosted by WDS Coalition Initiative 「Instrumental Assessment and Emerging Technologies in Dysphagia Rehabilitation」

座長：Bonnie Martin-Harris (Roxelyn and Richard Pepper Department of Communication Sciences and Disorders, School of Communication, Northwestern University, USA)

倉智 雅子 (国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 言語聴覚分野)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
IS5-1	Andrea Hofmayer	Clinic for Neurol., Asklepios Stadtklinik Bad Toelz, Germany	Speech-Language Pathologist	The role of instrumental diagnostics on shaping specific dysphagia rehabilitation in chronic neurogenic dysphagia following stroke – a case report
IS5-2	Bonnie Martin-Harris	Roxelyn and Richard Pepper Department of Communication Sciences and Disorders, School of Communication, Northwestern University, USA	Speech Language pathologist	From Imaging to Monitoring: Using AI and Wearable Sensors to Identify and Track MBSImp™ Profiles of Impairment
IS5-3	Meng Dai	The third affiliated hospital of sun yat-sen university, China	Doctor	High-Density Surface Electromyography for Swallowing Assessment: Advances and Applications in Dysphagia Rehabilitation
IS5-4	Prasanna Suresh Hegde	AIISH, Mysore, India	Speech-Language Pathologist	Technological Advancements for Deglutology: Now and Tomorrow
IS5-5	Pattra Wattanapan	Department of Rehabilitation Medicine, Faculty of Medicine, KKU, Thailand	Doctor	The Voice-Swallow Connection: Acoustic Applications in Dysphagia Rehabilitation

9月12日（土）September 12 (Sat) 17：20～18：00
第7会場 Room 7 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 偕楽 1

学会助成研究成果報告講演

座長：小野木 啓子（藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
GS-1	おおつか 大塚 あつ子 Atsuko Otsuka	朝日大学 摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	嚥下コード分類に基づくパンの開発と臨床応用の可能性 Development of Bread Based on Dysphagia Diet Classification and Its Potential for Clinical Application
GS-2	なかもり まさひろ 中森 正博 Masahiro Nakamori	広島大学大学院医系科学研究 科 脳神経内科学	医師	高密度多チャンネル表面筋電図を用いた高齢者における舌骨上筋群の生理学的解析 Physiological analysis of the suprahyoid muscles in older adults using high-density multichannel surface electromyography

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 17：00～18：00
第 12 会場 Room 12 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 生田

編集委員会セミナー
「現場の実践を論文に：多職種のための書き方入門」

座長：戸原 玄（東京科学大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SE	もとむら みわ 本村 美和 Miwa Motomura	茨城県立医療大学 保健医療 学部看護学科	看護師・保 健師	同じ患者、違う問い：多職種それぞれの専門性 で挑む論文化プロセス—臨床の実践知を未来の 患者へつなぐ— Same Patient, Different Questions: A Multidisciplinary Writing Process for Transforming Clinical Wisdom into Publications for Future Patients

9月13日（日）September 13 (Sun) 8：00～9：00
第3会場 Room 3 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 B

交流集会 1 Networking Event by SLHTs
「“良くなった”をどう捉える？—STによる嚥下訓練の効果を可視化する方法—」

座長：平田 文（国際医療福祉大学 言語聴覚学科）
福岡 達之（広島国際大学 総合リハビリテーション学部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EXS1-1	ひらた あや 平田 文 Aya Hirata	国際医療福祉大学	言語聴覚士	表面筋電図のススメ 筋活動を可視化し訓練選択に活かす An Encouragement of Surface Electromyography: Visualizing Muscle Activity to Inform Training Decisions
EXS1-2	なかお ゆうた 中尾 雄太 Yuta Nakao	大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	大学・専門学校等教員	頸部筋力評価の新たな可能性 — Cervical Dynamometer C-1 の測定原理と臨床応用 — Novel Perspectives on Cervical Muscle Strength Assessment: Clinical Applications of the Cervical Dynamometer C-1

プログラム

9月13日（日）September 13 (Sun) 8：00～9：00
第4会場 Room 4 【神戸国際展示場】2号館 2F 2A 会議室

交流集会 2 Networking Event by Dietitians
「嚥下調整食の質を高めたい～診療報酬改定のヒントを探る～」

座長：工藤 美香（駒沢女子大学 人間健康学部健康栄養学科）
江頭 文江（地域栄養ケア PEACH 厚木）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EXS2-1	しまづ さゆり 嶋津 小百合 Sayuri Shimazu	熊本リハビリテーション病院 栄養科	管理栄養士	嚥下調整食の質を高めるための栄養強化戦略 Enhancing the nutritional quality of dysphagia-modified meals: Strategies for effective nutritional fortification.
EXS2-2	いわさき まさる 岩崎 勝 Masaru Iwasaki	日本料理 魚繁大王殿 嚥下食 叶和	調理師	嚥下食をワンランクアップさせるためには To improve the quality of texture-modified diets

交流集会 Networking Event EXS

9月13日（日）September 13 (Sun) 8：00～9：00
第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

交流集会 3 Networking Event by Nurses
「看護師も関わるリハビリテーション・栄養・歯科連携体制加算」

座長：廣瀬 みゆき（中部労災病院 看護師）
青山 寿昭（愛知県医療療育総合センター 中央病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EXS3-1	まるも ひろこ 丸茂 広子 Hiroko Marumo	組合立 諏訪中央病院	看護師・保健師	看護が動けば加算が動く。GLIM×OHAT で創る連携体制の土台 When Nursing Moves, Reimbursement Follows: Building the Foundation of a Collaborative Care System with GLIM and OHAT
EXS3-2	やまかわ み き 山川 美樹 Miki Yamakawa	社会福祉法人恩賜財団済生会 熊本病院	看護師・保健師	急性期病院におけるリハビリテーション・栄養・口腔連携の取り組みと看護師による口腔評価の効果 Impact of Rehabilitation, Nutrition, and Oral Care Collaboration in Acute Care Hospitals and the Effect of Nurse-Led Oral Assessment

9月13日（日）September 13 (Sun) 8：00～9：00
第7会場 Room 7 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 偕楽 1

交流集会 4 Networking Event by Dental Hygienists
「歯科衛生士が考える摂食嚥下機能領域における歯科衛生士の専門性」

座長：水上 美樹（日本歯科大学東京短期大学 歯科衛生学科 / 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩）
田中 祐子（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
EXS4-1	しばた きょうこ 柴田 享子 Kyoko Shibata	社会福祉法人 大同宏緑会 重 心施設にじいろのいえ	歯科衛生士	新たなステージへ！摂食嚥下リハビリテーション専門歯科衛生士の現在地 Toward a New Stage: The Current Status of the “Specialized Dental Hygienist in Dysphagia Rehabilitation”
EXS4-2	ながなわ やよい 長縄 弥生 Yayoi Naganawa	愛知県がんセンター	歯科衛生士	病院、介護施設における歯科衛生士の摂食嚥下リハビリテーションをどう制度上で可視化できるか How can the Role of Dental Hygienists in Dysphagia Rehabilitation be made visible within healthcare systems?

ポストコンGRESセミナー Post-Congress Seminar PC

9月13日(日) September 13 (Sun) 15:20~17:00

第1会場 Room 1 【神戸国際展示場】2号館 1F コンベンションホール北

ポストコンGRESセミナー 1

「薬の嚥下障害にも注目！ー内服薬嚥下障害の現状と対応ー」

座長：藤島 一郎（浜松市リハビリテーション病院）

倉田 なおみ（昭和医科大学 薬学部臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門・社会健康薬学講座社会薬学部門）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
PC1-1	はら かずや 原 和也 Kazuya Hara	浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション科	医師	内服薬嚥下障害の臨床と当院での取り組み-VF による評価 Clinical Practice of Dysphagia with Oral Medications and Our Institutional Initiatives: Evaluation using Videofluoroscopy
PC1-2	いしい よしまさ 石井 良昌 Yoshimasa Ishii	日本大学松戸歯学部 口腔外 科学講座	歯科医師	歯科医師の視点からみた内服薬の口腔内残留 Oral Residues of Oral Medications: A Dentist's Perspective
PC1-3	あさくら ゆきもと 朝倉 之基 Yukimoto Asakura	Nurse Innovation 株式会社	看護師・保 健師	薬は飲んだ。でも、正しく飲めていたか？ ～内服薬嚥下障害に向き合う看護師の視点～ "Medication Taken — But Properly?" <i>The Nurse's Role in Addressing Oral Medication Dysphagia</i>
PC1-4	すがわら ひでき 菅原 英輝 Hideki Sugawara	鹿児島大学病院 薬剤部	薬剤師	地域在住一般住民における多剤併用と内服薬嚥 下障害および残薬との関連性 Associations among Polypharmacy, Pill-dysphagia, and Leftover Medication in the Community- dwelling General Population
PC1-5	くらた なおみ 倉田 なおみ Naomi Kurata	昭和医科大学 薬学部臨床薬 学講座臨床栄養代謝学部門・ 社会健康薬学講座社会薬学 部門	薬剤師	内服薬嚥下障害ー“錠剤が飲めなければ粉砕す る”は正しい対応かー Pill Dysphagia —Is ‘crushing tablets if they cannot be swallowed’ the correct approach?—

ポストコンGRESセミナー Post-Congress Seminar PC

9月13日(日) September 13 (Sun) 15:20~16:50

第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

ポストコンGRESセミナー 2

「生体刺激療法の発展」

座長：馬場 尊（足利赤十字病院 リハビリテーション科）

外山 慶一（和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
PC2-1	ながみ しんすけ 永見 慎輔 Shinsuke Nagami	北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科	言語聴覚士	感覚刺激からみた生体刺激療法の発展 Sensory Stimulation in the Evolution of Biostimulation Therapy
PC2-2	ふくおか たつゆき 福岡 達之 Tatsuyuki Fukuoka	広島国際大学 総合リハビリテーション学部	言語聴覚士	嚥下訓練の効果を高める神経筋電気刺激 (NMES) —なぜ効くのか、どう使うのか— Neuromuscular Electrical Stimulation (NMES) to Enhance Swallowing Training: Why It Works and How to Use It
PC2-3	かが や ひとし 加賀谷 斉 Hitoshi Kagaya	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部	医師	反復性末梢磁気刺激 Repetitive peripheral magnetic stimulation
PC2-4	しげまつ たかし 重松 孝 Takashi Shigematsu	すずかけセントラル病院 リハビリテーション科	医師	摂食嚥下リハビリテーションにおける経頭蓋直 流電気刺激（tDCS）のメカニズムと臨床応用 Mechanisms and Clinical Applications of Transcranial Direct Current Stimulation in Dysphagia Rehabilitation
PC2-5	たにぐち ひろしげ 谷口 裕重 Hiroshige Taniguchi	朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	食道刺激による嚥下誘発—生体刺激療法としての 可能性— Esophageal Stimulation-Induced Swallowing: A Novel Therapeutic Strategy for Dysphagia Rehabilitation

9月13日（日）September 13 (Sun) 15：20～16：50
 第3会場 Room 3 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 B

ポストコンGRESセミナー 3
 「摂食嚥下リハビリテーション」

座長：中川 量晴（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野）
 福永 真哉（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
PC3-1	あいはら けいこ 粟飯原 けい子 Keiko Aihara	藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科	言語聴覚士	B4S を用いた嚥下リハビリテーションにおける 評価とバイオフィードバックの実際 Practical Application of B4S for Evaluation and Biofeedback in Dysphagia Rehabilitation
PC3-2	とだ ふみ 戸田 美美 Fumi Toda	藤田医科大学 医学部リハビ リテーション医学講座	医師	食道入口部開大不全に対するバルーン訓練法の 実際：適応の評価からリスク管理まで Practical Aspects of Balloon Dilation for Incomplete Upper Esophageal Sphincter Opening: From Assessment of Indications to Risk Management
PC3-3	や の じつろう 矢野 実郎 Jitsuro Yano	川崎医療福祉大学 リハビリ テーション学部 言語聴覚療 法学科	言語聴覚士	舌筋力訓練のエビデンスと臨床応用 Evidence and Clinical Application of Tongue Strengthening Exercise
PC3-4	しばた せいこ 柴田 斉子 Seiko Shibata	藤田医科大学 医学部リハビ リテーション医学講座	医師	sRED の使用法と効果のメカニズム How to use sRED and its mechanism of action
PC3-5	くにえだ けんじろう 國枝 顕二郎 Kenjiro Kunieda	関西医科大学 リハビリテー ション医学講座	医師	明日から実践！食道期の訓練－最近のトピッ クスも踏まえて Practical Esophageal Rehabilitation: Recent Topics and Emerging Perspectives

9月13日(日) September 13 (Sun) 15:20~16:50

第4会場 Room 4 【神戸国際展示場】2号館 2F 2A 会議室

ポストコンGRESセミナー 4

「学会分類 2021 の物性を理解し IDDSI について学ぶ」

座長：真柄 仁（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部）

ファシリテーター：森 康行（訪問看護ステーションコネクト）

近藤 葉月（渋谷区つばめの里・本町東 支援課）

藤原 怜子（新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

山本 美和（旭ろうさい病院 中央リハビリテーション部）

島田 直子（鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 栄養科）

山下 晃司（県立広島大学大学院 人間文化学専攻）

長瀬 まり（日本赤十字社 旭川赤十字病院 医療技術部 栄養課）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
PC4-1	なかお まり 中尾 真理 Mari Nakao-Kato	名古屋市立大学医学部附属リ ハビリテーション病院 リハビ リテーション科	医師	IDDSI 国際嚥下食標準化構想に基づいた嚥下食 の簡易的物性評価方法 Simple Physical Property Evaluation Methods for Texture-Modified Foods Based on the International Dysphagia Diet Standardisation Initiative (IDDSI)
PC4-2	かやしな じゅん 柏下 淳 Jun Kayashita	神戸学院大学 栄養学部	管理栄養士	学会分類 2021 の物性を理解し IDDSI について 学ぶ Understanding the Physical Properties of the JSDR Classification 2021 and Learning About IDDSI

ポストコンGRESセミナー Post-Congress Seminar PC

9月13日(日) September 13 (Sun) 15:20~16:50

第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

ポストコンGRESセミナー 5

「小児の摂食嚥下障害」

座長：椎名 英貴（森之宮病院 リハビリテーション部）

中村 達也（島田療育センターはちおうじ リハビリテーション科）

訪問看護ステーションコネクト

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
PC5-1	たかい りひと 高井 理人 Rihito Takai	医療法人稲生会生涯医療クリニックスつばろ	歯科医師	重症心身障害児における口腔機能の発達と機能障害へのアプローチ Oral Function Development and Approaches to Dysphagia in Children with Severe Motor and Intellectual Disabilities
PC5-2	しいな ひでたか 椎名 英貴 Hidetaka Shiina	森之宮病院リハビリテーション部	言語聴覚士	脳性麻痺児の摂食嚥下障害に対する対応-姿勢に対するアプローチ- Management of Dysphagia in Children with Cerebral Palsy: A Postural Approach
PC5-3	おれたか みわ 大高 美和 Miwa Otaka	特定非営利活動法人ゆめのめ	管理栄養士	重症心身障害児における食形態調整と栄養サポート—生活を支える実践と家族支援— Food Texture Modification and Nutritional Support for Children with Severe Motor and Intellectual Disabilities: Practical Approaches to Supporting Daily Life and Families
PC5-4	なかむら たつや 中村 達也 Tatsuya Nakamura	島田療育センターはちおうじ リハビリテーション科	言語聴覚士	長期絶飲食の重症心身障害児（者）における摂食嚥下リハビリテーション Feeding and Swallowing Rehabilitation for Children and Adults with Severe Motor and Intellectual Disabilities on Long-Term NPO

Special English Session SES

9 月 12 日（土）September 12 (Sat) 8：30～9：30
第 12 会場 Room 12 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 生田

Special English Session

座長：井上 誠（新潟大学大学院 医歯保健学研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野）
Beatrice Manduchi（The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, Texas, USA）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SES-1	Shu-Mei Yang	National Taiwan University Hospital, Taiwan	Doctor	Ultrasonographic Evaluation of Swallowing Function: Quantitative and Clinical Perspectives
SES-2	Yu-Chin Koo	Department of Nutrition, National Taiwan University Hospital, Taiwan	National Registered Dietitian	Hospital Meal Service Quality Enhancement: IDDSI Dysphagia Diet Implementation and Promotion
SES-3	Kyoung Chul Min	Dept. of Occupational Therapy, Wonkwang Univ., Korea	Occupational Therapist	Relationship Between Cognitive function, Physical function, Oral motor function and Dysphagia of Community dwelling Elderly in KOREA
SES-4	Tu-Kyu Kim	Kangbuk Samsung hospital. Rehabilitation Medicine Center, Korea	Occupational Therapist	Dysphagia interventions for patients with Schizophrenia
SES-5	Jennifer Maybee	Children's Hospital Colorado, USA	Speech Language pathologist, University faculty/ Vocational School Instructor	Understanding Dysphagia Trajectories in Children: Use of the Childhood Dysphagia Management Scale (CDMS) to Compare Time to Resolution Across Diagnoses
SES-6	Beatrice Manduchi	The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, Texas, United States	Speech Therapist	How much change is real? Determining the MDADI's Minimal Detectable Change in Head and Neck Cancer

ランチョンセミナー Luncheon Seminar LS

9月12日（土）September 12 (Sat) 12：00～13：00
第2会場 Room 2 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 A

ランチョンセミナー 1
「摂食嚥下リハビリテーションにおける口腔への新たなアプローチ ―口腔保湿と感覚入力の見点から―」
「Novel Approaches to Oral Management in Dysphagia Rehabilitation ― Perspectives on Oral Moisturization and Sensory Stimulation ―」

座長：戸原 玄（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学系専攻 老化制御学講座摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS1	なにぐち ひろしげ 谷口 裕重 Hiroshige Taniguchi	朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	摂食嚥下リハビリテーションにおける口腔への新たなアプローチ ―口腔保湿と感覚入力の見点から― Novel Approaches to Oral Management in Dysphagia Rehabilitation ― Perspectives on Oral Moisturization and Sensory Stimulation ―
LS1	わたなべ りさ 渡邊 理沙 Risa Watanabe	桶狭間病院 藤田こころケアセンター	歯科衛生士	同上

共催：株式会社フードケア

9月12日（土）September 12 (Sat) 12：00～13：00
第4会場 Room 4 【神戸国際展示場】2号館 2F 2A 会議室

ランチョンセミナー 2
「摂食嚥下障害に対する末梢磁気刺激療法」
「Peripheral magnetic stimulation for dysphagia」

座長：出江 紳一（医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS2	か が や ひとし 加賀谷 斉 Hitoshi Kagaya	国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部	医師	摂食嚥下障害に対する末梢磁気刺激療法 Peripheral magnetic stimulation for dysphagia

共催：株式会社 IFG

ランチョンセミナー Luncheon Seminar LS

9月12日(土) September 12 (Sat) 12:00～13:00

第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

ランチョンセミナー 3

「特別食加算における嚥下調整食の導入をスムーズに！—令和8年度診療報酬改定のポイントと実践の工夫—」

「Smooth Transition for Dysphagia Diet Under the Special Diet Add-on」

座長：上島 順子（NTT 東日本関東病院 栄養部）

栢下 淳（神戸学院大学 栄養学部 栄養学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS3-1	かやしだ じゅん 栢下 淳 Jun Kayashita	神戸学院大学 栄養学部 栄養学科	管理栄養士	嚥下調整食の特別食加算を取るために！まず押さえない算定要件と嚥下調整食分類 2021 Key Billing Requirements and the Japanese Dysphagia Diet Criteria 2021: Essential Knowledge for Claiming the Special Diet Add-on
LS3-2	うえしま じゅんこ 上島 順子 Junko Ueshima	NTT 東日本関東病院 栄養部	管理栄養士	どうやって導入する？美味しく安全な食形態で適切な栄養量を有する嚥下調整食 Implementation of Texture-Modified Diets with Optimal Nutrition, Safety, and Palatability

共催：ニュートリー株式会社

9月12日(土) September 12 (Sat) 12:00～13:00

第7会場 Room 7 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 倶楽 1

ランチョンセミナー 4

「ベッド上での理想の頸部姿勢から誤嚥を予防する超音波からのアプローチ ～エコー・ライブで学ぶ姿勢の重要性～」

「An Ultrasound-Based Approach to Aspiration Prevention Through Ideal Bedside Neck Posture: The Importance of Posture—Insights from Echo Live」

座長：溝上 祐子（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 プライマリケア看護学領域）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS4	やぶなか こういち 數中 幸一 Koichi Yabunaka	大野記念病院 超音波センター	大学・専門学校等教員	ベッド上での理想の頸部姿勢から誤嚥を予防する超音波からのアプローチ～エコー・ライブで学ぶ姿勢の重要性～ An Ultrasound-Based Approach to Aspiration Prevention Through Ideal Bedside Neck Posture: The Importance of Posture—Insights from Echo Live

共催：シーホネンス株式会社

ランチョンセミナー Luncheon Seminar LS

9月12日(土) September 12 (Sat) 12:00~13:00
第11会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野+布引

ランチョンセミナー 5
「座って食べる」を科学する ～座位姿勢と福祉用具で支える高齢者の“おいしく安全な食事”～
「The Science of "Eating While Seated" ~Supporting "Enjoyable and Safe Eating and Swallowing" for Older Adults Through Seated Posture and Assistive Devices~」

座長：大庭 潤平（神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS5	うえだ たかゆき 上田 貴之 Takayuki Ueda	東京歯科大学老年歯科補綴学 講座	歯科医師	「座って食べる」を科学する～座位姿勢と福祉用具で支える高齢者の“おいしく安全な食事”～ The Science of "Eating While Seated" ~Supporting "Enjoyable and Safe Eating and Swallowing" for Older Adults Through Seated Posture and Assistive Devices~
LS5	きの せ たかし 木之瀬 隆 Takashi Kinose	株式会社シーティング研究所	作業療法士	同上

共催：株式会社フロンティア

9月13日(日) September 13 (Sun) 12:10~13:10
第4会場 Room 4 【神戸国際展示場】2号館 2F 2A 会議室

ランチョンセミナー 6
「今すぐ始めよう！攻めの嚥下調整食」
「Take Action ! Proactive Approaches to Texture-Modified Diets」

座長：若林 秀隆（東京女子医科大学病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS6	うえしま じゅんこ 上島 順子 Junko Ueshima	NTT 東日本関東病院 栄養部	管理栄養士	今すぐ始めよう！攻めの嚥下調整食 Take Action ! Proactive Approaches to Texture-Modified Diets

共催：森永乳業クリニコ株式会社

ランチョンセミナー Luncheon Seminar LS

9月13日(日) September 13 (Sun) 12:10～13:10

第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

ランチョンセミナー 7

「形を整えるだけで満足していませんか？嚥下調整食加算に不可欠な『栄養強化』の考え方と実践事例のメソッド」

「The Concept of Nutritional Enhancement for Special Diet Surcharge」

座長：前田 圭介（愛知医科大学 栄養治療支援センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS7-1	えがしら ふみえ 江頭 文江 Fumie Egashira	地域栄養ケア PEACH 厚木	管理栄養士	今こそ、嚥下調整食の質を高めよう！ Now is the time to improve the quality of texture-modified foods!
LS7-2	きむら まみこ 木村 麻美子 Mamiko Kimura	日本医療伝道会 衣笠病院	管理栄養士	食事の時間を幸せに！～「美味しく少量高栄養」を目指した嚥下調整食の取り組み～ Making Mealtimes Enjoyable: Efforts to Develop Dysphagia Diets that are Tasty, Nutrient-Dense, and Served in Small Portions
LS7-3	あわた まゆ 粟田 麻友 Mayu Awata	世田谷記念病院	管理栄養士	きめ細やかなカスタマイズで栄養アップ！～油脂を活用したセントラルキッチンと各施設栄養管理の実践～ Optimizing Nutritional Intake with Fine-Tuned Customization: Utilizing Dietary Fats in Central Kitchen Operations and Facility-Based Nutrition Care

共催：日清オイリオグループ株式会社

ランチョンセミナー Luncheon Seminar LS

9月13日（日）September 13 (Sun) 12：10～13：10
第11会場 Room 11 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 北野＋布引

ランチョンセミナー 8
「完調品の嚥下調整食は、病院厨房と栄養管理をどう変えるか―導入事例から考える加算申請を見据えた実装のステップ」
「How Ready-to-Serve Dysphagia-Modified Diets Can Transform Hospital Kitchens and Nutrition Management: Implementation Steps Toward a Special Diet Add-On Application, Based on a Case Study」

座長：坂藤 美智子（株式会社ベネッセスタイルケア サービス推進本部 サービス推進部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
LS8	さかとう みちこ 坂藤 美智子 Michiko Sakato	株式会社ベネッセスタイルケア サービス推進本部 サービス推進部	言語聴覚士	完調品の嚥下調整食は、病院厨房をどう変えるか How Ready-to-Serve Dysphagia-Modified Diets Are Changing Hospital Kitchens
LS8	まつきだ ゆうこ 松本 夕子 Yuko Matsukida	医療法人徳洲会 鹿児島徳州会病院 栄養管理室	管理栄養士	特別食加算への対応を目的とした嚥下調整食導入の取り組み―多職種連携と安全でおいしい食形態を目指して Introducing Dysphagia-Modified Diets to Meet the Requirements of the Special Diet Add-On: Toward Interprofessional Collaboration and Safe, Palatable Food Textures

共催：株式会社ベネッセパレット

スポンサードシンポジウム Sponsored Symposium SSY

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00～16:15

第3会場 Room 3 【神戸国際展示場】1号館 2F 展示室 B

スポンサードシンポジウム

「アラフィフの経験をつなぐー摂食嚥下リハの今までとこれからー」

「Connecting the Experience of “Around-50” Generations: The Past and Future of Dysphagia Rehabilitation」

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SSY	ふるや じゅんいち 古屋 純一 Junichi Furuya	昭和医科大学大学院 歯学研究科 口腔機能管理学分野	歯科医師	アラフィフの経験をつなぐー摂食嚥下リハの今までとこれからー Connecting the Experience of "Around-50" Generations: The Past and Future of Dysphagia Rehabilitation
SSY	とほら はるか 戸原 玄 Haruka Tohara	東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	同上
SSY	おおの ともひさ 大野 友久 Tomohisa Ohno	陵北病院 歯科	歯科医師	同上
SSY	まつお こういちろう 松尾 浩一郎 Koichiro Matsuo	東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野	歯科医師	同上

共催：アサヒグループ食品株式会社

スポンサードセミナー Sponsored Seminar SS

9月12日(土) September 12 (Sat) 17:00~18:00
第5会場 Room 5 【神戸国際展示場】2号館 3F 3A 会議室

スポンサードセミナー
「食べるを支えるオーラルマネジメント —歯科と看護がつくる院内実践—」
「Oral management to support eating: Collaborative hospital practice between dentistry and nursing」

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
SS	ふくだ れお 福田 怜央 Reo Fukuda	兵庫医科大学病院 歯科口腔 外科	歯科衛生士	食べるを支えるオーラルマネジメント —歯科 と看護がつくる院内実践— Oral management to support eating: Collaborative hospital practice between dentistry and nursing
SS	くわた いちろう 桑田 一郎 Ichirou Kuwata	兵庫医科大学病院 看護部	看護師・保 健師	同上
SS	きしもと ひろみつ 岸本 裕充 Hiromitsu Kishimoto	兵庫医科大学 医学部 歯科口 腔外科学講座	歯科医師	同上

共催：日本歯科薬品株式会社

ハンズオンセミナー HS

9月11日（金）September 11 (Fri) 17:10～18:00

ハンズオンセミナー会場 【神戸国際展示場】2号館 3F 3B 会議室

ハンズオンセミナー 1

「咽頭を鍛える! sRED ハンズオン—発明者 Shaker 先生と体験する新しい嚥下訓練—」

「Strengthening the Pharynx! A Hands-on sRED Workshop — Experience a New Approach to Swallowing Exercise with sRED Inventor, Dr. Reza Shaker —」

講師：稲本 陽子（藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科）

柴田 斉子（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

スペシャルゲスト：Reza Shaker, MD（Associate Provost for Clinical and Translational Research, Medical College of Wisconsin ※sRED 開発者）

共催：インターリハ株式会社

9月13日（日）September 13 (Sun) 8:30～10:00

ハンズオンセミナー会場 【神戸ポートピアホテル】本館 B1F 菊水

ハンズオンセミナー 2

「VE を読み解く！ DIGEST-FEES ハンズオン —実践して身につける嚥下障害の重症度評価—」

「Interpreting FEES: A Hands-on DIGEST-FEES Workshop — Practical Training in Swallowing Impairment Severity Grading —」

講師：Heather M. Starmer（Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Stanford University, Palo Alto, California）

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:35~10:45

English Session 1. Sarcopenia/frailty

座長：若林 秀隆（東京女子医科大学病院 リハビリテーション科）
前田 圭介（愛知医科大学 栄養治療支援センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS1-1	Michael Siu Wai Chan	Department of Biomedical Engineering, The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong	Speech Therapist	Applying automatic segmentation on supraharyoid ultrasound images for morphological and textural analysis
ENS1-2				Withdrawn
ENS1-3	Irma ruslina defi	Department of Medicine, Hasan Sadikin General Hospital, Bandung, Indonesia	Doctor	TONGUE MUSCLE STRENGTH AND HEALTH RELATED QUALITY OF LIFE IN SARCOPENIA: POTENTIAL EFFECT ON MULTICOMPONENT EXERCISE
ENS1-4	Chaipat Suttapong	Sirindhorn National Medical Rehabilitation Institute, Thailand	Doctor	Prevalence and associated factors of sarcopenic dysphagia in Thai elderly people
ENS1-5	Ai-Hua Chang	School of Dentistry, College of Dental Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan	Student/ Graduate Student	Taiwan-Japan Collaborative Community Intervention Using Masticatory-Enhancing Textured Meals to Improve Oral and Physical Function in Older Adults
ENS1-6	Chen-Cheng Yang	Department of Public Health and Environmental Medicine, School of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung City, Taiwan	Doctor	Oral Frailty and Reduced Pulmonary Function in Rural Communities in Taiwan: Evidence for a Mediating Role of Sarcopenia Risk
ENS1-7	Sirima Kulvanich	Faculty of Dentistry, Thammasat University, Thailand	Dentist	Impact of Oral Frailty on Perceived Chewing Ability, Oral Dexterity, and Physical Strength among Thai Older Adults: A Multidimensional Analysis

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:50~11:40

English Session 2. Nutrition

座長：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科）

飯田 貴俊（北海道医療大学歯学部 摂食機能療法・加齢歯科学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS2-1	Noemi Tomsen	Gastrointestinal Physiology Laboratory, Hospital de Mataró, Universitat Autònoma de Barcelona, Mataró, Spain	Others	Evaluation of the Effectiveness of an Optimal Massive Intervention in Older Patients with Oropharyngeal Dysphagia: A Randomized Clinical Trial
ENS2-2	Ayano Nagano	Nishinomiya Kyoritsu Neurosurgical Hospital, Japan	Nurse/ Public Health Nurse	Factors Associated with Survival After Percutaneous Endoscopic Gastrostomy: A Nationwide Study
ENS2-3	Suk Meng Goh	Singapore Institute of Technology, Singapore	University Teacher/ Vocational School Teacher	Opportunities to Increase Dysphagia Food Options using Transitional Foods
ENS2-4	Raymond Fong	The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong	Speech Therapist	The Impact of Molded Texture-Modified Diets on Feeding Behaviors and Nutritional Intake in Residential Aged Care
ENS2-5	XIRUI ZHAO	Science Tokyo Dysphagia Rehabilitation Department, Japan	Student/ Graduate Student	Association between taste sensitivity and dietary diversity in healthy individuals: A Cross-Sectional Study

9月12日(土) September 12(Sat) 15:00~15:50

English Session 3. Pathophysiology

座長：花山 耕三 (川崎医科大学リハビリテーション医学教室)
近藤 和泉 (東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS3-1	Howell Henrian Bayona	Department of Rehabilitation Medicine, School of Medicine, Fujita Health University, Japan	Speech Therapist	Clarifying the biomechanics of the Shaker exercise using CT and high-resolution manometry (HRM): preliminary results
ENS3-2	Hiroki Tateuchi	Atsugi City Hospital, Japan	Speech Therapist	Suprahyoid Muscle Activity During Head Flexion Exercise in Supine, 45-Degree Tilt Positions, and Lateral Decubitus
ENS3-3	Phoebe Tsz-Ching Shek	Department of Language Science and Technology, The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong	Speech Therapist	Qualitative Analysis of Mendelsohn Maneuver Performance in Ultrasound
ENS3-4	Warangkana Deeprasertdamrong	Dept. Rehabilitation Med., Sch. Med., Fujita Health University, Toyoake, Aichi, Japan	Student/ Graduate Student	Timing of laryngeal elevation and laryngeal vestibular closure in patients with post-stroke dysphagia: A Kinematic analysis using Swallowing CT
ENS3-5	Leyan Sun	Graduate School of Health Sciences, Fujita Health University, Japan	Speech Therapist	Effects of posture on true vocal fold area and laryngeal vestibule volume during swallowing

プログラム

9月12日(土) September 12(Sat) 15:55~16:55

English Session 4. Clinical research

座長：野崎 園子（関西労災病院 脳神経内科）

谷口 裕重（朝日大学 歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS4-1	AMMAR BIN KAMAR	Department of Pharmacy, Hospital Kuala Lumpur, Wilayah Persekutuan Kuala Lumpur, Malaysia	Pharmacist	Pill-Swallowing Difficulty Among Malaysian Outpatients: Prevalence, Determinants and Clinical Consequences
ENS4-2	Megumi Kaige	Yuai-kai Hospital, Sanwakai Medical Corporation, Japan	Speech Therapist	Dissociation Between ADL and Swallowing Recovery in Acute Neurosurgical Patients: Swallowing Improvement Despite Unchanged ADL Under a Multidisciplinary Approach
ENS4-3	Yumi Chiba	School of Nursing, Graduate School of Medicine, Yokohama City University, Japan	Nurse/ Public Health Nurse	Case-Based Discussion on Eating and Swallowing Function in a Patient with Ventricular Assist Device Support
ENS4-4	Heather M. Starmer	Stanford University, USA	Speech Therapist	Evaluating laryngeal and pharyngeal edema in patients with head and neck cancer: Relevance to swallowing outcomes
ENS4-5	Erumi Takahashi	Uji Hospital, Japan	Speech Therapist	Oral Intake Support for an Elderly Patient with Persistent Dysphagia: A Case Report on a Team Approach with the Complete Lateral Decubitus Position
ENS4-6	Zhiming Tang	The First People's Hospital of Foshan (Foshan Hospital Affiliated to Southern University of Science and Technology), China	Doctor	5-Hz rTMS over the premotor cortex enhances swallowing coordination in post-stroke dysphagia: Evidence from a randomized, single-blind, controlled trial

9月13日(日) September 13(Sun) 11:00~11:50

English Session 5. International relations

座長：海老原 覚（東北大学 リハビリテーション科）
浅見 豊子（医療法人安寿会 田中病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS5-1	Carlos Manzano	Latin American Society of Dysphagia (SLAD)	Doctor	THE IMPORTANCE OF TEAMWORK BETWEEN THE JAPANESE SOCIETY OF DYSPHAGIA REHABILITATION (JSDR) AND THE LATIN AMERICAN SOCIETY OF DYSPHAGIA (SLAD)
ENS5-2	Gantsatsral Ganpurev	International University of Health and Welfare, Mongolian National University of Medical Sciences, Mongolia	Student/ Graduate Student	History and Future Directions of Dysphagia Rehabilitation in Mongolia: Japan's Bridging Role
ENS5-3	Chompunut Pongakkasira	Sirindhorn National Medical Rehabilitation Institute, Thailand	Doctor	Thailand Practical Clinical guidelines for dysphagia rehabilitation in head and neck cancer.
ENS5-4	Sang Ju Yu	Home Clinic Dulan, Taiwan	Doctor	Current Practices and Challenges of Dysphagia Care in Home Medical Teams: A Pilot Survey
ENS5-5	Denise Chua	Swallowing Research Laboratory, Faculty of Education, The University of Hong Kong, Hong Kong	Speech Therapist	Improving Access to Dysphagia Rehabilitation in Nursing Home Settings: Pilot Study of a Team-Based Approach

9月13日(日) September 13(Sun) 13:20~14:00

English Session 6. High-resolution manometry

座長：香取 幸夫（東北大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
二藤 隆春（国立国際医療研究センター病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS6-1	Beverly Ong	Singapore Institute of Technology (SIT), Singapore	Speech Therapist	Long-term Swallowing Outcomes in Patients Attending High-Resolution Pharyngeal Manometry Service in a Tertiary Hospital
ENS6-2	Jia En Lee	Singapore Institute of Technology, Singapore	Speech Therapist	Uptake of ENT-led upper esophageal sphincter interventions following Pharyngeal High-Resolution Impedance Manometry
ENS6-3	Seh Ling Kwong	Singapore Institute of Technology, Singapore	University Teacher/ Vocational School Teacher	Distinct Physiological Information From Pharyngeal High Resolution Impedance Manometry Beyond Videofluoroscopic Swallowing Studies
ENS6-4	Maria Angela Salomon Dealino	Department of Otolaryngology and Head and Neck Surgery, the University of Tokyo, Tokyo, Japan	Doctor	Retrograde cricopharyngeal dysfunction: Two case reports and a literature review

9月13日(日) September 13(Sun) 14:10~14:50

English Session 7. Oral care

座長：石田 瞭（東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室）
伊原 良明（昭和医科大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS7-1	Su-Chih Kuei	Algol Instrument Co., Ltd., Taiwan	Industry	Development of elderly-friendly healthy snacks combining TRIZ method, human sensory evaluation and scientific instrumental analysis
ENS7-2	Jo-Peng Tsai	Department of Catering and Health, CTBC University of Technology, Taiwan	University Teacher/ Vocational School Teacher	Enhancing Chewing Ability and Muscle Strength among Older Adults through a University Social Responsibility Program: A Service Case Study in Ximei Community, Tainan
ENS7-3	Hyun Jeong Kim	Seoul National University Hospital, Korea	Doctor	Efficacy of a Multi-Channeled Oral Irrigation Device for Stroke Rehabilitation
ENS7-4	Hsiao-Ling Huang	Department of Oral Hygiene, Kaohsiung Medical University, Taiwan	University Teacher/ Vocational School Teacher	Integrating Oral Hygiene with Functional Exercises in Dysphagia Rehabilitation: Community and Clinical Evidence in Older Adults

9月13日(日) September 13 (Sun) 8:30~9:40

English Session 8. Evaluation

座長：岡崎 達馬（東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻 機能医科学講座（臨床障害学分野））
金沢 英哲（Swallowish Clinic）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS8-1	Ryosuke Minatoya	Graduate School of Comprehensive Human Sciences, Degree Program in Nursing Science, University of Tsukuba, Japan	Student/ Graduate Student	Predictive Accuracy of Comprehensive Versus Isolated Swallowing Function Assessment for Aspiration Pneumonia Risk in Stroke Patients
ENS8-2	Nur Hidayati	Taipei Medical University, Taiwan	Student/ Graduate Student	Diagnostic Accuracy of Dysphagia Screening Tool for Acute Stroke Patients: A Meta-Analysis
ENS8-3	Joana Liu	Swallowing Research Laboratory, The University of Hong Kong, Hong Kong	Speech Therapist	Classifying oromotor impairment: A novel approach
ENS8-4	Tao LIU	Peking University School of Nursing, China	Student/ Graduate Student	An Acoustic Feature-Based Intelligent Screening System for Dysphagia: Design, Implementation and Preliminary Usability Evaluation
ENS8-5	Wilson Yiu Shun Lam	Department of Language Science and Technology, The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong	Speech Therapist	Implementing Clinician-AI Collaboration in Point-of-care Ultrasound Swallowing Screening with Explainable Mixture of Expert Model
ENS8-6	Naoto Arimoto	Department of Rehabilitation Medicine, Iwata City Hospital, Iwata, Shizuoka, Japan	Doctor	Development and Predictive Validation of IWATA-4 for Discharge Dietary Status Using Admission Information
ENS8-7	Fumiaki Sahara	Iwata City Hospital, Japan	Speech Therapist	Stratification of Speech-Language Therapy Demand and Support for Resource Allocation Using IWATA-4

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:45~10:55

English Session 9. Videofluoroscopy/Videoendoscopy

座長：國枝 顕二郎（関西医科大学リハビリテーション医学講座）
小野木 啓子（藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS9-1	Noemi Tomsen	Gastrointestinal Physiology Laboratory, Department of Surgery, Hospital Universitari de Mataró, Consorci Sanitari del Maresme, Universitat Autònoma de Barcelona, Mataró, Spain.	Others	DEFINING THE ASPIRATOR PHENOTYPE: A VIDEOFUOROSCOPIC ANALYSIS OF ASPIRATION IN OLDER PATIENTS WITH OROPHARYNGEAL DYSPHAGIA
ENS9-2	Le Thi Phuong Dung	Rehabilitation Center - Bach Mai Hospital - Viet Nam	Doctor	INITIAL EVALUATION OF REHABILITATION OUTCOMES FOR POST-STROKE DYSPHAGIA AT THE REHABILITATION CENTER, BACH MAI HOSPITAL USING VIDEOFUOROSCOPIC SWALLOWING STUDY (VFSS)
ENS9-3	Koji Takahashi	Mogu-mogu Clinic Swallowing Rehabilitation, Nutrition and Dentistry, Japan	Dentist	Sensory Evaluation of the Radiopaque Staple Foods Developed for the Videofluoroscopic Swallow Study Assessed Using VAS Sensory Tests
ENS9-4	Masato Murakami	Department of Rehabilitation Medicine, JA Tsuchiura Kyodo Hospital, Japan	Doctor	The relationship between Hyodo score and diet form at discharge in patients with aspiration pneumonia
ENS9-5	Suchanun Keesukphan	Department of Rehabilitation Medicine, Faculty of Medicine Ramathibodi hospital, Mahidol University, Thailand	Doctor	Characterizing Dysphagia in the Elderly: Prevalence and FEES Findings from a Specialized Dysphagia Service
ENS9-6	Syakriani Syahrir	Division of Dysphagia Rehabilitation, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Science, Japan	Student/ Graduate Student	Newly developed chocolate dessert for patients with swallowing disorders
ENS9-7	KuanTing Chou	MacKay Memorial Hospital, Taiwan	Doctor	Serial VFSS and FEES Guided Dynamic Rehabilitation in Complex Neurogenic Dysphagia After Cerebellar and Brainstem Hemorrhagic Stroke: A Case Report

9月13日(日) September 13(Sun) 11:00~11:50

English Session 10. Older adults and end-of-life care

座長：前島 伸一郎（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター）
吉田 光由（藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS10-1	Hideaki Kanazawa	Swallowish Clinic, Japan	Doctor	Evaluation of a Novel Modified Aspiration Prevention Surgery (APS) for Patients in Extremely Poor General Condition: Essential Factors for Success
ENS10-2	Takanori Tenjin	Department of General Internal Medicine, Clover Hospital, Japan	Doctor	Association Between Admission C-Reactive Protein and Swallowing Function at Discharge in Older Patients With Proximal Femoral Fracture
ENS10-3	Yali Li	Affiliated Hospital of Shandong Second Medical University, China	Doctor	Integrated awakening-extubation-swallowing rehabilitation in a patient with 2-year permanent vegetative state
ENS10-4	Haiwan Wu	The Third Affiliated Hospital of Sun Yat-sen University, China	Doctor	Associated factors for Dysphagia in Alzheimer's Patients: A Retrospective Nationwide Inpatient Database Study

プログラム

9月13日(日) September 13(Sun) 13:20~14:00

English Session 11. Basic research

座長：松浦 広昂（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
松元 秀次（茨城県立医療大学 医科学センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS11-1	Chang-Rong Pan	Division of Dysphagia Rehabilitation, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan	Dentist	Laryngeal heat stimulation evokes swallowing reflex via TRPV1 activation in anesthetized rats
ENS11-2	Reiko Ita	Department of Oral Rehabilitation, Niigata University Medical & Dental Hospital, Japan	Dentist	Effects of repetitive tongue movements on corticobulbar excitability of tongue and suprahyoid muscle areas evaluated by transcranial magnetic stimulation
ENS11-3	Chisato Aizawa	Division of Dysphagia Rehabilitation Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan	Student/ Graduate Student	Quantitative analysis of tongue muscle activity modulated by food physical properties during chewing
ENS11-4	Noemi Tomsen	Gastrointestinal Physiology Lab, Hospital Universitari de Mataró, Consorci Sanitari del Maresme, Mataró, Spain.	Others	SPONTANEOUS SWALLOWING FREQUENCY IN HOSPITALIZED OLDER PATIENTS: INFLUENCE OF OROPHARYNGEAL DYSPHAGIA AND EFFECTS OF CAPSAICIN STIMULATION

9 月 13 日 (日) September 13 (Sun) 14：10～14：40

English Session 12. Exercise

座長：梅本 丈二（福岡大学医学部歯科口腔外科学講座）
藤谷 順子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
ENS12-1	Noemi Tomsen	Centro de Investigación Biomédica en Red en Enfermedades Hepáticas y Digestivas (CIBEREHD), Instituto de Salud Carlos III, Madrid, Spain.	Others	EFFECT OF PAIRED (PERIPHERAL AND CENTRAL) STIMULATION ON THE SPONTANEOUS SWALLOWING FREQUENCY IN ACUTE POST-STROKE PATIENTS WITH OROPHARYNGEAL DYSPHAGIA
ENS12-2	Ju Seok Ryu	Seoul National University Bundang Hospital, Korea	Doctor	Sequential Four-Channel Neuromuscular Electrical Stimulation for Refractory Dysphagia in Chronic Stroke and Cervical Spinal Cord Injury: A Two-Case Report
ENS12-3	Lilik Nurhasanah Purnomo Putri	Department of Anatomy, Faculty of Medicine, Public Health and Nursing, Gadjah Mada University, Indonesia	Physiotherapist	Respiratory Muscle Training Combined with Swallowing Rehabilitation on Deglutition-Pulmonary Function and Pneumonia Risk Reduction in Post-Stroke Dysphagia

9月11日(金) September 11 (Fri) 16:15~17:25

O1. 回復期 Convalescent phase

座長：近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O1-1	内藤 大佑 Daisuke Naito	文京学院大学大学院 保健医 療科学研究科	作業療法士	回復期脳卒中患者における非経口から経口摂取 への移行：体幹機能と嚥下機能を統合した予後 予測モデルの構築 Transition to Oral Intake in Convalescent Stroke Patients: A Prognostic Model Integrating Trunk and Swallowing Functions
O1-2	小嶋 幸枝 Yukie kojima	季美の森リハビリテーション 病院	看護師・保 健師	回復期リハビリテーション病棟における VE 院 内実施体制構築後の嚥下評価運用の変化：単施 設後方視的研究 Changes in Dysphagia Evaluation Workflow After In-House VE Implementation in a Convalescent Rehabilitation Ward: A Single-Center Retrospective Study
O1-3	牟田口 奈々 NANA MUTAGUCHI	医療法人喬成会 花川病院	言語聴覚士	回復期リハビリテーション病棟に入院した 90 歳 以上超高齢患者における摂食嚥下障害の改善実 態と関連因子 Improvement of dysphagia and its related factors in super-elderly patients aged 90 years or older admitted to convalescent rehabilitation wards
O1-4	伊藤 喬範 Takanori Ito	神戸リハビリテーション病院	言語聴覚士	回復期脳卒中患者における入院時の口腔期障害 と嚥下機能改善の関連 The relationship between oral phase disorders on admission and improvement in swallowing function in stroke patients admitted to a post-acute rehabilitation hospital
O1-5	吉見 佳那子 Kanakako Yoshimi	東京科学大学大学院医歯学総 合研究科 摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	回復期リハビリテーション病棟に入院する嚥下障害患者の経口 摂取に関わる因子の検討 -身体機能を介した口腔・栄養の関連- Oral Intake Recovery During Rehabilitation: The Role of Physical Function Linking Nutrition and Oral Health
O1-6	渋谷 瑞穂 Mizuho Shibuya	江戸川メディケア病院	看護師・保 健師	回復期リハビリテーション病棟における多角的 口腔評価と歯科介入の必要性 Multidimensional Oral Assessment and the Necessity of Dental Intervention in Convalescent Rehabilitation Wards
O1-7	肥後 智行 Tomoyuki Higo	東京科学大学大学院 医歯学 総合研究科 摂食嚥下リハビ リテーション学分野	歯科医師	回復期リハビリテーション病院入院中の高齢者 では、嚥下機能・身体機能・呼吸機能に日内差 があるか Do diurnal variations exist in swallowing, physical, and respiratory functions among elderly patients hospitalized in a post-acute rehabilitation hospital?

一般演題 口演発表 9月11日(金) September 11 (Fri) 第3会場 Room 3

9月11日(金) September 11 (Fri) 17:25~18:25

O2. 訓練 1 Exercise 1

座長：熊倉 真理 (社会医療法人緑泉会米盛病院 リハビリテーション科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O2-1	黒木 優佑 Yusuke Kuroki	亀田総合病院	医師	嚥下おでこ体操の即時効果の検討：嚥下造影検査を用いた後方視的研究 Evaluation of the Immediate Effects of the Forehead Exercise: Retrospective Study Using Videofluoroscopic Swallowing Examination
O2-2	久木田 識豪 Norihide Kukita	国際医療福祉大学熱海病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下おでこ体操の実施方法の違いがオトガイ下筋群の筋活動に及ぼす影響 Effects of Different Methods of Performing the Swallowing Forehead Exercise on Submental Muscle Activity
O2-3	まつなが あきと Akito Matsunaga	済生会守山市民病院看護部	看護師・保健師	干渉波電気刺激（IFC）を用いた嚥下リハビリテーション：舌骨運動と嚥下誘発時間の前後比較 Swallowing Rehabilitation Using Interferometric Current Therapy (IFC): A Pre- and Post-Comparison of Hyoid Exercise and Swallowing Induction Time
O2-4	なんど 智紀 Tomoki Nanto	森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 言語聴覚学科	言語聴覚士	舌の巧緻性トレーニングにおけるフィードバック方法および認知機能の影響 Effects of Feedback Modality and Cognitive Function on Tongue Skill Training
O2-5	おおたき なみこ Namiko Otaki	WyL 株式会社 ウィル訪問看護ステーション	言語聴覚士	前舌保持嚥下法の実施回数の違いが舌圧、唾液および自覚的評価へ及ぼす影響－地域在住高齢者における検討－ Effects of Training Frequency of the Tongue-Hold Swallow on Tongue Pressure, Salivary Secretion, and Subjective Evaluation of Swallowing in Community-Dwelling Older Adults
O2-6	わたなべ ももか Momoka Watanabe	苑田会ニューロリハビリテーション病院	言語聴覚士	高頻度反復性経頭蓋磁気刺激と嚥下訓練を併用した嚥下リハビリテーションの効果－ケースシリーズスタディー－ Effect of Combined High-Frequency Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation and Swallowing Training in Dysphagia Rehabilitation: A Case Series Study

9月11日(金) September 11 (Fri) 16:15~17:25

O3. 終末期 1 End-of-Life Care 1

座長：山田 律子（北海道医療大学 看護福祉学部・看護学科 生涯発達看護学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O3-1	かがわ ゆうじ 香川 勇治 Yuji Kagawa	公益財団法人慈愛会 今村総合病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	頸髄損傷に伴い繰り返し誤嚥性肺炎を発症した患者に MI-E を導入し退院支援を行った症例 A Case of Discharge Support Using MI-E for Recurrent Aspiration Pneumonia Associated with Cervical Spinal Cord Injury
O3-2	いなぎ しょうた 稲垣 翔太 Shota Inagaki	浜松市リハビリテーション病院	言語聴覚士	反復性誤嚥性肺炎の重度サルコペニア嚥下障害に対し誤嚥しない摂食条件遵守により3食経口摂取に至った一例 A Case of Severe Sarcopenic Dysphagia with Recurrent Aspiration Pneumonia Achieving Full Oral Intake through Safe Direct Therapy
O3-3	わたべ まりな 渡部 満梨奈 Marina Watabe	イムスグループ 医療法人財団 明理会 西仙台病院	言語聴覚士	誤嚥性肺炎を繰り返しながらも、最期まで食べる楽しみに寄り添うことができた脳梗塞後遺症の症例 A Case of Cerebral Infarction Sequelae Supporting Enjoyment of Eating until the End of Life Despite Recurrent Aspiration Pneumonia
O3-4	はら じゅんいち 原 純一 Junichi Hara	はら歯科口腔外科・嚥下 曾根田駅前	歯科医師	誤嚥性肺炎を繰り返す重度摂食嚥下障害患者への経口摂取を可能にする完全側臥位と送り込み代償法 Complete lateral positioning and feeding compensation techniques to enable oral intake in patients with severe dysphagia and recurrent aspiration pneumonia.
O3-5	たや みちこ 田矢 理子 Michiko Taya	三重北医療センター 蕨野厚生 病院	医師	当院地域包括ケア病棟におけるレスパイト入院を利用した摂食嚥下機能評価 Assessment of swallowing function using respite admissions in our hospital's comprehensive care ward
O3-6	さいとう ともみ 斎藤 智美 Saito Tomomi	東京科学大学病院 看護部 集中治療部	看護師・保健師	ICU 終末期患者に対する「お食い締め」の実践と課題の検討 Implementation and Challenges of “Okuijime” for End-of-Life Patients in the ICU
O3-7	かじ あきひと 加地 彰人 Akihito Kaji	医療法人あき歯科医院	歯科医師	認知症終末期における食の意思決定支援モデルの構築 Development of a Decision-Making Support Model for Eating in End-of-Life Dementia

9月11日(金) September 11 (Fri) 17:25~18:25

O4. 小児 1 Pediatrics 1

座長：四津 有人（日本医科大学付属病院 リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O4-1	なかむら たつや 中村 達也 Tatsuya Nakamura	島田療育センターはちおうじ	言語聴覚士	重症心身障害者における安静時唾液嚥下頻度が舌骨上筋群の筋断面積に与える影響 Impact of spontaneous saliva swallowing on suprahyoid muscle cross-sectional area in individuals with severe motor and intellectual disabilities
O4-2	おおつか かよこ 大塚 佳代子 Kayoko Otsuka	関西福祉科学大学	言語聴覚士	小児における非接触型咀嚼運動評価法を用いた食形態差の検出に関する検討 A Study on the Detection of Differences in Food Texture Using a Non-contact Method for Evaluating Masticatory Movement in Children
O4-3	もうり じゅんこ 毛利 純子 Junko Mouri	あいichi小児保健医療総合センター 小児外科	医師	摂食嚥下障害として介入されうる先天性食道狭窄症の診断遅延 Congenital esophageal stenosis mismanaged as feeding disorders: diagnostic delay and clinical clues
O4-4	たかはし ちか 高橋 知佳 Chika Takahashi	東京科学大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科衛生士	中学生吹奏楽部員における食事の遅さの自覚と口腔機能の関連 Relationship Between Self-Perceived Slow Eating and Oral Function Among Junior High School Wind Ensemble Members
O4-5	たなか のぶかず 田中 信和 Nobukazu Tanaka	大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部	歯科医師	重症心身障害児者における染色液を用いた微量誤嚥検出の有用性：肺炎発症との関連による検討 Utility of Detecting Micro-Aspiration with a Colored Dye in Patients with Severe Motor and Intellectual Disabilities: Association with Pneumonia Onset
O4-6	きはら けんじ 木原 健二 Kenji Kihara	神戸医療福祉センター ひだまり	理学療法士	肢体不自由児の成人後における粗大運動機能と経管栄養導入の関連についての検討 A study on the relationship between gross motor function and the introduction of tube feeding in adulthood with physical disabilities.

9月12日(土) September 12 (Sat) 8:30~9:30

O5. 訓練2 Exercise 2

座長：松浦 容子（藤田医科大学ばんだね病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O5-1	にしおか なつめ 西岡 夏芽 Natsume Nishioka	藤田医科大学病院リハビリ テーション部	言語聴覚士	若年健常者における喉頭運動変位量の男女間お よび食塊物性による比較 Comparison of Laryngeal Displacement During Swallowing Between Genders and Bolus Consistencies: A Quantitative Study Using Normalized Values
O5-2	リュウ ジョアナ Joana Liu	香港大学	言語聴覚士	摂食嚥下リハビリテーションにおける新しい臨 床ツール「Swallowing Gym」の有用性の検討 Swallowing Gym: A novel clinical tool in dysphagia rehabilitation
O5-3	うだ さいか 宇田 彩耶 Saika Uda	社会福祉法人恩徳福祉会特別 養護老人ホームしその杜	管理栄養士	スプーン保持エクササイズによる栄養状態改善 の可能性～食べられる口を作りましょう～ The Potential for Improving Nutritional Status through Oral Spoon-Holding Exercise ~Let's train the oral function for eating~
O5-4	うらながせ あつひろ 浦長瀬 昌宏 Atsuhiro Uranagase	一般社団法人嚥下トレーニング 協会	医師	嚥下反射を随意運動へ：嚥下障害の予防を目指 す喉頭上下運動プログラム From Swallowing Reflex to Voluntary Movement: A Laryngeal Elevation and Depression Program for Dysphagia Prevention
O5-5	よしおか きよみ 吉岡 聖美 Kiyomi Yoshioka	明星大学	大学・専門学 校等教員	口腔機能と認知機能のリハビリテーションプロ グラムのアプリ開発と実践評価 Development and Practical Evaluation of Rehabilitation Program Apps for Oral and Cognitive Functions
O5-6	えんどう ゆうこ 遠藤 裕子 Yuko Endou	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総 合病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	間接嚥下訓練としてのカフ上発声法 (Above Cuff Vocalization; ACV) Above Cuff Vocalization (ACV) as Indirect Swallowing Training

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第3会場 Room 3

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:35~10:35

O6. 訓練3 Exercise 3

座長：外山 慶一（大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O6-1	にわ とみき 丹羽 智貴 Tomoki Niwa	医療法人和光会山田病院リハビリテーション部	言語聴覚士	酒石酸ネブライザーの継続的な使用により不顕性誤嚥が改善し咳嗽反射が出ようになった一例 A case in which continued use of tartaric acid nebulization improved silent aspiration and elicited the cough reflex
O6-2	よしお きょうか 吉尾 京華 Kyoka Yoshio	医療法人偕行会 名古屋共立病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	歯科の介入により代償手段を獲得した一例 An example of acquiring compensatory means through dental intervention
O6-3	こんの あやか 紺野 彩香 Ayaka Konno	船橋総合病院 栄養科	管理栄養士	KT バランスチャートを活用した、誤嚥性肺炎患者への入院中のチームアプローチ A team approach to patients with aspiration pneumonia during hospitalization using KT balance charts
O6-4	あおやま しゅんや 青山 峻也 Shunya Aoyama	医療法人社団八千代会メリーホスピタル栄養科	管理栄養士	脊髄小脳変性症患者の胃癌術後におけるカフ上発声法から完全側臥位への転換と TPN による栄養管理の一経験 Transition from Above Cuff Vocalization to Complete Lateral Position and TPN in Postoperative Gastric Cancer with Spinocerebellar Degeneration
O6-5	たの つばさ 田野 比翔 Tsubasa Tano	鳥取県立中央病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	超音波で評価した舌骨上筋収縮改善と誤嚥残存を認めた一症例：症例報告 Improved suprahyoid muscle contraction assessed by ultrasonography with persistent aspiration: A case report

9月12日（土）September 12 (Sat) 10：40～11：40

07. 臨床研究 1 Clinical research 1

座長：西山 耕一郎（西山耳鼻咽喉科医院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O7-1	おんだ 恩田 あずみ Azumi Onda	医療法人協和会 ウエルハウス 川西	言語聴覚士	頬膨らまし能力の5段階評価と経口摂取の状況 について：要介護高齢者での予備的調査 Association Between Cheek-Puffing Ability and Oral Intake Status: A Pilot Study in Frail Older Adults
O7-2	なかひら てつや 仲平 哲也 Tetsuya Nakahira	東京科学大学大学院 医歯学 総合研究科 摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	開口力が低い高齢者ほど、咀嚼・嚥下負荷の高い 食品への期待感が増大する The lower the mouth-opening force in older adults, the greater their expectation for foods that impose higher chewing and swallowing demands.
O7-3	にしやま こういちろう 西山 耕一郎 Koichiro Nishiyama	西山耳鼻咽喉科医院	医師	嚥下機能と頸部筋力計測の検討 Study on swallowing function and neck muscle strength measurement
O7-4	きむら しんいち 木村 真一 Shinichi Kimura	医療法人ユリス会 谷津パー ク診療所	医師	筋量はいつ崩れ始めるのか：CCRの動的変化か らみた低下過程の検討 When Does Muscle Reserve Begin to Collapse? A Dynamic Analysis of CCR Decline Trajectories in Older Adults
O7-5	もり たかし 森 隆志 Takashi Mori	総合南東北病院	言語聴覚士	サルコペニアの嚥下障害診断フローチャート 2026の開発 Development of the diagnostic algorithm for sarcopenic dysphagia 2026
O7-6	や の さとこ 矢野 聡子 Satoko Yano	茨城県立医療大学 看護学科	看護師・保 健師	意識的口腔リネシングは準備期から咽頭期の摂 食嚥下関連筋を活動させるか：水量・年齢差の sEMG 検討 Muscle Activity During the Preparatory, Oral, and Pharyngeal Phases of Swallowing Following Gargling: The Effects of Intake Volume and Age

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:20～17:10

O8. 薬剤 Medications

座長：巨島 文子（諏訪赤十字病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O8-1	佐藤 春奈 HARUNA SATO	医療法人社団旭豊会 旭川三愛病院	言語聴覚士	PILL-5 の各項目と内服薬嚥下障害の関連性 Association between individual PILL-5 items and oral medication swallowing difficulty
O8-2	橋本 燎人 Ryoto Hashimoto	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	言語聴覚士	薬剤服用時に生じる摂食嚥下障害 Pill-induced dysphagia
O8-3	ながえ あきこ Akiko Nagae	びわこ学園医療福祉センター 草津	医師	新規抗てんかん薬への移行が重症心身障害者の経口摂取へもたらす影響 The Effect of Transitioning to Newer Antiseizure Medications on Oral Intake in Individuals with Severe Motor and Intellectual Disabilities
O8-4	井筒 やよい yayoi izutsu	TMG あさか医療センター	言語聴覚士	薬剤変更に時間を要した薬剤性嚥下障害の一例 A case of drug-induced dysphagia that required time to modify the medication
O8-5	かじかわ ゆうじ yuji kajikawa	朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	カプサイシンが咀嚼・嚥下動態に及ぼす影響～嚥下障害患者における予備的検証～ The Effects of Capsaicin on Chewing and Swallowing Dynamics: A Preliminary Study in Patients with Swallowing Disorders

9月12日(土) September 12 (Sat) 17:10~18:00

O9. 口腔ケア 1 Oral care 1

座長：高柳 久与（豊橋市民病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O9-1	かわしま りょう 河嶋 亮 Ryo Kawashima	医療法人社団成仁会 市ケ尾 病院	言語聴覚士	口腔乾燥が嚥下機能に与える影響とは？ —口腔内水分量との相関性の検討— What are the effects of dry mouth on swallowing function? - An Examination of the Correlation with Oral Moisture Content -
O9-2	きむら あやか 木村 綾香 Ayaka Kimura	定山溪病院	言語聴覚士	当院地域包括ケア病棟における摂食嚥下障害患 者の重症度と口腔状態の関連性 Association Between the Severity of Eating and Swallowing Disorders and Oral Health Status Among Patients in a Community-Based Integrated Care Ward
O9-3	いぬかい てるみ 犬飼 見見 Terumi Inukai	日本赤十字社愛知医療セン ター名古屋第一病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	小児化学療法・造血幹細胞移植患者に対する口 腔ケア導入後の口腔粘膜炎発症率の調査 Investigation of the incidence of oral mucositis after the introduction of oral care in pediatric chemotherapy and hematopoietic stem cell transplant patients.
O9-4	り まさいち 李 昌一 Masaichi LEE	神奈川歯科大学社会歯科学系 社会歯科学講座災害歯科学 分野	歯科医師	唾液抗酸化能評価を用いた摂食嚥下リハビリ テーションの生理学的評価法の可能性 Potential of Salivary Antioxidant Capacity Assessment as a Physiological Evaluation Method for Dysphagia Rehabilitation
O9-5	わたなべ ようこ 渡邊 陽子 Yoko Watanabe	総合病院土浦協同病院	看護師・保 健師	経口挿管患者の口腔ケアにおける汚染物回収方 法の実態—清拭法と洗浄法の比較— Current Practices in Contaminant Removal Methods in Oral Care for Endotracheally Intubated Patients: A Comparison of Wiping and Irrigation Techniques

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第4会場 Room 4

9月12日(土) September 12 (Sat) 8:30~9:30

O10. 看護 1 Nursing 1

座長：伊藤 順子（群馬バース大学 教育実践センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O10-1	こばやし よしこ 小林 佳子 YOSHIKO KOBAYASHI	佐野厚生総合病院 看護部	看護師・保健師	急性期病棟における看護師主導の嚥下介入 608 例の臨床像 Clinical features of 608 cases of nurse-led dysphagia intervention in acute care wards
O10-2	こしみず もとこ 古清水 元子 Motoko Koshimizu	諏訪赤十字病院	看護師・保健師	看護師による摂食嚥下障害患者の食形態変更のための観察評価表の使用とその有用性 Use of an Observation Assessment Sheet by Nurses for Changing the Food Form of Patients with Eating and Swallowing Disorders and Its Usefulness
O10-3	いし い みちのぶ 石井 亨信 Michinobu Ishii	つくばセントラル病院 看護部	看護師・保健師	日常的口腔ケア実践に対する病棟看護師の思いと行動の変化：ミューチュアル・アクションリサーチ Changes in the Thoughts and Behaviors of Ward Nurses Regarding Daily Oral Care Practice : Using A Mutual Action Research
O10-4	なけうち ひさこ 竹内 久子 Hisako Takeuchi	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	看護師・保健師	訪問看護師による嚥下訓練の実態調査：経験年数別の検討 A Survey of Swallowing Training Provided by Home-Visit Nurses: An Analysis by Years of Experience
O10-5	ふくむら ひろこ 福村 弘子 Hiroko Fukumura	社会医療法人健和会 健和会病院	看護師・保健師	摂食・嚥下障害看護認定看護師への相談で治療が開始され他院入院を繰り返したが在宅嚥下治療で回復した症例 A case in which consultation with a Certified Nurse in Dysphagia Nursing, resulting in repeated hospitalizations, but recovery was achieved through home swallowing therapy
O10-6	とみた ももこ 富田 桃子 Momoko Tomita	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院	看護師・保健師	COPD 患者の術後食事支援におけるアドヒアランス向上に寄与した一症例 A Case in Which Postoperative Meal Support Improved Adherence in a Patient With COPD

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:35~10:35

O11. 看護2 Nursing 2

座長：三浦 由佳（藤田医科大学 研究推進本部 社会実装看護創成研究センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O11-1	三鬼 達人 Tatsuto Miki	藤田医科大学ばんだね病院	看護師・保健師	急性期病院における嚥下専従看護師による摂食嚥下支援の実践と効果 ―専従看護師導入前後の比較検討― Practice and Effectiveness of Dysphagia Management Led by Dedicated Nurses in an Acute Care Hospital: A Before-and-After Comparison of Dedicated Nurse Implementation
O11-2	荒井 勇輝 Yuki Arai	済生会横浜市東部病院	看護師・保健師	週替わり専従活動を行う摂食嚥下障害看護認定看護師チームの情報共有手段と経口摂取移行への取り組み Information Sharing and Approaches to Oral Intake Transition: A Report on Weekly Rotating Dedicated Activities by a Dysphagia CN Team.
O11-3	浦船 京香 Kyoka Urafune	仙台赤十字病院	看護師・保健師	専従配置による継続的かつタイムリーな介入と多職種連携により経口摂取再獲得に至った一例 A Case of Regained Oral Intake Through Continuous and Timely Intervention and Multidisciplinary Collaboration by Dedicated Assignment
O11-4	中村 由子 Yuko Nakamura	山口大学医学部附属病院	看護師・保健師	摂食嚥下外来立ち上げにおける取り組みと摂食嚥下障害看護認定看護師の役割 Initiatives in Establishing a Dysphagia Outpatient Clinic and the Role of a Certified Nurse in Dysphagia Nursing
O11-5	坂田 徳一 Tokuichi Sakata	社会医療法人財団新和会 八千代病院	看護師・保健師	認定看護師の視点で取り組んだ、とろみ自動調理サーバー 導入1年目の結果と課題 Results and challenges of the first year of implementation of an automated thickening agent, from the perspective of a certified nurse.
O11-6	岩佐 昭仁 Akihiro Iwasa	宮城県立がんセンター	看護師・保健師	認定看護師は見た！精神疾患患者の摂食嚥下障害とチームアプローチ A Certified Nurse's Perspective on Dysphagia in Patients with Mental Disorders: An Interdisciplinary Team Approach

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第4会場 Room 4

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:40～11:40

O12. 小児2 Pediatrics 2

座長：西脇 恵子（日本歯科大学附属病院 言語聴覚士室）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O12-1	かたやま たまみ 片山 珠美 Tamami Katayama	南大阪小児リハビリテーション病院	医師	食行動の発達に遅れを認めるこども達の外来診療 Outpatient care for children with delayed development of eating behavior
O12-2	なぐら みちあき 奈倉 道明 Michiaki Nagura	埼玉医科大学総合医療センター小児科	医師	急性期病院の外来における摂食困難な子どもに対する摂食支援（1）：重症心身障害でない子どもの場合 Support for Children with Feeding Difficulties in Acute Care Hospital Outpatient Settings (1): A Report on the Children Without Profound Intellectual and Motor disabilities
O12-3	なぐら みちあき 奈倉 道明 Michiaki Nagura	埼玉医科大学総合医療センター小児科	医師	急性期病院の外来における摂食困難な子どもに対する摂食支援（2）：重症心身障害の子どもの場合 Support for Children with Feeding Difficulties in Acute Care Hospital Outpatient Settings (2): A Report on the Children With Profound Intellectual and Motor disabilities
O12-4	みやさか みほ 宮阪 美穂 Miho Miyasaka	えるさば訪問看護ステーション	言語聴覚士	在宅小児の経口摂取移行を阻害する要因の検討—家庭内マンパワーと保護者の心理的背景に着目して— Investigation of Factors Inhibiting the Transition to Oral Intake in Children Receiving Home Care: Focusing on Home Manpower and Parental Psychological Background
O12-5	おのうえ ふみ 尾上 ふみ Fumi Onoue	獨協医科大学埼玉医療センター	言語聴覚士	Early Feeding Skills（EFS）を活用した新生児哺乳支援 Neonatal Feeding Support Utilizing Early Feeding Skills (EFS)
O12-6	まつし ま やすゆき 松嶋 康之 Yasuyuki Matsushima	産業医科大学医学部リハビリテーション医学	医師	体組成計による栄養評価が有用であった混合型脳性麻痺児の1例 A Case of a Child with Mixed Cerebral Palsy in Which Nutritional Assessment Using a Body Composition Analyzer Was Useful

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00～16:00

O13. 臨床研究 2 Clinical research 2

座長：小西 正訓 (社会医療法人医仁会 中村記念病院 耳鼻咽喉科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O13-1	いまい ことこ 今井 琴子 kotoko Imai	牛久愛和総合病院 歯科口腔 外科	歯科医師	嚥下内視鏡検査での喉頭蓋形態の判別の整合性と誤嚥リスクへの関連性の検討 Evaluation of the Consistency in Epiglottis Morphology Assessment via Videoendoscopic Examination of Swallowing (VE) and Its Relationship to Aspiration Risk
O13-2	しまざき えりこ 嶋崎 絵里子 Eriko Shimazaki	佐賀大学医学部 耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科学	医師	嚥下内視鏡検査における嚥下機能評価と声帯振動への影響 The influence of swallowing function assessment and vocal cord vibration during swallowing endoscopy.
O13-3	ますい だいすけ 升井 大介 Daisuke Masui	久留米大学外科学講座小児外 科部門	医師	高解像度食道内圧検査を用いた服薬補助ゼリー内服時における摂食機能・嚥下動態評価の検討 Evaluation of Feeding Function and Swallowing Dynamics During Administration of Medication Swallowing Jelly Using High-Resolution Esophageal Manometry
O13-4	ささげ けん と 捧 健人 Kento Sasage	沼田脳神経外科循環器科病院	言語聴覚士	脳梗塞患者における経口摂取能力と嚥下関連筋力の関係 ― 全身指標との比較からみた嚥下関連筋評価の有用性 ― Usefulness of Swallowing-Related Muscle Assessment Compared with Systemic Indicators for Oral Intake Ability in Patients with Cerebral Infarction
O13-5	ひめだ ゆうき 姫田 祐樹 Yuki Himeda	医療法人 恵泉会 堺平成病院	言語聴覚士	摂食嚥下障害患者における舌突出と退院時摂食レベルの関連 Association between tongue protrusion and Oral Intake Level at discharge in patients with dysphagia
O13-6	わたなべ まこと 渡邊 諒 Watanabe Makoto	イムス三芳総合病院	言語聴覚士	足底接地条件が舌圧に及ぼす影響―高齢者における検討― The Effect of Plantar Ground Contact Conditions on Tongue Pressure: A Study in Elderly Patients

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第4会場 Room 4

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:05~17:05

O14. 臨床研究3 Clinical research 3

座長：三串 伸哉（義本歯科医院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O14-1	なかえ ゆうき 中江 優貴 Yuki Nakae	社会医療法人若弘会 若草第一病院	言語聴覚士	急性期入院時絶食であった脳血管疾患患者における経口摂取能力再獲得と回りハ病棟転院後のFIM 利得の検討 Oral Intake Reacquisition in Acute Care and FIM Gain After Transfer to a Rehabilitation Ward in Stroke Patients With No Oral Intake at Stroke Onset
O14-2	よしかわ こうへい 吉川 浩平 kohei yoshikawa	広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門	言語聴覚士	挿管・人工呼吸器管理後患者に対する当院改訂嚥下プロトコルの効果：単施設後方視的コホート研究 Effect of a Revised Swallowing Protocol in Patients After Intubation and Mechanical Ventilation: A Single-Center Retrospective Cohort Study
O14-3	かわかみ りな 川上 里奈 Rina Kawakami	聖隷佐倉市民病院	言語聴覚士	血液透析患者における嚥下機能の経時的変化と関連因子の検討 A Study on Changes in Swallowing Function Over Time and Associated Factors in Hemodialysis Patients
O14-4	こいで いき 小出 偉貴 Iki Koide	日本大学歯学部付属歯科病院 摂食機能療法学講座	歯科医師	関節リウマチ患者における摂食機能変化と生活の質に関する研究 Changes in Eating Function and Their Association with Quality of Life in Patients with Rheumatoid Arthritis
O14-5	ふるだて やすじ 古舘 康司 Yasuji Furudate	長野病院 リハビリテーション課	言語聴覚士	精神科入院患者の嚥下評価と能力の乖離 Discrepancy between swallowing assessments and actual swallowing ability among psychiatric inpatients
O14-6	おおはら けいこ 大原 恵子 KEIKO OHARA	yume ヘッドセラピスト協会	その他	美容領域における頭部・耳介アプローチが嚥下機能に与える影響の検討 Study on the Effects of Head and Auricular Approaches in the Field of Beauty on Swallowing Function

9月12日(土) September 12(Sat) 17:10~18:00

O15. 高齢者 1 Older adults 1

座長：市村 久美子 (茨城県立医療大学保健医療学部)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O15-1	いまだ りょうこ 今田 良子 Ryoko Imada	日本大学歯学部感染症免疫学講座	歯科医師	要介護高齢者における口腔健康状態と気道防御機能との関連 — 咳反射感受性に着目した検討 — Association Between Oral Health Status and Airway Defense Function in Care-Dependent Older Adults: A Focus on Cough Reflex Sensitivity
O15-2	おももり ふみたか 大森 史隆 Fumitaka Omori	福岡国際医療福祉大学 言語聴覚学科	言語聴覚士	介護施設から入院した高齢患者における嚥下造影検査所見と退院時経口摂取能力の関連 Association between Videofluoroscopic Swallowing Study Findings and Oral Intake Ability at Discharge in Older Patients Admitted from Long-Term Care Facilities
O15-3	おおむら ちほ 大村 千穂 Chiho Omura	医療法人社団誠弘会 池袋病院	言語聴覚士	当院における高齢内科系疾患患者の退院時嚥下障害に関連する評価項目の検討 A study of assessment tools related to dysphagia at discharge among elderly patients with internal medicine conditions at our hospital
O15-4	みちがみ ちか 道上 智佳 Chika Michigami	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院 看護部	看護師・保健師	超高齢入院患者の退院時食形態と退院先の関連 Association Between Discharge Diet Texture and Discharge Destination in Super-Elderly Hospitalized Patients
O15-5	ふでたに こうじ 筆谷 浩司 Koji Fudetani	千木病院	言語聴覚士	虚弱高齢者に対する予防的摂食嚥下リハビリテーションの重要性 The importance of preventive swallowing rehabilitation for frail older adults

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第5会場 Room 5

9月12日(土) September 12 (Sat) 8:30~9:30

O16. 栄養 1 Nutrition 1

座長：江崎 貞治（総合大雄会病院リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O16-1	しみず あゆみ 清水 歩美 Ayumi Shimizu	市立八幡浜総合病院	言語聴覚士	地域における嚥下調整食分類の運用実態と課題 —多施設アンケート調査からみた地域連携の現状— Current Status and Challenges in the Use of Dysphagia Diet Classification in the Community: A Multicenter Questionnaire Survey Focusing on Regional Collaboration
O16-2	あらはり ともな 荒堀 友那 Tomona ARAHORI	相模女子大学	学生・大学院生	インクルーシブフード実践に向けた摂食嚥下障害児保護者が選択する市販スイーツの検討 Toward the Implementation of Inclusive Food: An Examination of Commercially Available Sweets Selected by Caregivers of Children with Dysphagia
O16-3	なこ あきこ 名古 亜貴子 Akiko Nako	介護老人保健施設ハートケア 湘南・芦名	管理栄養士	「つばめのごはんや」における UDF の活用について～誰もが食べやすい食事環境づくり～ The Application of UDF at “Tsubame no gohanya” Establishing an Inclusive Dining Environment Accessible to All
O16-4	なかお まり 中尾 真理 Mari Nakao-Kato	名古屋市立大学院医学研究科 リハビリテーション医学分野	医師	高齢者に優しい「やわらか笹かまぼこ」の開発 Development of a soft fishcake diet for the elderly.
O16-5				演題取り下げ
O16-6	せんだ なおゆき 仙田 直之 Naoyuki Senda	総合病院松江生協病院	医師	松江市内の旅館と連携した摂食嚥下障害のバリアフリー導入の取り組み Initiatives to introduce accessible and inclusive services for people with dysphagia in collaboration with inns in Matsue City.

9月12日(土) September 12 (Sat) 9：35～10：35

O17. 評価1 Evaluation 1

座長：大熊 るり（調布東山病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O17-1	いわた たかし 岩田 隆 Takashi Iwata	昭和医科大学 歯学部	学生・大学 院生	高齢者施設入居者に対する食形態決定のための 簡易スクリーニング指標の開発 Development of a Simple Screening Index to Guide Texture-Modified Diet Recommendation in Long- Term Care Facilities
O17-2	なかはし こうへい 高橋 浩平 Kohei Takahashi	大阪赤十字病院	言語聴覚士	摂食嚥下評価ツール「嚥下チェッカー」におけ る評価項目の妥当性について On the validity of assessment items in the “Swallowing Checker” dysphagia assessment tool
O17-3	むらた かずと 村田 和人 Kazuto Murata	国家公務員共済組合連合会 三宿病院 リハビリテーショ ン科	言語聴覚士	誤嚥性肺炎患者に対する看護師主導スクリーニ ング評価の効果 Effect of a Nurse-Led Swallowing Screening Protocol in Patients with Aspiration Pneumonia
O17-4	よしだ なおき 吉田 直樹 Naoki Yoshida	千葉愛友会記念病院	言語聴覚士	入院初回食評価導入時の評価除外基準の検討 質問紙による嚥下・認知機能のスクリーニング Assessment of exclusion criteria for initial inpatient meal evaluation: questionnaire-based screening for swallowing and cognitive function.
O17-5	ささき たかし 佐々木 崇 Takashi Sasaki	医療法人 松徳会 花の丘病院	看護師・保 健師	「FOIS（嚥下特異的経口摂取尺度）を用いた嚥 下機能評価患者の臨床的特徴と予後の検討」 Clinical Characteristics and Prognostic Analysis of Patients Undergoing Videofluoroscopic Swallowing Study using the Functional Oral Intake Scale (FOIS)
O17-6	かわもと かつゆき 河本 勝之 Katsuyuki Kawamoto	淡海ふれあい病院 摂食嚥下 センター	医師	摂食嚥下機能評価の新規スコアの検討ー地域包 括病棟患者を対象に Modified Scoring System for Eating and Swallowing Function: Integration of Original Parameters for Patients in a Community-Based Care Ward

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第5会場 Room 5

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:40～11:40

O18. 評価2 Evaluation 2

座長：飯泉 智子（北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O18-1	関 麻生 Mao Seki	佐野厚生総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	下腿周囲長の介入時値および週次変化率を用いた急性期入院患者の院内死亡と経口摂取自立の予測モデル Predicting In-hospital Mortality and Oral Intake Independence in Acute-care Inpatients Using Baseline Calf Circumference and its Weekly Change Rate
O18-2	神崎 憲雄 Norio Kanzaki	公益財団法人ときわ会 磐城中央病院 外科	医師	嚥下造影検査の簡易的定量評価からみた摂食機能予後予測と生命予後予測の検討 Examination of dysphagia function and life prognostic factors for patients of dysphagia based on videofluoroscopic examination of swallowing
O18-3	泉谷 聡子 Satoko Izumitani	聖路加国際病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	廃用症候群による重度嚥下障害患者の経口摂取移行率と経口摂取回復に関わる因子の検討 A Study on the Recovery Rate, and its Associated Factors, of Oral Intake in Patients with Severe Dysphagia Due to Disuse Syndrome
O18-4	西口 翔 Sho Nishiguchi	湘南鎌倉総合病院総合内科	医師	急性疾患後摂食嚥下障害による経口摂取困難患者の一年後予後 One-year follow-up of patients with dysphagia following acute illness experiencing difficulty in oral intake
O18-5	北中 雄二 Yuji Kitanaka	徳島県鳴門病院リハビリテーション技術科	言語聴覚士	高流量鼻カニュラ（HFNC）患者の予後関連因子と摂食機能の検討—言語聴覚士介入の臨床的役割— Prognostic Factors and Eating and Swallowing Function in Patients Treated with High-Flow Nasal Cannula (HFNC): The Role of Speech-Language Pathologist Intervention
O18-6	小西 正訓 Masanori Konishi	中村記念病院耳鼻咽喉科	医師	摂食・嚥下機能の予後改善を妨げる因子の検討 An Investigation of Factors That Impede the Improvement of Prognosis for Feeding and Swallowing Function

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00~16:00

O19. 栄養2 Nutrition 2

座長：岩佐 康行（原土井病院歯科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O19-1	きのした じゅんこ 木下 純子 junko kinoshita	医療法人再生会くまもと心療 病院	管理栄養士	粥ゼリーを用いた加水ゼロ式調理法導入による 喫食率と栄養価の影響
O19-2	みやした ちひろ 宮下 十紘 Chihiro Miyashita	大阪発達総合療育センター	看護師・保 健師	当センターにおける『まとまりマッシュ食』完 成までの過程 The process up to completion "Cohesive Mash Food" at our center
O19-3	とうま のりあき 藤間 紀明 Noriaki Toma	新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴 覚科	言語聴覚士	温かい番茶におけるトロミ粘度の経時変化と提 供管理の検討 Study on Time-Dependent Changes in the Viscosity and Serving Management of Thickened Warm Bancha
O19-4	さいとう ななほ 齊藤 七帆 Nanaho Saito	昭和医科大学江東豊洲病院 栄養科	管理栄養士	マクロゴール 4000・塩化ナトリウム・炭酸水素 ナトリウム・塩化カリウム散の嚥下障害患者へ の使用の検討 Study on the use of macrogol 4000, sodium chloride, sodium bicarbonate, and potassium chloride powder in patients with dysphagia.
O19-5	よこやま あきこ 横山 明子 Akiko Yokoyama	NTT 東日本関東病院	看護師・保 健師	嚥下障害患者における「冷たい飲料」の新戦略： とろみ付き液体水の融解挙動と粘度変化の検討 Melting characteristics and rheological properties of thickened beverage ice: a potential approach to providing cold beverages for patients with swallowing dysfunction
O19-6	やました こうじ 山下 晃司 Koji Yamashita	県立広島大学大学院総合学術 研究科人間文化学専攻	言語聴覚士	手元調整によるかたさの区分変化と嚥下障害者 への食事選択肢拡大の可能性 Changes in Hardness Classification Caused by Point-of-Service Modification and the Potential for Expanding Food Options for Individuals with Dysphagia

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第5会場 Room 5

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:05～16:55

O20. オーラルフレイル Oral frailty

座長：中島 純子（東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O20-1	けやき あつし 櫻 篤 Atsushi Keyaki	高槻病院 リハビリテーション センター	医師	認知症外来受診者における口腔機能低下症と身体機能、摂食嚥下機能の関係 The Relationship between Oral Hypofunction, Physical and Swallowing Function in Outpatients with Dementia
O20-2	まちしま きみえ 町島 希美絵 Kimie Machishima	日本赤十字九州国際看護大学	大学・専門学 校等教員	地域在住の高齢者におけるオーラルフレイル・摂食嚥下障害リスクに影響する要因の検討 Factors Associated with the Risk of Oral Frailty and Dysphagia in Community-Dwelling Older Adults
O20-3	よどがわ ちほ 淀川 千穂 chiho yodogawa	九州大学病院	看護師・保 健師	病院看護師のオーラルフレイルと全身フレイルの認知度および歯科・耳鼻科照会の実態 A Survey on Hospital Nurses' Awareness of Oral Frailty and General Frailty, and Their Referral Practices to Dental or Otolaryngology Departments
O20-4	や の さとこ 矢野 聡子 Satoko Yano	茨城県立医療大学 看護学科	看護師・保 健師	地域在住後期高齢者へのオーラルフレイル予防事業の継続的取り組み：予防教室実施効果と学習プログラム評価 Ongoing efforts in oral frailty prevention programs for elderly residents in the community: Evaluation of the effectiveness of prevention classes and learning programs.
O20-5	すずき えみ 鈴木 絵美 Emi Suzuki	つばめのごはんや	言語聴覚士	地域高齢者を対象としたオーラルフレイル予防活動の実践報告—地域とつながる言語聴覚士の役割— Practical Report on Oral Frailty Prevention Activities for Community-Dwelling Older Adults -The Role of Speech-Language Pathologists in Community Engagement-

9月12日(土) September 12 (Sat) 8:30~9:40

O21. 終末期2 End-of-Life Care 2

座長：和田 恵美子（近森リハビリテーション病院リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O21-1	ほんじよ ひろき 本所 寛貴 Hiroki Honjo	狭山神経内科病院	言語聴覚士	喉頭気管分離術後の筋萎縮性側索硬化症患者の 摂食・嚥下の症例報告 Case studies of dysphagia rehabilitation for Amyotrophic Lateral Sclerosis after the operation of the laryngotracheal separation
O21-2	しゅうり めぐみ 修理 恵実 Megumi Shuri	明理会東京大和病院	言語聴覚士	最期まで経口摂取に寄り添うことで、神経難病 終末期患者の QOL が向上し、家族の満足感が 得られた一例 Supporting oral intake until the end improved quality of life in a patient with end-stage neurological disease and enhanced family satisfaction.
O21-3				演題取り下げ
O21-4	ふるない あいみ 古内 愛実 Aimi Furunai	青森慈恵会病院 管理栄養科	管理栄養士	「食べたい」を最期まで支える—終末期癌患者に 対する管理栄養士の関わり Supporting the hope to Eat Until the End – The Role of Dietitians in Caring for Terminal stage
O21-5	いとう きよ 伊藤 清世 Kiyo Ito	医療法人社団静実会 ないと うクリニック	管理栄養士	在宅での終末期に「食べる」と「食べない」の 両者をサポートした一症例 A case study of supporting both "eating" and "not eating" during end-of-life care at home.
O21-6	いながき まい 稲垣 真衣 Mai Inagaki	袋井市立聖隷袋井市民病院	言語聴覚士	検査食では評価困難であった終末期嚥下障害患 者の一例に対する経口摂取支援 Oral Intake Support in a Patient with End-Stage Dysphagia in Whom Assessment Using Test Diets Was Difficult: A Case Report
O21-7	みづたに ともみ 水谷 智美 Tomomi Mizutani	医療法人博報会 岡崎東病院	言語聴覚士	介護医療院入所中の終末期入所者の「お酒が飲 みたい」という希望を叶えることができた一例 A case in which the wish of a terminally ill resident admitted to an Integrated Facility for Medical and Long-Term Care to drink alcohol was fulfilled.

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12(Sat) 第7会場 Room 7

9月12日(土) September 12(Sat) 9:45~10:45

O22. 口腔ケア 2 Oral care 2

座長：柴田 由美（昭和大学歯科病院 歯科衛生室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O22-1	飯田 友則 Tomonori Iida	船橋市立医療センター	看護師・保健師	呼吸器内科病棟看護師のOJTによる口腔ケア技術習得に関する効果の検討 Examination of the effectiveness of oral care skills acquisition through on-the-job training for respiratory medicine ward nurses
O22-2	酒井 沙藍 Sarara Sakai	藤田医科大学病院	看護師・保健師	開口障害のある患者に対する看護師の口腔ケアの現状と困難の実態調査—横断的記述研究— A Survey on the Nurses' Actual Difficulties of Oral Care for Patients with Trismus :A Cross-Sectional Descriptive Study
O22-3	鈴木 信徳 Shiho Suzuki	医療法人碧水会 汐ヶ崎病院	看護師・保健師	精神科病棟における認知症患者へのOHAT-J導入が看護職の認識および口腔ケア実践に与える影響 Impact of Introducing the OHAT-J on Nurses' Awareness and Oral Care Practices for Patients with Dementia in a Psychiatric Ward
O22-4	船水 良太 Ryota Funamizu	札幌医科大学附属病院 看護部	看護師・保健師	救急搬送後にEICUへ入室となった患者の入室時口腔内環境の実態 Oral health status at Emergency Intensive Care Unit admission among patients after emergency transport
O22-5	岡島 衣梨 Eri Okajima	大阪大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	言語聴覚士	抜管後の嚥下障害患者の口腔環境が嚥下機能に及ぼす影響についての検討 Study on the Impact of Oral Environment on Swallowing Function in Patients with Post-Intubation Dysphagia
O22-6	山本 圭一 Keiichi Yamamoto	岡崎市民病院 歯科口腔外科	歯科医師	周術期口腔機能管理は術後入院期間の短縮に寄与する Perioperative oral function management contributes to shorter postoperative hospital stays

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:50～11:40

O23. 臨床倫理・コーチング Clinical Ethics/Coaching

座長：小池 知治（医療法人三九会 三九朗病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O23-1	い だ あゆり 井田 歩里 Ayuri Ida	社会医療法人生長会ベルビア ノ病院	言語聴覚士	嚥下の臨床現場における言語聴覚士が考えた倫理的ジレンマ Ethische Dilemmata aus Sicht von Logopäden in der klinischen Praxis der Schlucktherapie
O23-2	かねおか たけみ 兼岡 丈巳 Takemi Kaneoka	板橋宮本病院	看護師・保健師	終末期患者の経口摂取希望を叶えることができた代替的アプローチケアの倫理妥当性の検討 — Fulfilling an End-of-Life Patient's Wish for Oral Intake through Alternative Approaches: Ethical Considerations of Nursing Care
O23-3	はすみ えみこ 保住 恵美子 EMIKO HOSUMI	東北医科薬科大学若林病院 看護部	看護師・保健師	意思決定困難で家族支援を得られなかった神経難病患者への SDM を実践した事例 A case of implementing shared decision-making for a patient with neurodegenerative disease who had difficulty making decisions and lacked family support.
O23-4	きもと ちはる 木本 ちはる Chiharu Kimoto	白杵市医師会立コスモス病院	看護師・保健師	嚥下障害を伴う食道がん術後の干渉波刺激の試み ～嚥下外来でコーチングを取り入れて～ Use of Interferential Current Stimulation for Postoperative Dysphagia After Esophageal Cancer Surgery: Incorporating Coaching into an Outpatient Dysphagia Clinic
O23-5	もり やすゆき 森 康行 Yasuyuki Mori	訪問看護ステーションコネクト	言語聴覚士	歯肉痛切除術後症例に対する在宅「食思援」の一例 ～ティーチングとコーチングを用いた摂食咀嚼嚥下支援～ A Home-Based "Shokushien" Approach in a Postoperative Gingival Cancer Patient: Swallowing Support Using Teaching and Coaching

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第7会場 Room 7

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:15～17:15

O24. 栄養 3 Nutrition 3

座長：浅田 美江（公益社団法人愛知県看護協会 愛知県ナースセンター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O24-1	あひこ みずき 阿彦 瑞紀 Mizuki Ahiko	日本海総合病院	管理栄養士	当院における緩和ケア食を提供した症例の検討 A review of cases in which palliative care meals were provided at our hospital.
O24-2	ひらはた のりこ 平畑 典子 NORIKO HIRAHATA	九十九記念病院	看護師・保健師	嚥下障害患者の栄養手段決定におけるOOVL(意思決定支援ツール)の活用 Utilization of OOVL (Decision-Making Support Tool) in determining nutritional options for patients with dysphagia
O24-3	ひないけ たえこ 平池 妙子 Taeko Hiraike	大分三愛メディカルセンター 栄養管理課	管理栄養士	胃切除後の残胃に対し経腸栄養剤と粘度調整食品(REF-P1)を併用し排出障害をきたした一例 A case of gastric emptying disturbance caused by enteral nutrition and a viscosity modifier (REF-P1) in the remnant stomach
O24-4	せきともや 関 智也 TOMOYA SEKI	一般社団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院	管理栄養士	回復期嚥下障害患者におけるリハ実施量を考慮した可変型経管栄養管理により経口摂取獲得に至った一症例 A Case Report of Successful Oral Intake Through Consistency-Modifiable Enteral Nutrition Adjusted for Rehabilitation Volume in a Convalescent Patient with Dysphagia
O24-5	さいとう まゆ 齋藤 真由 Mayu Saito	東京都立荏原病院 歯科口腔外科	歯科医師	90歳以上超高齢入院患者における生活圏退院が可能となる関連因子および栄養充足率の指標 Nutritional Intake Levels and Associated Factors for Community Discharge in Hospitalized Patients Aged 90 Years and Older
O24-6	しげまさ みつあき 重政 光彰 Mitsuaki Shigemasa	庄原赤十字病院 栄養課	管理栄養士	高齢誤嚥性肺炎の第3～7病日栄養摂取量と退院時嚥下機能低下の関連：後方視的コホート研究 Day 3-7 nutritional intake and swallowing decline at discharge in older aspiration pneumonia patients: a retrospective cohort study

9月12日(土) September 12 (Sat) 8:30~9:40

O25. 神経筋疾患 1 Neuromuscular disease 1

座長：黒住 千春（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部作業療法学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O25-1	いいた ゆき 飯田 有紀 Yuki Iida	北海道脳神経内科病院	医師	神経筋疾患患者における嚥下外食道入口部開大所見についての報告 Report on findings of irregular esophageal opening outside of swallowing in patients with neuromuscular diseases.
O25-2	うえおか みわ 上岡 美和 Miwa Ueoka	神戸大学医学部附属病院	看護師・保健師	神経筋疾患と脳血管疾患における嚥下スクリーニング特性の比較検討 A Comparative Study of Swallowing Screening Characteristics in Neuromuscular and Cerebrovascular Disorders
O25-3	あおやま まりな 青山 麻梨奈 Marina Aoyama	藤田医科大学岡崎医療センター リハビリテーション部	言語聴覚士	パーキンソン病患者において嚥下機能検査まで適切な食形態の選択が困難だった要因 Factors preventing the selection of appropriate meals prior to swallowing function examination for patients with Parkinson's disease
O25-4	おかだ やすひろ 岡田 泰宏 Yasuhiro Okada	横浜なみきリハビリテーション病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	食道期障害による誤嚥性肺炎の発症リスクが高い進行期パーキンソン病の2例 Two cases of advanced Parkinson's disease with a high risk of developing aspiration pneumonia due to esophageal dysfunction
O25-5	まさきよ りほ 政清 莉穂 Riho Masakiyo	愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	言語聴覚士	嚥下障害および構音障害を初発症状とした咽頭頸部上腕型ギラン・バレー症候群の2例 Two cases of Pharyngeal-Cervical-Brachial Variant of Guillain-Barré syndrome presenting with dysphagia and dysarthria as the initial symptoms
O25-6	あらどの きよみ 荒殿 清美 Kiyomi Aradono	熊本託麻台リハビリテーション病院	言語聴覚士	重度嚥下障害が3年にわたり改善し常食摂取に至ったギラン・バレー症候群の一例 Severe Dysphagia in Guillain-Barré Syndrome Improved Over Three Years, Enabling a Return to a Regular Diet: A Case Report
O25-7	さかもと まゆか 坂本 方由香 Mayuka Sakamoto	医療法人協和会 協和会病院	言語聴覚士	ギラン・バレー症候群により重度球麻痺嚥下障害を呈した患者が経口摂取を再獲得するまでの経過 Clinical course of recovery of oral intake in a patient with Guillain-Barré syndrome presenting with severe bulbar palsy and dysphagia.

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:45~10:45

O26. 神経筋疾患 2 Neuromuscular disease 2

座長：小口 和代 (刈谷豊田総合病院リハビリテーション科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O26-1	うえの やすふみ 上野 靖史 Yasufumi Ueno	長岡赤十字病院 リハビリテーション科部	言語聴覚士	嗄声と嚥下障害を呈した抗 TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の一症例 A case of anti-TIF1- γ antibody-positive dermatomyositis presenting with hoarseness and dysphagia
O26-2	さかた えり 坂田 恵利 Eri Sakata	熊本赤十字病院	言語聴覚士	抗 Ro-52 抗体陽性皮膚筋炎に伴う嚥下障害への変化に応じたリハビリテーション Rehabilitation Adjusted to Changes in Dysphagia Associated with Anti-Ro-52 Antibody-Positive Dermatomyositis
O26-3	こんどう ひなこ 近藤 日向子 Hinako Kondo	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	言語聴覚士	多発性筋炎により重度嚥下障害を呈した1例 A Case of Severe Dysphagia Associated with Polymyositis
O26-4	きむら あずさ 木村 梓 Azusa Kimura	一般財団法人 筑波龍仁会 筑波学園病院	看護師・保健師	パーキンソン病患者の自己摂食に向けた一口量の調整と嚥下法 ～「食べる楽しみ」を継続するために～ Swallowing Technique and Bite Size Regulation to Support Self-Feeding in Patients with Parkinson's Disease -Enabling Nurses to Sustain Patients' Enjoyment of Eating-
O26-5	てらさわ みなこ 寺澤 三奈子 minako terasawa	医療法人三星会 かわさき記念病院	管理栄養士	パーキンソン病を伴う認知症患者の急激な嚥下障害へ、関節リウマチ増悪の関与が示唆された一例 A Case Suggesting the Involvement of Rheumatoid Arthritis Exacerbation in Rapidly Progressive Dysphagia in a Patient with Dementia Associated with Parkinson's Disease
O26-6	やまおか まこ 山岡 真子 Mako Yamaoka	諏訪赤十字病院	医師	舌骨軟骨肉腫術後に嚥下障害が増悪した脊髄小脳失調症 31 型の一例 A case of spinocerebellar ataxia type 31 with dysphagia following surgery for chondrosarcoma of the hyoid bone

9月12日（土）September 12 (Sat) 10：50～11：40

O27. 医工連携 Medical-Engineering collaboration

座長：太田 喜久夫（藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O27-1	かわむら じん 河村 迅 Jin Kawamura	広島市立北部医療センター安 佐市民病院 リハビリテーショ ン科	言語聴覚士	RPA と生成 AI を組み合わせた退院サマリーの 作成 Discharge Summary Generation Using Robotic Process Automation and Generative AI
O27-2	ふくしま たいき 福島 大喜 taiki fukushima	株式会社 UBeing	医師	胃瘻増設済みの筋萎縮性側索硬化症に電気刺激 デバイスを利用し食事の補助を試みた一例 A Case Study of Assistive Feeding with an Electrical Stimulation Device in a Patient with Amyotrophic Lateral Sclerosis
O27-3	やまだ あいか 山田 愛花 Aika Yamada	東京電機大学	学生・大学 院生	VF と体表面情報を統合させた嚥下・誤嚥メカ ニズム解明に関する基礎的研究 Basic research on swallowing and aspiration analysis integrating VF and body surface information
O27-4	おおの ともひさ 大野 友久 Tomohisa Ohno	陵北病院	歯科医師	摂食嚥下障害者における頸部装着型電子嚥下聴 診器を用いた嚥下クリアランス時間の予備的 研究 A preliminary study of pharyngeal clearance time in patients with dysphagia using a neck-worn electronic stethoscope
O27-5				演題取り下げ

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00~16:00

O28. 電気・磁気刺激 Electrical/magnetic stimulation

座長: 瀬田 拓 (ないとうクリニック)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O28-1	川路 勇太 Yuta Kawaji	鹿児島大学病院	言語聴覚士	舌骨上筋群の神経筋電気刺激が嚥下反射惹起に有用と考えられた延髄外側症候群の一症例 A case of lateral medullary syndrome in which neuromuscular electrical stimulation of the suprahyoid muscles was considered useful in inducing the swallowing reflex
O28-2	宇都 恒平 Kohei Uto	産業医科大学若松病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	神経筋電気刺激の導入により直接嚥下訓練が可能となった食道癌術後患者の一例 Neuromuscular Electrical Stimulation Enabled Initiation of Oral Intake in a Postoperative Esophageal Cancer Patient: A Case Report
O28-3	百瀬 将晃 Masaaki Momose	諏訪赤十字病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	干渉波刺激の訓練導入により、嚥下反射が出現した重症 Guillain-Barre 症候群の一例 A case of Guillain-Barre syndrome in which the swallowing reflex appeared after the introduction of interferential current stimulation therapy.
O28-4	山崎 敦 ATSUSHI YAMAZAKI	日本医科大学付属病院	言語聴覚士	反復末梢磁気刺激を導入し嚥下障害が改善した免疫介在性壊死性ミオパチーの一例 A Case of Immune-Mediated Necrotizing Myopathy with Dysphagia Treated with Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation
O28-5	櫻庭 優 Suguru Sakuraba	黒石病院リハビリテーション科	言語聴覚士	消化器術後の誤嚥性肺炎例に対する舌骨上筋群への反復末梢磁気刺激療法経験 A case of repetitive peripheral magnetic stimulation therapy of the suprahyoid muscles to aspiration pneumonia after gastrointestinal surgery.
O28-6	大橋 美穂 Miho Ohashi	日本医科大学付属病院	言語聴覚士	免疫チェックポイント阻害薬関連筋炎による重度嚥下障害の経過-反復末梢磁気刺激を用いて改善した一例- Severe Dysphagia Associated with Immune Checkpoint Inhibitor-Related Myositis: A Case of Improvement Using Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:05~17:05

O29. 多職種連携 1 Transdisciplinary collaboration 1

座長：三鬼 達人（藤田医科大学ばんなね病院 看護部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O29-1	あさかわ みいこ 浅川 美子 ASAKAWA EIKO	小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック	歯科衛生士	在宅療養支援診療所に所属する歯科衛生士の働き方—医科歯科連携とチームアプローチの強化を目指して— Work Style of Dental Hygienists in Home Care Support Clinics: Aiming to Strengthen Medical-Dental Collaboration and Team-Based Approaches
O29-2	きむ よんじん 金 娟 廷 Yun- Kim Kim	ケアフーズ科学技術研究所	その他	韓国における地域在住高齢者の嚥下障害支援に関する多機関連携モデルの実践 Implementation of a Multi-Sector Collaborative Model for Dysphagia Support in Community-Dwelling Older Adults in Korea
O29-3	こじま ゆうこ 小嶋 優子 Yuko Kojima	京都府言語聴覚士会 摂食嚥下障害委員会	言語聴覚士	京都府内の介護施設における退院時の摂食嚥下関連情報提供に関する実態調査 A Survey of Dysphagia-Related Information Provided at Hospital Discharge to Long-Term Care Facilities in Kyoto Prefecture
O29-4	しもだ しづか 下田 静 Shizuka Shimoda	医療法人社団桜会 熱海ちとせ病院 栄養科	管理栄養士	地域で目指す災害時にも継続した摂食嚥下対応について Regarding the goal of providing continuous support for eating and swallowing during disasters in the community
O29-5	やまもと みわ 山本 美和 Miwa Yamamoto	旭ろうさい病院	言語聴覚士	2024 年能登半島地震における避難所食支援の実態と多職種連携の課題 The reality of food support at evacuation centers during the 2024 Noto Peninsula Earthquake and the challenges of multidisciplinary collaboration.
O29-6	しもで ゆうぞう 下出 祐造 Yuzo Shimode	公立穴水総合病院 耳鼻咽喉科	医師	令和 6 年能登半島地震における災害時の医療と嚥下障害者への対応—餅異物窒息予防活動を中心に— Medical care and support for individuals with dysphagia during the 2024 Noto Peninsula Earthquake: Focusing on activities to prevent choking on mochi (rice cakes)

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第8会場 Room 8

9月12日(土) September 12 (Sat) 17:10～18:00

O30. 多職種連携 2 Transdisciplinary collaboration 2

座長：小山 珠美 (NPO 法人口から食べる幸せを守る会)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O30-1	せお のぶや 瀬尾 暢哉 Nobuya Seo	聖隷淡路病院	言語聴覚士	当院における摂食嚥下リハビリテーションの現状 Current status of dysphagia rehabilitation at our hospital
O30-2	たに りょう 谷 領 Ryo Tani	定山溪病院	言語聴覚士	当院における訪問嚥下診療の導入と実践 ～1年間の実績分析および事例報告からみた今後の支援体制の検討～ Introduction and Implementation of Home-Based Swallowing Assistance Therapy at Our Hospital
O30-3	こい で ようこ 小井手 蓉湖 Yoko Koide	グリーンヒル幸寿園	言語聴覚士	経口維持加算における KT バランスチャートを用いた多職種介入の実践 Practice of Multidisciplinary Intervention Using KT Balance Chart in Oral Maintenance Addition
O30-4	かない しゅんすけ 金井 俊 輔 Shunsuke Kanai	医療法人社団田貫会 高瀬記念病院	言語聴覚士	療養病棟での摂食嚥下回診における VE 介入症例の検討 -3 年目の現状報告- Review of VE intervention cases during feeding and swallowing rounds in a long-term care ward - Current status report after 3 years -
O30-5	こやま あやほ 小山 絢帆 Ayaho Koyama	佐野厚生総合病院 臨床研修センター	医師	耳鼻科で VE を施行する症例の特徴 — ST 単独・看護師単独・嚥下チーム 3 群の臨床像比較 — Clinical features of patients referred for ENT-led endoscopic swallowing evaluation: a comparison of speech-therapist-only, nurse-only, and dysphagia team groups

9月12日(土) September 12 (Sat) 8:30~9:40

O31. 小児3 Pediatrics 3

座長：大岡 貴史（明海大学 歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O31-1	あさくら りょう 朝倉 諒 Ryo Asakura	浜松医科大学医学部附属病院	言語聴覚士	摂食嚥下訓練によって経口摂取量が増加した超低出生体重児の一例 A Case of an Extremely Low Birth Weight Infant Whose Oral Intake Increased Following Feeding and Swallowing Therapy
O31-2	のぞみ のぞみ 峯松 希 NOZOMI MINEMATSU	兵庫県立尼崎総合医療センター	言語聴覚士	外傷性小児脊髄損傷により嚥下障害を呈した患者に対して PICU 在室中から介入を行った一例 A case of a pediatric patient with traumatic spinal cord injury who developed dysphagia, in whom intervention was initiated during their stay in the PICU
O31-3	いちみや ゆうこ 一宮 優子 Yuko Ichimiya	福岡歯科大学 総合医学講座 小児科学分野	医師	多職種で摂食・嚥下支援を行った Worster-Drought 症候群の一例 A case of Worster-Drought syndrome treated with multidisciplinary support for feeding and swallowing.
O31-4	おおはし ゆうき 大橋 由基 Yuki Ohashi	洛和会訪問看護ステーション 音羽	看護師・保健師	Angelman Syndrome 児に対する訪問看護を通した摂食嚥下リハビリテーション事例 A case of dysphagia rehabilitation through home health care nursing for a child with Angelman Syndrome
O31-5	たかはし りみこ 高橋 理美子 Rimiko Takahashi	横浜国立大学附属市民総合医療センター	言語聴覚士	抗 NMDA 受容体脳炎小児例における口腔過敏を主因とした摂食困難に対する段階的介入の一例 Stepwise Intervention for Feeding Difficulties Due to Oral Hypersensitivity in a Child with Anti-NMDA Receptor Encephalitis: A Case Report
O31-6	たいら けんきちろう 平 憲吉郎 KENKICHIRO TAIRA	鳥取大学耳鼻咽喉頭頸部外科	医師	誤嚥防止術後の内視鏡検査で気管軟化症を診断した重症心身障害児の1例 A case of tracheomalacia in a child with severe motor and intellectual disabilities by endoscopic examination after laryngeal closure surgery for aspiration prevention
O31-7	なかじま かおり 中島 香織 Kaori Nakajima	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部	言語聴覚士	MRSA 壊死性肺炎に対する両肺移植後に重複障害を併発しリハビリテーション実施に難渋した小児患者の経験 A Complex Case of Rehabilitation Following Bilateral Lung Transplantation for MRSA Necrotizing Pneumonia in a Child with Multiple Impairments

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第9会場 Room 9

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:45~10:45

O32. 症例報告 1 Case report 1

座長：池野 雅裕（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O32-1	むらご えみ 村合 絵美 Emi Murago	介護老人保健施設 アンジェロ	管理栄養士	再アセスメントによりセルフモニタリングの問題と捉え直した脳卒中後利用者の食事支援 Meal Support for a Post-Stroke Resident Reframed Through Reassessment of Self-Monitoring Issues
O32-2	はしもと よしみ 橋本 由美 yoshimi hashimoto	医療法人社団 常仁会 牛久愛 和総合病院 看護部	看護師・保健師	左視床出血患者への他職種連携による継続支援 ~多種刺激訓練が覚醒保持および嚥下機能に与えた影響~ Interprofessional Collaboration for Left Thalamic Hemorrhage~Impact of Multi-sensory Stimulation on Arousal and Swallowing~
O32-3	いのうえ こうた 井上 滉太 Kota Inoue	リハビリテーション天草病院	作業療法士	回復期における補食と活動調整による多職種介入:体組成に着目した ABA デザインによる単一症例検討 Multidisciplinary intervention via supplementation and activity adjustment: An ABA design single-case study on body composition in convalescent rehab
O32-4	いむら ひさこ 居村 久子 hisako imura	公立学校共済組合 北陸中央 病院	管理栄養士	食事形態と食環境調整、多職種介入により経口摂取改善を得た一例 A case in which improvements in oral intake were obtained through meal form and eating environment adjustments and multidisciplinary interventions
O32-5	おがわ ようすけ 小川 洋介 Yosuke Ogawa	小金井リハビリテーション病院 リハビリテーション科	理学療法士	身体機能の改善を認めず座位姿勢への介入により経鼻経管栄養から経口摂取を獲得した一症例 A Case in Which a Patient Achieved Oral Intake After Intervention in Sitting Posture, Despite No Improvement In Physical Function
O32-6	しのづか きりか 篠塚 希莉香 Kirika Shinozuka	医療法人社団 KNI 北原国際 病院	言語聴覚士	Borg RPE スケールを導入し多職種連携にて経口摂取再開と気管カニューレ抜去を目指した1症例 A Case Study: Introduction of the Borg RPE Scale and Multidisciplinary Collaboration to Restore Oral Intake and Remove the Tracheostomy Tube

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:50~11:40

O33. 症例報告2 Case report 2

座長：阿志賀 大和（国際医療福祉大学 成田保健医療学部言語聴覚学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O33-1	ふるもと ひろみ 古本 尋海 Hiromi Furumoto	医療法人社団健育会 ねりま健育会病院	看護師・保健師	攻めのリハ医療により気管切開・重度嚥下機能障害を有する症例が経管栄養完全離脱に至った劇的な改善一例 A Dramatic Case of Complete Weaning from Enteral Nutrition in a Patient with Tracheostomy and Severe Dysphagia through Aggressive Rehabilitation Medicine
O33-2	おがわ みく 小川 実久 Miku Ogawa	社会医療法人ベルビアノ病院	言語聴覚士	回復期病棟にて“おいしさ”を考慮した嚥下訓練を実施し3食経口自己摂取に繋がった症例 A case in which swallowing exercises designed to enhance “palatability” led to the patient being able to independently consume all three meals orally
O33-3	かたおか れいこ 片岡 麗子 Reiko Kataoka	地方独立行政法人知多半島総合医療機構 知多半島りんくう病院	看護師・保健師	ワレンベルグ症候群による重度嚥下障害に対しチューブのみ訓練を多職種で支援し奏功した一症例 Successful Multidisciplinary Management of Severe Dysphagia in a Patient with Wallenberg Syndrome using Tube-Only Training
O33-4	ほその ゆり 細野 友理 Yuri Hosono	医療法人協和会 協和会病院	言語聴覚士	ワレンベルグ症候群に伴う気管切開適応の重度嚥下障害に対し、病態理解を図り経口摂取再開に至った例 A Case of Severe Dysphagia With Tracheostomy in Wallenberg Syndrome Achieving Oral Intake Resumption Through Pathophysiological Understanding
O33-5				演題取り下げ

一般演題 口演発表 9月12日(土) September 12 (Sat) 第9会場 Room 9

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00～16:00

O34. 症例報告 3 Case report 3

座長：山根 由起子 (旭川医科大学医学部看護学講座)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O34-1	おきの ゆうた 沖野 勇太 Yuta Okino	聖母病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	舌根と喉頭蓋に癒着を認めた嚥下障害の1症例 Dysphagia Caused by Adhesion of the Tongue Base and Epiglottitis: A Case Report
O34-2	あさの あきこ 浅野 全子 akiko asano	袋井市立聖隷袋井市民病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	常食摂取に至った外傷性 Vernet 症候群に伴う重度球麻痺の一例 Severe Bulbar Dysphagia Secondary to Traumatic Vernet Syndrome: A Case Achieving a Regular Diet.
O34-3	たかひし なかむら 藤森 貴久 Takahisa Fujimori	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	言語聴覚士	頭蓋底骨折後に発症した両側頸静脈孔症候群による重度嚥下障害の一例 A Case of Severe Dysphagia Caused by Bilateral Jugular Foramen Syndrome Following Skull Base Fracture
O34-4	おおさき みなこ 大崎 美菜子 Minako Osaki	津島市民病院リハビリテーション室	言語聴覚士	甲状腺クリーゼ発症後の嚥下障害に対するアプローチー経口摂取自立までの長期経過ー Approaches to Dysphagia Following Thyroid storm: A Long-Term Course to Independent Oral Food Intake
O34-5	すずき まさる 鈴木 勝 Masaru Suzuki	医療法人偕行会名古屋共立病院	言語聴覚士	COVID-19 後嚥下障害に対する摂食嚥下リハビリテーション介入により、経口摂取を再獲得した1例 A case in which oral intake was regained through swallowing rehabilitation intervention for post-COVID-19 dysphagia
O34-6	さかい まりこ 坂井 麻里子 Mariko Sakai	医療法人友協会 友協会総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	右被殻出血後に甘味の食物しか摂取せず、口腔に溜め込んだ症例に対する前頭葉症状を利用した食事支援 Meal support leveraging frontal lobe syndromes in a patient with right putaminal hemorrhage showing sweet-food preference and oral food hoarding

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:05~17:05

O35. 症例報告 4 Case report 4

座長：尾関 保則（輝山会記念病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O35-1	しづか ともしひろ 静 智弘 Tomohiro Shizuka	公立那賀病院	言語聴覚士	嚥下反射惹起遅延が顕著な偽性球麻痺例に対する骨棘を利用した代償姿勢の検討 A Study on Compensatory Postures Utilizing Osteophytes in a Case of Pseudobulbar Palsy with Marked Delay in the Swallowing Reflex
O35-2				演題取り下げ
O35-3	なみざわ まさこ 中澤 優子 Masako Nakazawa	重症心身障害児学園・病院パ ルツァ・ゴードル、リハビリ テーション科	言語聴覚士	超慢性期の摂食嚥下リハビリテーション —蘇生後脳症の一例— Dysphagia Rehabilitation in Very Chronic Stage --- One Case with Post-resuscitation Encephalopathy ---
O35-4	まつなが ももな 松永 萌那 Moena Matsunaga	浜松医科大学医学部附属病院	言語聴覚士	先行期不良により経管栄養が長期化した症例 A case of prolonged enteral nutrition due to poor pre-oral stage function
O35-5	おがわ りょう 小川 嶺 Ryo Ogawa	ウエルフェア北園渡辺病院	言語聴覚士	体性認知協調療法（SCCT）で左被殻出血による嚥下障害が改善した1例 A Case of Dysphagia after Left Putaminal Hemorrhage Improved with Somato-Cognitive Coordination Therapy
O35-6	まつうら みかこ 松浦 未佳子 Mikako Matsuura	世田谷記念病院	言語聴覚士	脊髄損傷を既往とする嚥下障害患者の機能改善に向けて～施設退院を目指したチームアプローチ～ Toward Improving Swallowing Function in Patients with a History of Spinal Cord Injury: A Team-Based Approach Toward Discharge to long-term care facility

9月12日(土) September 12 (Sat) 17:10～18:00

O36. 症例報告 5 Case report 5

座長：中根 綾子 (JCHO 東京新宿メディカルセンター 歯科・歯科口腔外科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O36-1	みなみ ちひろ 南 千尋 chihiro minami	四天王寺和らぎ苑	理学療法士	重症心身障害者に対する体幹回旋位姿勢での嚥下動態の評価と食事支援 Evaluation of Swallowing Dynamics in a Trunk-Rotated Posture and Feeding Support in an Individual with Severe Motor and Intellectual Disabilities: A Case Report.
O36-2	なぐち ともえ 谷口 友恵 TOMOE TANIGUTHI	市立貝塚病院	看護師・保健師	摂食障害から胃瘻造設したダウン症患者への経口支援を支える一例～地域在宅医療での多職種連携の重要性～ Supporting Oral Intake for a Down Syndrome Patient with a PEG Tube: The Vital Role of Multidisciplinary Teams in Home Medicine
O36-3	はら もえか 原 萌香 Hara Moeka	株式会社麻生 飯塚病院	言語聴覚士	知的障害者に対して病棟連携で食事支援を行い誤嚥が改善した症例 A Case of Improved Aspiration Following Multidisciplinary Mealtime Support for a Patient With Intellectual Disability
O36-4	ひろなか このみ 弘中 木野実 Konomi Hironaka	公益財団法人慈愛会 今村総合病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	統合失調症を有する重度嚥下障害患者に対し「安全な経口摂取」と「精神活動の安定」を目指して介入した症例 A Case Report of Intervention for a Patient with Severe Dysphagia and Schizophrenia: Achieving Safe Oral Intake and Stabilization of Mental Status
O36-5	えいよう あきと 永用 彰人 akito eiyo	藤田医科大学 七栗記念病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	重症筋無力症と統合失調症の合併により介助摂取と自己摂取で嚥下症状に差を認めた一例 A case report of a patient with myasthenia gravis and schizophrenia in whom differences in swallowing symptoms were observed between assisted and independent feeding

9月12日(土) September 12 (Sat) 15:00~16:10

O37. 気道管理 1 Airway management 1

座長：宮本 明 (西九州大学 リハビリテーション学部)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O37-1	小田 海 UMI ODA	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	言語聴覚士	遷延性意識障害を呈した気管切開症例に対する呼吸・嚥下・活動性への段階的介入 Stepwise Intervention for Respiration, Swallowing, and Physical Activity in a Tracheostomized Patient With Prolonged Disorders of Consciousness
O37-2	内田 美侑 Miu Uchida	熊本機能病院 総合リハビリテーション部	言語聴覚士	カフ付きカニューレ装用下で3食経口摂取が可能となったてんかん重積発作の一例 A case of status epilepticus in which oral intake was achieved under a cuffed tracheostomy tube.
O37-3	島田 知奈未 Chinami Shimada	順天堂大学医学部附属練馬病院リハビリテーション科	言語聴覚士	カフ上発声法により咽喉頭クリアランス改善が示唆された可能性のある気管切開・人工呼吸管理下の一例 Above Cuff Vocalization improve pharyngeal clearance in a mechanically ventilated patient with a tracheostomy: A case report
O37-4	中尾 舞 Mai Nakao	済生会熊本病院	言語聴覚士	脳梗塞後に気管切開を施行した症例に対するコンスタントフロー法導入の経験 Experience in Introducing the Constant-Flow Method for a Patient Who Underwent Tracheostomy After Cerebral Infarction
O37-5	菊池 万葉 Mayo Kikuchi	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	言語聴覚士	気管カニューレ管理プロトコルに基づいて対応した頭部外傷の一例 A case of head trauma managed according to a tracheal cannula management protocol
O37-6	小野木 玲奈 Rena Onoki	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	言語聴覚士	分泌物管理による気管カニューレ離脱：COPD合併気道熱傷例 Tracheostomy decannulation following airway secretion management in a patient with inhalation injury and COPD
O37-7	山中 美咲 MISAKI YAMANAKA	セコメディック病院	言語聴覚士	急性縦隔炎により頸部膿瘍、縦隔気腫を呈した症例が挿管・気管切開を経て在宅復帰を実現した事例 A case of acute mediastinitis with cervical abscess and pneumomediastinum achieving home discharge after intubation and tracheostomy.

9月12日(土) September 12 (Sat) 16:20～17:30

O38. 基礎研究 Basic research

座長：遠藤 眞美（日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O38-1	いとう なおき 伊藤 直樹 NAOKI ITO	札幌歯科医師会口腔医療センター	歯科医師	ヒト摂食嚥下器官のかたちの意味するところ ～比較解剖に基づく考察～ Morphological significance of the human feeding and swallowing system
O38-2	いしづか ともり 石塚 友則 Tomonori Ishizuka	東京歯科大学組織・発生学講座	歯科医師	高齢者献体における部位特異的なオトガイ舌筋の筋質の解明 Elucidation of Site-Specific Muscle Quality of the Genioglossus Muscle in Elderly Cadavers
O38-3	いしだ ともや 石田 知也 Tomoya Ishida	佐賀大学	医師	灌流ラットモデルを用いた抗重力に伴う食道蠕動運動変調効果の検討 Investigation of the Effects of Anti-Gravity on Esophageal Peristalsis Using a Perfusion Rat Model
O38-4	なかお ゆうた 中尾 雄太 Yuta Nakao	大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科	大学・専門学校等教員	頸部筋力とオトガイ舌骨筋の筋肉量および嚥下機能との関連 Association among Cervical Muscle Strength, Geniohyoid Muscle Mass, and Swallowing Function
O38-5	むらかみ たけし 村上 健 Takeshi Murakami	北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法専攻	言語聴覚士	頸部筋力測定器を用いた Chin tuck 時と舌圧および嚥下におけるオトガイ舌骨筋活動量の比較 Evaluation of Chin-Tuck Strength as an Indicator of Suprahyoid Muscle Function: Comparison With Tongue Pressure and Swallowing-Related Muscle Activity
O38-6	ひの りゅうたろう 日野 龍太郎 RYUTAROU HINO	株式会社麻生 飯塚病院	言語聴覚士	エコーによる舌骨上筋群の評価および舌圧とリクライニング角度の関係性 Ultrasonographic Evaluation of the Suprahyoid Muscles and the Relationship Between Tongue Pressure and Reclining Angle
O38-7	こぞの しゅうた 小園 秀太 Shuta Kozono	株式会社麻生 飯塚病院	言語聴覚士	嚥下超音波検査における各物性検体の視認性の検討：パイロットスタディ Investigation of Bolus Visibility Using Various Textures in Swallowing Ultrasonography: A Pilot Study

9月13日(日) September 13(Sun) 10:50~11:50

O39. 訓練4 Exercise 4

座長：佐藤 豊展（聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部言語聴覚学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O39-1	岩田 由花 Yuka Iwata	一宮市立市民病院 看護局	看護師・保健師	ワレンベルグ症候群になった認定看護師の経過：バキューム嚥下を習得し経口摂取を獲得した1例 Recovery of Oral Feeding in a Certified Nurse with Wallenberg Syndrome: A Case Report on the Use of Vacuum Swallowing
O39-2	植田 さゆり Sayuri Ueda	昭和医科大学大学院 歯学研究科 口腔機能リハビリテーション医学分野	学生・大学院生	頭頸部癌治療後嚥下障害に対し間欠的バルーン法及びバキューム嚥下法の併用訓練が有効であった一例 A Effectiveness of Combined Intermittent Balloon Dilation and Vacuum Swallowing Therapy for Dysphagic Patient After Head and Neck Cancer Treatment: A Case Report
O39-3	鈴木 章吾 Shogo Suzuki	医療法人社団永生会 永生病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	バルーン拡張法により食道入口部通過障害に改善を認めた一例 A case in which improvement of esophageal inlet passage obstruction was observed through the balloon dilation method
O39-4	堀谷 空来 Sora Horitani	医療法人社団恵成会 豊田えいせい病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	サルコペニアによる摂食嚥下障害に対してバルーン法が有効であった一例 A Case of Sarcopenia-Related Dysphagia Successfully Treated with Balloon Dilatation Therapy
O39-5	谷口 絵梨 ERI YAGUCHI	日本医科大学付属病院	言語聴覚士	頭部回旋嚥下が有効であった遅発性放射線関連嚥下障害の1例 A case of late radiation-associated dysphagia in which head rotation swallowing was effective
O39-6	大野 ひかる Hikaru Ono	徳島県鳴門病院リハビリテーション技術科	言語聴覚士	低血圧により座位保持困難な症例に対し完全側臥位法での経口摂取を支援した一例 A case in which oral intake was supported in a completely lateral position for a patient who had difficulty maintaining a seated position due to hypotension

一般演題 口演発表 9月13日(日) September 13(Sun) 第4会場 Room 4

9月13日(日) September 13(Sun) 9:10～10:10

O40. 高齢者 2 Older adults 2

座長：武原 格 (東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O40-1	なす まゆみ 那須 真弓 Mayumi Nasu	亀田医療大学	看護師・保健師	要支援・要介護未認定の地域在住後期高齢者における食事関連 QOL の実態 Food-Related Quality of Life among Community-Dwelling Adults Aged 75 Years or Older without Certification for Support or Long-Term Care Needs
O40-2	かんだ ちか 神田 知佳 Chika Kanda	特定医療法人俊仁会 秩父第一病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	絶食後に3食経口摂取可能もしくは不可能となった超高齢患者の特徴 Characteristics of oldest-old patients who are able or unable to tolerating oral intake after nothing per os.
O40-3	かとう としみ 加藤 寿美 Toshimi Kato	ローゼンヴィラ藤原	管理栄養士	外食を希望する高齢入居者に対し、食形態・メニューの提案について 回転寿司外出行事の実践から Regarding proposals for meal forms and menus for elderly residents who wish to eat out: From the practice of going out to conveyor belt sushi
O40-4	こぶかい まさし 小武海 将史 Masashi Kobukai	介護老人保健施設 ハートケア湘南・芦名	理学療法士	SFS ボードを用いた食事環境調整が自力食事摂取能力に及ぼす影響 Effects of Eating Environment Adjustment Using a Self-Feeding Support Board (SFS Board) on Self-Feeding Ability
O40-5	わたなべ たちこ 渡邊 大地子 watanabe tachiko	医療法人社団健育会 石巻健育会病院	看護師・保健師	咽頭期障害のある高齢患者への自力摂取支援 ～前傾した座位姿勢が有効だった一例～ Support for self-intake in elderly patients with pharyngeal dysphagia ～An example of an effective forward bending sitting position～
O40-6	しらいし てつや 白石 哲也 TETSUYA SHIRAISHI	訪問看護ステーション三軒茶屋	理学療法士	訪問看護における“咀嚼機能評価”の意義～「3ヶ月に1回」が利用者の未来を変える～ Significance of "Chewing Function Evaluation" in Visiting Nursing: How a "Once a Quarter" Check Changes the User's Future

9月13日(日) September 13(Sun) 10:15~11:05

O41. 多職種連携 3 Transdisciplinary collaboration 3

座長：青山 寿昭（愛知県医療療育センター中央病院 看護部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O41-1	かどわき けいいち 門脇 敬一 keiichi kadowaki	養和病院	医師	精神科・回復期併設病院における摂食嚥下栄養サポートチーム（SNST）の活動報告 Activity Report of the Swallowing and Nutrition Support Team (SNST) in a Hospital with Psychiatric and Convalescent Rehabilitation Wards
O41-2	やすだ まき 安田 真紀 Maki Yasuda	札幌西円山病院	管理栄養士	管理栄養士による入院時 OHAT 評価の有用性と多職種連携への展望 Utility of Admission OHAT Evaluation by Registered Dietitians and Future Perspectives on Interprofessional Collaboration
O41-3	すぎやま ちさと 杉山 知里 Chisato Sugiyama	焼津市立総合病院	管理栄養士	嚥下調整食の特別食加算に向けた当院の取り組みと課題 Efforts and Challenges in qualifying for dysphagia Diet Fees
O41-4	くろかわ ちはる 黒川 千春 Chiharu KUROKAWA	汐田総合病院リハビリテーション課	言語聴覚士	食事形態の選定及び食事介助法における看護師と言語聴覚士の間のコミュニケーション・ギャップの原因の考察 Causes of Communication Gaps Between Nurses and Speech-Language-Hearing Therapists in Decisions on Diet Texture and Feeding Assistance
O41-5	せお ゆか 瀬尾 悠香 yuka seo	JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院	看護師・保健師	患者 QOL を支える摂食嚥下コアナース育成研修の成果 —段階的学習による実践力向上— Outcomes of Dysphagia Core Nurse Training to Support Patient QOL: Improving Practical Skills through Step-by-Step Learning

9月13日(日) September 13(Sun) 11:10~11:50

O42. 多職種連携 4 Transdisciplinary collaboration 4

座長：竹市 美加（訪問看護ステーション たべる）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O42-1	かわもと ようへい 河本 洋平 Yohei Kawamoto	三朝温泉病院	言語聴覚士	歯科との連携、摂食嚥下リハビリテーションにより自宅退院が可能となった整形外科疾患のある症例 A case of an orthopedic patient who was able to be discharged to home through collaboration with dentistry and dysphagia rehabilitation
O42-2	まえだ ほのお 前田 ほのお Honoo Maeda	朝日大学病院 栄養管理室	管理栄養士	歯科外来での長期他職種支援により栄養状態が改善した一症例 A Case of Nutritional Improvement Through Long-Term Multidisciplinary Support in a University Hospital Dental Outpatient Clinic
O42-3	やました ゆかり 山下 ゆかり Yukari Yamashita	医療法人社団永研会 ちとせ デンタルクリニック	歯科衛生士	終末期在宅療養における経口摂取支援の一例 —KT バランスチャートを用いた多職種連携— A Case of Oral Intake Support in End-of-Life Home Care — Multidisciplinary Collaboration Using the KT Balance Chart (KTBC) —
O42-4	ささき ゆきこ 佐々木 由紀子 YUKIKO SASAKI	医療法人社団ユニメディコ 山 手台クリニック 栄養部	管理栄養士	在宅医療における嚥下内視鏡検査に管理栄養士が同行した1症例 A case in which a registered dietitian accompanied a swallowing endoscopy examination in home medical care

9月13日(日) September 13(Sun) 13:20~14:10

O43. 多職種連携 5 Transdisciplinary collaboration 5

座長：福岡 達之（広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科言語聴覚療法専攻）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O43-1	くすど あみ 楠戸 亜実 Ami Kusudo	近畿大学奈良病院	言語聴覚士	摂食嚥下支援チームによる院内多職種連携体制の構築とその成果 Development of an In-Hospital Multidisciplinary Collaboration System by the Swallowing Support Team and Its Outcomes
O43-2	なかもろ 中溝 こずえ kozue nakamizo	医療法人社団三医会 鶴川記念病院	管理栄養士	～ST×栄養科の連携～ 食べたいを叶える「お試し食」1.5 増の背景 ～Collaboration between ST and the Nutrition Department～ The background of the 'Trial Meal' 1.5 Increase to Fulfill the Desire to Eat
O43-3	なかい ひろし 中井 宏俊 Hirotoshi Nakai	医療法人社団慎正会 みやぞう病院	理学療法士	嚥下リハビリテーションの実施困難な施設における完全側臥位法の導入の経験—4 例報告— A Report of Four Cases on the Implementation of the Complete Lateral Positioning Method in a Hospital Where Swallowing Rehabilitation Is Challenging
O43-4	まえばわ かずこ 前川 一恵 Kazue Maekawa	医療創生大学 総合医療学部 看護学科	看護師・保健師	在宅支援を担う 3 職種が実施している嚥下機能低下療養者に対する観察状況 Implementation status of Observation items for frail adults with dysphagia: A survey involving three interprofessional of home visiting
O43-5	はっとり みきこ 服部 美喜子 MIKIKO HATTORI	医療法人社団 TKG 会小日向台町歯科	管理栄養士	「最期まで口から」を実現する地域連携 ―歯科の管理栄養士が多職種を繋ぐハブの形― Community Collaboration to Realize "Eating by Mouth until the End": The Role of Dental Registered Dietitians as a Hub

9月13日(日) September 13(Sun) 14:10~14:50

O44. 多職種連携 6 Transdisciplinary collaboration 6

座長：山之内 直也（佐賀県医療センター好生館 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O44-1	みやかわ ゆきみ 宮川 倖実 Yukimi Miyakawa	関東病院リハビリテーション科	理学療法士	糖尿病性自律神経障害による食欲不振に対し、多職種連携で薬物療法と離床促進を行い改善した症例 A case of loss of appetite due to diabetic autonomic neuropathy that improved through multidisciplinary collaboration involving drug therapy and mobilization.
O44-2	くろさわ あきは 黒澤 晶浦 Akiho Kurosawa	聖隷横浜病院	看護師・保健師	院内外の多職種連携による経口摂取継続の支援—誤嚥性肺炎予防ができた1症例の報告— Support for continued dietary intake through multidisciplinary collaboration inside and outside the hospital
O44-3	いしやま れな 石山 礼奈 Rena Ishiyama	北村山公立病院	言語聴覚士	多職種の関わりにより完全側臥位法での3食経口摂取が確立した多発腰椎圧迫骨折後の重度嚥下障害の一例 Successful interprofessional management of severe dysphagia after multiple vertebral fractures using the complete lateral position method: a case report
O44-4	ひらい えつこ 平井 悦子 HIRAI ETSUKO	兵庫県立尼崎総合医療センター	看護師・保健師	ハンチントン病に伴う嚥下障害に対し、多職種介入により経口摂取を再構築した1例 Re-establishment of Oral Intake via a Multidisciplinary Approach in Huntington's Disease-Related Dysphagia

9月13日(日) September 13(Sun) 10:50~11:50

O45. 臨床研究 4 Clinical research 4

座長：本多 知行 (大阪保健医療大学)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O45-1	あし が ひろかず 阿志賀 大和 Hirokazu Ashiga	国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	前舌保持嚥下法の即時的効果：マノメトリを用いた検討 Immediate Effects of the Tongue-Hold Swallow: A Study Using Manometry
O45-2	よねやま たくろう 米山 拓良 Takuro Yoneyama	キュービー株式会社 研究開発本部	企業関係者	ヒト胃消化シミュレーターを用いた粥状介護食品の消化挙動評価 Evaluation of Digestive Behavior of Porridge-Type Care Foods Using a Human Gastric Digestion Simulator
O45-3	やまもと ゆうし 山本 祐士 Yushi Yamamoto	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野	歯科医師	スマートフォンと人工知能を活用した咀嚼機能解析アプリケーションの開発 Development of a Smartphone and Artificial Intelligence-Based Application for Chewing Function Analysis
O45-4	かとう あかね 加藤 西 Akane Kato	医療法人社団総生会 麻生総合病院	言語聴覚士	入院時情報を用いた決定木分析による退院時経口摂取レベル関連因子の検討 Factors Associated With Oral Intake Level at Discharge Identified by Decision Tree Analysis Using Admission Information
O45-5	よしだ なおゆき 吉田 直行 Naoyuki Yoshida	合同会社リハ・クリエイティブ	言語聴覚士	健常者の車椅子座位における頭頸部角度と嚥下動態の比較ー健常成人13名での検討ー Comparison of head-neck angle and swallowing behavior in healthy subjects sitting in a wheelchair : A Study of 13 Participants
O45-6	しんめい もも 新明 桃 Momo Shinmei	公益財団法人ライオン歯科衛生研究所	歯科衛生士	中年期以降における姿勢・身体機能の変化は口腔・嚥下機能と関連する Changes in postural and physical functions in middle age and beyond are associated with oral and swallowing functions

9月13日(日) September 13 (Sun) 13:20~14:20

O46. 訓練 5 Exercise 5

座長：重田 律子（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 研究生）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O46-1	たまえ ゆうき 玉榮 侑樹 Yuuki Tamae	医療法人協和会 ウエルハウス 西宮	言語聴覚士	表面筋電バイオフィードバック訓練を実施し奏功した脊柱後側彎症術後の1例 one case after successful scoliosis of the spine by conducting surface myoelectric biofeedback training
O46-2	ふじい まり子 藤井 まり子 Mariko Fujii	社会医療法人若弘会 介護老人保健施設 竜間之郷 リハビリテーション課	言語聴覚士	要介護高齢者に対するポケットエコーを用いた視覚的フィードバック訓練の効果 Effects of Visual Feedback Training Using Pocket Ultrasound in Older Adults Requiring Long-Term Care
O46-3	まつおか ひろき 松岡 裕樹 Hiroki Matsuoka	藤田医科大学病院	言語聴覚士	重度口腔期障害を呈した広範囲口腔がん術後症例への視覚的フィードバック訓練 Visual Feedback Training for Severe Oral Phase Dysphagia after Extensive Oral Cancer Surgery
O46-4	くろだ まなみ 黒田 真菜美 Manami Kuroda	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部	言語聴覚士	言語的障壁を有するワレンベルグ症候群に対し、非言語的バイオフィードバックが奏功した1例 A Case of Successful Nonverbal Biofeedback for Wallenberg Syndrome with a Language Barrier
O46-5	つじい そういち 辻井 壮一 Soichi Tsujii	喜馬病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	嚥下惹起前の下咽頭収縮による口腔逆流を呈した廃用性嚥下障害に対する舌圧強化の試み Tongue Pressure Training for Disuse-Related Dysphagia with Pre-Swallow Oral Regurgitation Associated with Hypopharyngeal Contraction: A Case Report
O46-6	いぬづか かいと 犬塚 開斗 Kaito Inuzuka	中伊豆リハビリテーションセンター	言語聴覚士	感覚障害に配慮した舌機能訓練により経口摂取再獲得に至った1例 Reacquisition of Oral Intake After Tongue Function Training Adapted for Sensory Impairment: A Case Report

9月13日(日) September 13 (Sun) 14:20~15:00

O47. 気道管理 2 Airway management 2

座長：松浦 広昂（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O47-1	やまだ こうし 山田 耕史 Koshi Yamada	原宿リハビリテーション病院	看護師・保健師	リハビリテーション病院における耳鼻咽喉科専門医の介入による嚥下機能改善と気管孔管理について A Study on the Improvement of Swallowing Function and Tracheostomy Management through the Intervention of Ear, Nose, and Throat Specialists in a Rehabilitation Hospital
O47-2	はら かずや 原 和也 Kazuya Hara	浜松市リハビリテーション病院	医師	回復期病院における嚥下障害患者での気管孔ボタン（レティナ [®] 、KOKEN）の使用経験と安全性について Safety and clinical utility of tracheal stoma buttons in convalescent rehabilitation hospital: A retrospective study of 48 cases
O47-3	ほりかわ こうへい 堀川 康平 Kohei Horikawa	兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部	言語聴覚士	咳テストによる不顕性誤嚥スクリーニング能－認知機能重症度別解析によるパイロット研究－ Screening Performance of the Cough Test for Silent Aspiration: A Pilot Study Stratified by Cognitive Severity
O47-4	ふじい なみ 藤井 菜美 Nami Fujii	大阪大学歯学研究科 アニコムビッグデータ MA-T 臨床科学共同研究講座	歯科医師	湿性咳嗽による唾液誤嚥スクリーニングの有用性－食物誤嚥との関連の検討－ Usefulness of Wet Cough for Screening Saliva Aspiration: An Analysis of Its Association with Food Aspiration

プログラム

一般演題 口演発表 9月13日(日) September 13(Sun) 第6会場 Room 6

9月13日(日) September 13(Sun) 8:30~9:30

O48. 口腔ケア 3 Oral care 3

座長：野本 たかと（日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O48-1	きのした さちこ 木下 幸子 Sachiko Kinoshita	社会福祉法人 日野友愛会	歯科衛生士	歯科衛生士が主催する多職種オンラインサロンの有用性 ―臨床支援から学会発表への展開― Utility of a Multidisciplinary Online Salon Led by a Dental Hygienist: From Clinical Support to Academic Presentation
O48-2	しもえ まい 下江 麻衣 Mai Shimoe	公立学校共済組合 中国中央病院 歯科口腔外科	歯科衛生士	多職種連携によるエピシル®口腔用液の継続使用支援の検討 Study on Supporting Continued Use of Episil®Oral Liquid through Multidisciplinary Collaboration
O48-3	もんじやま ほずみ 文字山 穂瑞 Hozumi Monjiyama	仁岳会西東京歯科医院	歯科衛生士	口腔保湿剤「ジェントルケア マセレイトジェル」使用による剥離上皮の除去および口腔ケア所要時間短縮の効果 Effects of a Moisturizing Oral Gel (Gentle Care Macerate Gel) on the Removal of Desquamated Epithelium and Reduction of Oral Care Time
O48-4	もりた すぐる 森田 達 Suguru Morita	医療法人社団登豊会 近石病院 歯科口腔外科	歯科医師	ペクチン配合ジェルとグリセリンジェルを用いた口腔ケア効果の比較検討 Comparison of oral care effects between a pectin-containing gel and a glycerin-based gel
O48-5	ながや ゆりな 長屋 優里菜 Yurina Nagaya	朝日大学病院歯科衛生部	歯科衛生士	口腔癌患者に対する摂食嚥下評価クリニカルパス運用についての検討 A Study on the Implementation of a Clinical Pathway for Swallowing and Feeding Evaluation in Patients with Oral Cancer
O48-6	ながもと ゆきこ 長本 幸子 Yukiko Nagamoto	岡山大学病院看護部	看護師・保健師	当院における頭頸部再建術後患者への初回経口摂取時の多職種ミールラウンドの実践 A Practical Report of Multidisciplinary Meal Rounds at Initial Oral Intake after Head and Neck Reconstructive Surgery

9月13日(日) September 13(Sun) 9:35~10:35

O49. 歯科と口腔 Dentistry and Oral cavity

座長：藤井 航（九州歯科大学 歯学部口腔保健学科多職種推進教育ユニット）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O49-1	くぼしま のぶお 久保島 伸雄 Nobuo Kuboshima	中野区かみさぎ特別養護老人ホーム	管理栄養士	クモ膜下出血により14カ月間非経口摂取だった利用者が、訪問歯科医と連携により3食経口摂取となった症例 A patient unable to eat orally for 14 months after a subarachnoid hemorrhage resumed three oral meals through collaboration with a visiting dentist.
O49-2	ふ ま あきの 夫馬 秋野 Akino Fuma	朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	一般歯科医院における管理栄養士介入と簡易栄養評価が摂食嚥下機能に及ぼす影響 The effect of dietitian intervention and simple nutritional evaluation in general dental clinics on feeding and swallowing function
O49-3	なかお さち恵 中尾 幸恵 Sachie Nakao	医療法人社団登豊会近石病院 歯科・口腔外科	歯科医師	歯科治療時の誤嚥リスク低減を目的としたとろみ水の活用の検討 Utilization of thickened water to reduce aspiration risk during dental treatment
O49-4	くろだ たかこ 黒田 貴子 Takako Kuroda	佐川歯科医院	歯科衛生士	栃木県における摂食嚥下診療を広める取り組み—VE、VF 検査が可能な歯科クリニックの3年間の臨床統計— Initiatives to Promote Eating and Swallowing Care in Tochigi Prefecture – Three-Year Clinical Statistics of Dental Clinics Capable of Providing VE and VF Examinations
O49-5	おしむら のりあき 押村 憲昭 Noriaki Oshimura	朝日大学歯学部摂食・嚥下リハビリテーション学	歯科医師	総義歯装着患者における口腔機能訓練および栄養指導の効果—歯科診療所での検討— Effects of Oral Function Training and Nutritional Guidance in Complete Denture Wearers: A Study in a Dental Clinic
O49-6	たなか きょうこ 田中 恭子 Kyoko Tanaka	社会医療法人 北海道循環器病院 栄養科	管理栄養士	急性期循環器病院における訪問歯科診療の有用性の検討 The Usefulness of Visiting Dental Care in an Acute Cardiovascular Hospital

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:40~11:50

O50. リスク管理 Risk management

座長：大沢 愛子（国立長寿医療研究センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O50-1	こしみず もとこ 古清水 元子 Motoko Koshimizu	諏訪赤十字病院	看護師・保健師	VF 検査の安全性・効率性・多職種連携向上に向けた運用手順の標準化と体制整備 Standardization of operational procedures and system development for improving the safety, efficiency, and multidisciplinary collaboration of VF testing
O50-2	わたなべ つよし 渡邊 強 Tuyoshi Watanabe	聖隷佐倉市民病院	その他	嚥下造影検査施行医の被ばく線量低減の検討-術者立ち位置および透視条件の違いによる影響- Study on Reducing Radiation Exposure to Physicians Performing Swallowing Contrast Examinations: Effects of Operator Position and Fluoroscopy Conditions
O50-3	にしむら しんや 西村 慎也 Shinya Nishimura	鹿教湯病院	医師	当院の嚥下造影検査における被ばく量低減の取り組み Efforts to Reduce Radiation Dose in Videofluoroscopic Swallowing Studies at Our Hospital
O50-4	こだに まきこ 小谷 牧子 Makiko Kodani	鳥取大学医学部附属病院看護部	看護師・保健師	Patient Deterioration Monitor を活用した院内誤嚥リスク管理の取り組み Integrating the Patient Deterioration Monitor into Hospital Aspiration Risk Management
O50-5	さとう まり 佐藤 真理 Mari Sato	京都大学医学部附属病院 看護部	看護師・保健師	リハビリテーション技師等を対象とした院内喀痰吸引認定制度の導入 Implementation of an In-hospital Sputum Suctioning Certification System for Rehabilitation Therapists
O50-6	あおき ゆうすけ 青木 佑介 Yusuke Aoki	鈴鹿中央総合病院	作業療法士	気管カニューレ事故抜去ゼロへの取り組み:ICUでの多職種連携による安全対策と早期離床の両立 Zero Accidental Extubation of Tracheal Cannulae: Multidisciplinary Approaches to Safety and Early Mobilization in the ICU
O50-7	きたかみ きし 岸 孝明 Takaaki Kishi	医療法人静和会浅井病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	自力摂取可能な統合失調症入院患者の窒息に関するリスク因子の検討 A study of Choking Factors in Schizophrenia Inpatients Capable of Independent Oral Intake

9月13日(日) September 13 (Sun) 13:20~14:10

O51. 認知症 Dementia

座長：松嶋 康之（産業医科大学リハビリテーション医学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O51-1	ますい えつこ 榊井 悦子 Etsuko Masui	もりかわ歯科八尾本町診療所	歯科衛生士	ナノオゾン水による口腔および鼻腔スプレ어의介入で嚥下時のむせが軽減した一例 A Case in Which Intervention with Oral and Nasal Sprays Using Nano-Ozone Bubble Water Reduced Coughing During Swallowing
O51-2	あずま りょうま 東 竜舞 Ryoma R. Azuma	医療法人 関東病院	理学療法士	先行期障害を有する脳血管性認知症患者に対する多面的介入が摂食嚥下機能および摂取量に与えた影響 Impact of a Multifaceted Intervention on Swallowing Function and Oral Intake in Patients with Vascular Dementia Exhibiting Anticipatory Stage Impairments
O51-3	うち橋 めぐみ 内橋 恵 Megumi Uchihashi	ナーチャー	看護師・保健師	経口摂取を拒否する認知症高齢者の嚥下リハの意思決定支援 —OOVLを用いた家族への価値の見える化— Decision-making Support in Dysphagia Rehabilitation for Older Adults with Dementia Refusing Oral Intake: Visualization of Values for Families Using OOVL
O51-4	のむら ようこ 野村 容子 Yoko Nomura	浴風会病院	看護師・保健師	食事拒否をする認知症高齢者との多職種による関わり Nutritional management by a multidisciplinary team for elderly dementia patients who refuse meals
O51-5				演題取り下げ

9月13日(日) September 13(Sun) 14:10~15:00

O52. 高齢者 3 Older adults 3

座長：平田 文（国際医療福祉大学 言語聴覚学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O52-1	やまうち たけし 山内 健 Takeshi Yamauchi	大阪市立弘済院附属病院	医師	特別養護老人ホームにおける認知症高齢者の昼食時摂食状況と入院イベントの観察研究 Feeding Conditions and Hospitalization Events in a Nursing Home for Older Adults With Dementia: A Prospective Observational Study
O52-2	こばやし けんすけ 小林 謙介 Kensuke Kobayashi	特別養護老人ホーム秋月	理学療法士	介護老人福祉施設における理学療法士介入の有無が FOIS 変化量に与える影響 The effect of Physical Therapist intervention on changes in FOIS scores in nursing homes
O52-3	いわさき ひろこ 岩崎 洋子 Hiroko Iwasaki	東京北医療センター介護老人保健施設さくらの杜	管理栄養士	嚥下調整食について看護・介護・リハビリ職員を対象としたアンケート調査 A questionnaire survey on dysphagia diet for Nurse, Care worker, and Rehabilitation Staff
O52-4	はしにた れいこ 橋谷 玲子 Reiko Hashitani	介護老人保健施設 ウエルハウス西宮	言語聴覚士	老人保健施設認知症病棟におけるサルコペニアと嚥下機能低下の実態 Survey of Sarcopenia and Swallowing Dysfunction in a Dementia Ward of a Geriatric Health Services Facility
O52-5	きむら まさのり 木村 将典 Masanori Kimura	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	特別養護老人ホームにて訪問 ST と施設職員と連携してお楽しみでの経口摂取を継続している一症例 A case study of a nursing home where oral intake is being continued through collaboration between a visiting speech-language pathologist and facility staff.

9月13日(日) September 13(Sun) 9:10~10:10

O53. 栄養 4 Nutrition 4

座長：戸田 美美（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O53-1	ひがしむら ともみ 東村 智己 Tomomi Higashimura	社会医療法人社団三思会 東 名厚木病院 栄養科	管理栄養士	嚥下調整食（コード2相当）の栄養強化について の取り組み Initiatives for the fortification of dysphagia diet
O53-2	かい じゅんじ 甲斐 純志 Jyunji Kai	都城市郡医師会病院	管理栄養士	消化器外科入院患者における低栄養診断と嚥下 調整食レベルの関連性の検討 Examination of the relationship between malnutrition diagnosis and dysphagia-friendly diet levels in inpatients undergoing gastrointestinal surgery.
O53-3	こいけ りえ 古池 理恵 Rie Koike	藤田医科大学岡崎医療セン ター看護部	看護師・保 健師	シェイカーを用いた栄養剤とろみ調整手技の標 準化 —調製精度向上の検討— Standardization of Shaker-Based Thickening Techniques for Nutritional Formulas: Improving Preparation Accuracy
O53-4	わたなべ ゆき 渡邊 優希 Yuki Watanabe	JA 北海道厚生連 ニセコ羊蹄 広域俱知安厚生病院	看護師・保 健師	摂食嚥下障害患者に関わる病棟の看護職の「と ろみ」に対する実態と課題 Current situation and challenges regarding "thickening agents" used by nursing staff in wards caring for patients with eating and swallowing disorders.
O53-5	まさき なおこ 正木 直子 Naoko Masaki	特別養護老人ホームマザアス 日野	管理栄養士	特養入所者における食事形態と舌圧の関連性につ いて Relationship between diet form and tongue pressure in special care residents
O53-6	はちろ ま 八馬 ちひろ Chihiro Hachiuma	社会医療法人若弘会 わかく さ竜岡リハビリテーション 病院	管理栄養士	GLIM 基準による栄養状態の変化と退院時経口 摂取状況との関連 Association Between Changes in Nutritional Status Based on the GLIM Criteria and Oral Intake Status at Discharge in Patients Admitted to a Convalescent Rehabilitation Ward

9月13日(日) September 13(Sun) 10:15~11:15

O54. 栄養 5 Nutrition 5

座長：松山 美和（徳島大学大学院医歯薬学研究所 口腔機能管理学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O54-1	しみず あきお 清水 昭雄 Akio Shimizu	三重大学医学部附属病院	大学・専門学校等教員	3D フードプリンタによる市販経口栄養補助食品の造形性評価 Evaluation of a Commercial Oral Nutritional Supplement as a Food Ink for 3D Food Printing
O54-2	おおいえ こうへい 大冢 広平 Kohei Ohie	名古屋大学	大学・専門学校等教員	ミリサイズ具材を含む流動食品に適用可能な粘度計測手法 Model-free and wide-gap viscometry for heterogeneous fluid foods
O54-3	はやかわ あすか 早川 明日香 Asuka Hayakawa	名古屋大学	学生・大学院生	液体薄膜層による食塊滑り挙動の計測手法開発 Measurement of food bolus slip on a thin liquid layer
O54-4	たさか ゆうじ 田坂 裕司 Yuji Tasaka	北海道大学大学院工学研究院	大学・専門学校等教員	嚥下食のずり減粘による食べやすさ評価と喉部モデルでの検証 Evaluation of dysphagia diet swallowability based on shear-thinning viscosity and its verification using a throat model
O54-5	はね ちひろ 羽根 千尋 Chihiro Hane	医療法人社団秀和会 つがやす歯科医院	管理栄養士	歯科医院が開設した認定栄養ケア・ステーションの活動について The activity details of a certified nutrition care station established by our dental clinic
O54-6	さいとう とおる 斎藤 徹 Tohru Saito	医療法人社団秀和会 つがやす歯科医院	歯科医師	歯科医院が開設した認定栄養ケア・ステーションの活動～外来通院高齢者に対する栄養支援について～ The activity details of a certified nutrition care station established by our dental clinic: Nutritional support for elderly outpatients

9月13日(日) September 13(Sun) 13:20~14:10

O55. 頭頸部がん 1 Head and Neck cancer 1

座長：仙田 直之（総合病院松江生協病院 耳鼻咽喉科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O55-1	ふかやま ゆうすけ 深山 侑祐 Yusuke Fukayama	長崎大学病院 栄養管理センター	管理栄養士	頭頸部がん再建術後患者に対する専従管理栄養士の介入効果の検証 Effect of dietitian intervention on patients after head and neck cancer reconstruction surgery.
O55-2	むかい さやか 向井 紗耶香 Sayaka Mukai	岡崎市民病院 医療技術局	歯科衛生士	舌がん部分切除後の舌口唇運動機能および舌圧の経時的变化 Temporal Changes in Tongue-Lip Motor Function and Tongue Pressure after Partial Glossectomy for Tongue Cancer
O55-3	おくだ かつや 奥田 勝也 Katsuya Okuda	昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター	医師	舌部分切除術後における舌圧と口腔運動協調機能の経時的变化に関する検討 Longitudinal Changes in Tongue Pressure and Oral Motor Coordination Following Partial Glossectomy
O55-4	よしの かえで 吉野 楓 Kaede Yoshino	京都大学医学部附属病院 摂食嚥下診療センター	言語聴覚士	異時性多発頭頸部癌において既往治療による左右差が嚥下における優位通過側選択に影響した1例 A Case of Metachronous Multiple Head and Neck Cancers in Which Treatment-Induced Laterality Affected Swallowing Side Selection
O55-5	まつさき ゆうこ 松崎 優子 Yuko Matsusaki	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	頸部悪性リンパ腫の再発により食道狭窄を伴う嚥下障害を呈した症例 A case of dysphagia with esophageal stenosis due to recurrence of neck malignant lymphoma

9月13日(日) September 13(Sun) 14:10~15:00

O56. 頭頸部がん2 Head and Neck cancer 2

座長：吉川 峰加（広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O56-1	きみだ けいこ 真田 恵子 Keiko Sanada	静岡県立静岡がんセンターリ ハビリテーション室	言語聴覚士	舌癌治療に伴う嚥下障害を呈した高齢の認知機能低下患者の症例報告 Tongue cancer-induced dysphagia in an elderly patient with cognitive decline: A case study
O56-2	かわな ようこ 川名 葉子 Yoko Kawana	新潟大学大学院医歯学総合研 究科 摂食嚥下リハビリテー ション学分野	学生・大学 院生	舌亜全摘出術後、上下無歯顎の症例に対してPAPを装着し、摂食嚥下機能改善を得た一例 A Case of Improved Feeding and Swallowing Function Using a Palatal Augmentation Prosthesis in an Edentulous Patient After Subtotal Glossectomy
O56-3	もりぐち しずか 森口 倭花 Moriguchi	TMG あさか医療センター	言語聴覚士	再建組織量不足により摂食嚥下障害が生じた舌癌患者への対応 Management of Dysphagia in a Patient with Tongue Cancer Caused by Insufficient Reconstructed Tissue Volume
O56-4	たざき あみ 田崎 あみ Ami Tazaki	名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	経口的切除と喉頭水平部分切除後の嚥下障害に対する介入：症例報告 Intervention for Dysphagia after Transoral Videolaryngoscopic Surgery with Horizontal Epiglottectomy: A Case Report
O56-5	おのえ かなえ 尾上 佳苗 Kanae Onoe	大阪ろうさい病院 中央リハビ リテーション部	言語聴覚士	舌全摘術後重度嚥下障害例に対し、誤嚥性肺炎予防を図りつつ飲酒希望に沿った多職種支援を行った一例 Multidisciplinary support for a patient's wish to resume alcohol consumption while preventing aspiration pneumonia after total glossectomy: A case report

9月13日(日) September 13(Sun) 8:30~9:30

O57. 地域・在宅 Community dwelling

座長：玄 景華 (朝日大学 歯学部・口腔病態医療学講座・障害者歯科学分野)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O57-1	こじま かおり 小島 香 Kaori Kojima	国立研究開発法人 国立長寿 医療研究センター 老年学・社 会科学研究センター	その他	要介護高齢者における摂食嚥下障害の潜在的 ニーズとケア提供量の地域差 Regional variations in the potential need for and availability of care for dysphagia among elderly people requiring long-term care.
O57-2	わたなべ はやか 渡邊 早香 HAYAKA WATANABE	医療法人社団ユニメディコ リ スホームケアクリニック 栄 養部	管理栄養士	在宅における多系統萎縮症患者に管理栄養士が 関わった2症例について About 2 cases in which a registered dietitian was involved in patients with multi-system atrophy at home
O57-3				演題取り下げ
O57-4	ながい しほ 永井 志保 Shiho Nagai	横浜市総合リハビリテーショ ンセンター	理学療法士	染色体異常の成人に対する在宅での食事支援の 報告—ライフステージに合わせた見直しと地域 連携の必要性— Report on Home-Based Dietary Support for an Adult with Chromosomal Abnormality: The Necessity of Life-Stage-Based Re-evaluation and Community Collaboration
O57-5	たかはし みずほ 高橋 瑞保 Mizuho Takahashi	医療法人健丈会 おおやぶ内 科・循環器内科	管理栄養士	胃瘻造設後に包括的支援で口から食べる喜びを 在宅で得られた重度認知症事例 A case of severe dementia where a patient experienced the joy of eating orally at home through comprehensive support after gastrostomy tube placement.
O57-6	たけいち みか 竹市 美加 Mika Takeichi	訪問看護ステーションたべる	看護師・保 健師	クモ膜下出血後遺症による摂食嚥下障害を呈す る患者へのQOL向上につなげる包括的食支援 Comprehensive dietary support to improve the quality of life for patients with eating and swallowing disorders caused by sequelae of subarachnoid hemorrhage

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:35~10:35

O58. 誤嚥性肺炎 Aspiration pneumonia

座長：久保 高明（熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科理学療法専攻）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O58-1	いのうえ とうた 井上 登太 Tota Inoue	在宅支援有床診療所 みえ呼 吸嚥下リハビリクリニック	医師	当院で誤嚥性肺炎と診断された患者の ADL・栄養状態・摂食状態の検討 Investigation of Activities of Daily Living, Nutritional Status, and Feeding Status in Patients Diagnosed with Aspiration Pneumonia at Our Clinic
O58-2	さくらい たかあき 櫻井 隆晃 Takaaki Sakurai	国立病院機構 名古屋医療セ ンター リハビリテーション科	言語聴覚士	高齢肺炎患者における早期経口摂取開始の阻害因子の検討 Factors Associated with Delayed Early Oral Intake in Older Patients Hospitalized with Pneumonia
O58-3	おか きよし 岡 聖史 KIYOSHI OKA	医療法人社団総生会 総生会 ロイヤルホーム	言語聴覚士	急性期嚥下障害患者の誤嚥性肺炎罹患に関する因子の検討-CART を用いた予備的研究- Factors Associated with Pneumonia in Patients with Acute Dysphagia: A Preliminary Study Using CART Analysis
O58-4	あおやま こうこ 青山 紅子 Koko Aoyama	平成横浜病院	言語聴覚士	誤嚥性肺炎患者の退院時経口摂取可否に関連する因子の検討 Examination of factors related to the ability of patients with aspiration pneumonia to take oral food at the time of discharge
O58-5	たけだ さとし 竹田 悟志 SATOSHI TAKEDA	糸島医師会病院呼吸器内科	医師	地域支援病院での誤嚥性肺炎の予後予測因子の検討 Prognostic factors for aspiration pneumonia at a regional medical care support hospital
O58-6	まつだ こうじ 松田 好司 Koji Matsuda	医療法人北辰会 天の川病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	誤嚥性肺炎患者における「食道蠕動運動評価」と「食後の座位保持指導」の重要性 The importance of "esophageal peristalsis assessment" and "post-prandial sitting instruction" in patients with aspiration pneumonia

9月13日(日) September 13(Sun) 10:40~11:40

O59. 頭頸部がん3 Head and Neck cancer 3

座長：高橋 賢晃（日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O59-1	ももづき けんや 望月 健也 Kenya Mochizuki	東京品川病院	言語聴覚士	咽頭癌治療後の味覚障害が再発後の嚥下機能低下に拍車をかけた一症例 A case in which taste disorders after treatment for pharyngeal cancer exacerbated the decline in swallowing function after recurrence.
O59-2	にしおか みお 西岡 未央 Mio Nishioka	香川大学医学部附属病院	言語聴覚士	放射線化学療法後に重度嚥下障害を呈した下咽頭癌患者に対し経口摂取継続を図り機能回復が得られた1例 A Case of Functional Recovery Following Continued Oral Intake in a Patient with Hypopharyngeal Cancer and Severe Dysphagia after Chemoradiotherapy
O59-3	たに あい 谷 藍 Ai Tani	社会医療法人若弘会 わかくさ竜岡リハビリテーション病院	言語聴覚士	下咽頭がん化学放射線治療後の咽頭喉頭感覚低下に対し嚥下の意識化により経口摂取を獲得した一例 A Case of Oral Intake Recovery after Chemoradiotherapy for Hypopharyngeal Cancer
O59-4	よこやま さとし 横山 智 Satoshi Yokoyama	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	言語聴覚士	頭頸部がん治療後の晩期嚥下障害に対する治療経験 Clinical Management of Late onset Dysphagia Following Treatment for Head and Neck Cancer
O59-5	さとう よしとも 佐藤 義朝 Yoshitomo Sato	いわてリハビリテーションセンター	医師	術後吻合部狭窄へ経鼻胃管によるOE法を導入し、在宅療養可能となった多疾患併存の一例 A case of multimorbidity in which introduction of an OE method via a nasogastric tube for postoperative anastomotic stricture enabled home care
O59-6	まつざき かほ 松崎 佳穂 kaho matuzaki	長崎大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	下咽頭部分切除、空腸パッチ再建術後に重度嚥下障害を呈した1例～心理的要因を踏まえた介入の検討～ A case of severe dysphagia following partial hypopharyngeal resection and jejunal patch reconstruction: Consideration of interventions based on psychological factors

9月13日(日) September 13(Sun) 13:20~14:20

O60. 急性期 Acute phase

座長：中森 正博（広島大学病院 脳神経内科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O60-1	あらかわ ゆうこ 荒川 裕子 Yuko Arakawa	信州大学医学部歯科口腔外科学教室	歯科医師	頭部外傷により摂食嚥下障害を生じた患者の急性期リハビリテーションの1例 A case with very effective early rehabilitation for a patient who developed dysphagia caused by head trauma.
O60-2	こばやし ちづる 小林 千鶴 Chizuru Kobayashi	金沢大学附属病院	看護師・保健師	KTBC®を用いた包括的食支援による急性期脳卒中患者の経口摂取状況の実態 Oral Intake Status of Acute Stroke Patients Receiving Comprehensive Feeding Support Using the KT Balance Chart
O60-3	なかい のりこ 中井 憲子 Noriko Nakai	佐野厚生総合病院	看護師・保健師	脳神経外科急性期患者における栄養状態と入院中の経口摂取との関連 Association between nutritional status and achievement of oral intake in acute neurosurgical patients
O60-4	ながせ ゆき 長瀬 由季 Yuki Nagase	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院	管理栄養士	急性期内科病棟における低栄養診断と予後の検討 Association Between Malnutrition Diagnosis and Prognosis in an Acute Internal Medicine Ward
O60-5	よしの たかこ 芳野 多香子 Takako Yoshino	川口市立医療センター 臨床栄養科	管理栄養士	急性期病院における入院時の口腔アセスメントと摂食嚥下障害重症度に関する調査 Investigation of oral assessment and the severity of dysphagia on admission to an acute care hospital.
O60-6	てしがわら かえ 勅使河原 香枝 Kae Teshigawara	公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	急性期病棟における言語聴覚士配置の摂食嚥下リハビリテーションに与える有用性 The Effectiveness of Speech-Language-Hearing Therapist Staffing on Dysphagia Rehabilitation in Acute Care Wards

9月13日(日) September 13(Sun) 8:30~9:30

O61. 症例報告 6 Case report 6

座長：百田 貴洋（植草学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O61-1	牧瀬 美香 Mika Makise	常陸大宮済生会病院 看護部	看護師・保健師	多職種の包括的介入により嚥下機能改善および経口摂取再獲得を認めた破傷風・脳梗塞合併患者の一例 Improved Swallowing and Resumption of Oral Intake in a Patient with Tetanus and Cerebral Infarction Through Multidisciplinary Intervention
O61-2	栄原 純子 Junko Sakaebara	徳島赤十字病院	管理栄養士	電撃傷・III度熱傷により嚥下障害を呈した患者への他職種連携による“安心でおいしい食支援”の一例 A case of multidisciplinary “safe and enjoyable eating support” for dysphagia after electrical injury and third-degree burns.
O61-3	荒木 昌美 Masami Araki	横浜市立大学附属市民総合医療センター	看護師・保健師	心筋炎加療中に舌壊死をきたし気管切開となったが退院後に離脱できた症例 A case in which a myocarditis patient, who underwent a tracheostomy due to tongue necrosis, was able to wean off the tracheostomy after discharge
O61-4	川村 広美 Hiromi Kawamura	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 言語聴覚療法室	言語聴覚士	長期挿管後に Tapia 症候群を呈した一例～変性疾患との鑑別と臨床的教訓～ A Case of Tapia Syndrome Following Prolonged Intubation: Differential Diagnosis from Degenerative Disease and Clinical Lessons
O61-5	鈴木 あい Ai Suzuki	山形市立病院済生館リハビリテーション室	言語聴覚士	感染症後に原因不明の嚥下障害と構音障害を呈した一例 A case of unexplained dysphagia and dysarthria following an infection.
O61-6	木目 有里絵 Yurie Kime	慶應義塾大学病院リハビリテーション科	言語聴覚士	頸部膿瘍患者の摂食嚥下機能に対する舌筋力の影響 The Effect of Tongue Muscle Strength on Swallowing Function in Patients with Cervical Abscesses

9月13日(日) September 13(Sun) 9:35~10:35

O62. 療養型 Long-term care

座長：中山 潤利（日本大学歯学部摂食機能療法科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O62-1	潮田 亜子 Ako Shiota	箕面中央病院看護部	看護師・保健師	療養型病院における外部専門職の介入により中心静脈栄養法から経口摂取のみで退院できた一例 Successful Transition from TPN to Oral Intake Facilitated by External Dysphagia Specialists : A Case Report from a Chronic Medical Care Hospital
O62-2	保田 祥代 Sachiyo Hota	医療法人豊田会 高浜豊田病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	療養病院における ST 介入の実態と帰結～急性期嚥下訓練対象者のその後～ The Reality and Outcomes of Speech Therapy Intervention in Long-Term Care Hospitals: The Follow-up for Patients Receiving Swallowing Training in the Acute Phase
O62-3	榎本 慧 Megumi Enomoto	特定医療法人壽生会 寿生病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	4 年間で経口患者が 2.8 倍に増加！ 療養型病院で「食べる」を支える ST の実践報告 The number of oral patients increased 2.8 times over four years! A practical report by STs supporting 'eating' in long-term care hospitals
O62-4	畠山 恵 Megumi Hatakeyama	武蔵野大学人間科学部人間科学科	言語聴覚士	医療療養病床入院例における藤島 Gr-FILS 乖離の推移と入院時特徴 Admission Characteristics and Trajectories of Inpatients with Fujishima Grade-FILS Discrepancy in Medical Long-Term Care Wards
O62-5	西山 侑作 Yusaku Nishiyama	原土井病院	言語聴覚士	重度嚥下障害と診断された高齢患者の転帰 Outcomes of Elderly Patients Diagnosed with Severe Dysphagia
O62-6	本村 咲子 Sakiko Motomura	箕面中央病院 看護部	看護師・保健師	長期療養型病院において多職種チームアプローチにより 3 食経口摂取へ回復した一事例 Recovery to Three Oral Meals per Day Through a Multidisciplinary Team Approach in a Chronic Medical Care Hospital: a Case Report

9月13日(日) September 13(Sun) 10:40~11:50

O63. 外科手術 1 Surgery 1

座長：小口 和代 (刈谷豊田総合病院リハビリテーション科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
O63-1	まつざき ゆう 松崎 悠 Yu Matsuzaki	北海道大学病院	言語聴覚士	舌骨・甲状軟骨部分切除を伴う咽頭再建術後に摂食機能療法を実施した1例 A Case of Dysphagia Rehabilitation Following Pharyngeal Reconstruction with Partial Resection of the Hyoid Bone and Thyroid Cartilage
O63-2	まえだ さやか 前田 さやか Sayaka Maeda	刈谷豊田総合病院リハビリテーション科	言語聴覚士	声門閉鎖術を施行した小脳血管芽細胞腫摘出術後の1例 A Case of Cerebellar Hemangioblastoma Resection Followed by Glottic Closure
O63-3	ゆみた けんと 弓田 健斗 Kento Yumita	佐野厚生総合病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科	医師	頭頸部癌治療後の重度嚥下障害に対して嚥下機能改善術を施行し経口摂取を再獲得した一例 Functional swallowing surgery for severe dysphagia after head and neck cancer treatment: a case of regained oral intake
O63-4	ばんば こうじ 番場 康治 Koji Banba	松原徳洲会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	Forestier 病による嚥下障害が心臓外科術後に顕在化し、頸椎部分切除術とリハビリが奏功した一症例 A case in which dysphagia due to Forestier disease became apparent after cardiac surgery, and was successfully treated with cervical vertebrectomy and rehabilitation.
O63-5	たかはし みさと 高橋 美里 Misato Takahashi	医療法人拓生会 奈良西部病院	言語聴覚士	摂食嚥下障害のスクリーニング検査が有用であった頸椎椎体骨棘患者の一症例 A Case of Cervical Vertebral Osteophytes in a Patient Where Screening Tests for Feeding and Swallowing Disorders Were Useful
O63-6	おの たくや 小野 琢也 Takuya Ono	福岡大学病院リハビリテーション部	言語聴覚士	破裂軟骨脱臼により水分で高度嚥下障害を認めたが整復術により改善した症例 A case in which severe swallowing difficulties due to arytenoid cartilage dislocation were observed, but improved after reduction surgery.
O63-7	あきおか ひろし 秋岡 宏志 Hiroshi Akioka	奈良県立医科大学	医師	嚥下障害を機に発見された異所性右鎖骨下動脈症例 A case of aberrant right subclavian artery discovered following dysphagia

9月13日(日) September 13 (Sun) 13:20~14:20

O64. 外科手術 2 Surgery 2

座長：加藤 健吾 (かとう耳鼻咽喉・嚥下クリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O64-1	にしむら ひかる 西村 輝 Hikaru Nishimura	信州大学医学部附属病院	作業療法士	転移性頸椎腫瘍に対する頭蓋胸椎固定術後摂食嚥下障害を呈した患者の急性期介入の経験 Acute-Phase Rehabilitation for Dysphagia after Occipitothoracic Fixation in a Patient with Metastatic Cervical Spine Tumor
O64-2	おおつ けんたろう 大津 健太郎 Kentaro Otsu	福岡大学病院リハビリテーション部	言語聴覚士	小脳橋脚部腫瘍摘出術後に迷走神経障害を呈したが経口摂取可能となった症例 A case in which a patient presented with vagus nerve dysfunction after resection of a cerebellar-pontine peduncle tumor, but was able to resume oral intake.
O64-3	やまの ひろかず 山野 紘和 Hirokazu Yamano	松山リハビリテーション病院	言語聴覚士	小脳橋角部髄膜腫により嚥下障害を認めたが、普通食摂取可能となった一例 A case of a patient who experienced dysphagia due to a cerebellopontine angle meningioma but was able to consume a normal diet
O64-4	やまざき なな 山崎 奈奈 Nana Yamazaki	浴風会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	心臓血管外科手術後、廃用症候群と反回神経麻痺により嚥下障害を呈した1例 A case of dysphagia caused by disuse syndrome and recurrent laryngeal nerve paralysis following cardiac surgery.
O64-5	すが まどか 菅 まどか Madoka Suga	医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	食道がん術後両側反回神経麻痺により嚥下障害を呈した症例 Dysphagia due to Bilateral Recurrent Laryngeal Nerve Paralysis Following Esophageal Cancer Surgery: A Case Report
O64-6	よしみつ みゆき 依光 美幸 Miyuki Yorimitsu	がん・感染症センター都立駒込病院	言語聴覚士	口腔癌術後患者における軟口蓋挙上の時間特性—食塊粘度の影響— Velopharyngeal Elevation Timing After Oral Cancer Surgery: Effects of Bolus Viscosity

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:40~11:40

P2-E1. Older adults

座長：菊安 誠 (ヒト・コミュニケーション科学ラボ)
千葉 由美 (横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻 がん・先端成人看護学)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-E1-1	Kanjana Somdee	Department of Rehabilitation and medicine, Faculty of Medicine, Ramathibodi hospital, Mahidol university, Thailand	Occupational Therapist	Effectiveness of Individualised Home-Based Swallowing Rehabilitation in Older Adults: An Outpatient Clinic Experience
P2-E1-2	Jo-Peng Tsai	Department of Catering and Health, CTBC University of Technology, Taiwan	University Teacher/ Vocational School Teacher	SROI Evaluation of USR Project: Innovative Chewing Health and Muscle Strength Services for the Elderly at CTBC University of Technology
P2-E1-3	Hsuan-Chen Chiang	Department of Oral Hygiene, Kaohsiung Medical University, Taiwan	Speech Therapist	From Soft Diet to Chewing-Oriented Food Design: Effects of a Community-Based Adapted Dietary Intervention on Oral Function in Older Adults
P2-E1-4	Jing-Han Qiu	Department of Speech Language Pathology and Audiology, Hungkuang University, Taichung, Taiwan	Student/ Graduate Student	Prevalence and Screening of Airway Protection Deficits in Long-Term Care Facilities: A Population-Based Study in Taichung City
P2-E1-5	Tsz Fung, Archie Cheng	Swallowing Research Laboratory, The University of Hong Kong	Speech Therapist	Modifiable Factors in the Mealtime Support Needs of Elderly Residents with Dementia and Dysphagia: Implications for Reablement-based Mealtime Interventions
P2-E1-6	Lung Yat Ronald CHUI	Institute of Science Tokyo, Japan	Speech Therapist	Age-related differences in oral functional status among adults with Down syndrome

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:40~11:40

P2-E2. Community dwelling

座長：中川 量晴（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野）
椎名 英貴（森之宮病院 リハビリテーション部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-E2-1	Taylor Townsend	Edith Cowan University, Australia	Speech Therapist	Risk of Aspiration Pneumonia in Community Dwelling Individuals: A Scoping Review
P2-E2-2	Bora Kim	Seoul National University Hospital, Seoul, South Korea	Occupational Therapist	Effects of Meal Preparation Independence and Perceived Muscle Weakness on Swallowing Difficulty in Community-Dwelling Korean Older Adults by Gender: A Stratified Analysis
P2-E2-3	Yuto Ochiai	Niigata University of Health and Welfare, Japan	Speech Therapist	Investigating the Clinical Significance of Maximum Tongue Pressure and Rate of Force Development in Day-Care Older Adults: Their Relationship with Oral Frailty
P2-E2-4	Yun- Kim Kim	Care Food Science & Technology Institute, South Korea	Others	Screening and Assessment of Dysphagia in Community-Dwelling Older Adults in Korea: A Community-Based Care Program Study
P2-E2-5	Yun- Kim Kim	Care Food Science & Technology Institute, South Korea	Others	Pill Swallowing Difficulty in Community-Dwelling Older Adults in Korea: Findings from a Community-Based Screening Study
P2-E2-6	Chirathip Thawisuk	Department of Occupational Therapy, Faculty of Associated Medical Sciences, Chiang Mai University, Thailand	Occupational Therapist	Community and Home-Based Dysphagia Management in Low- and Middle-Income Countries: A Scoping Review

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:40~11:40

P2-E3. Nutrition

座長：松尾 浩一郎（東京科学大学 大学院地域・福祉口腔機能管理学分野）
吉松 由貴（グリニッジ大学）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-E3-1	Varanya Techasukthavorn	Department of Nutrition and Dietetics, Faculty of Allied Health Sciences, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand	National Registered Dietitian	Impact of Nutritional Composition on the Rheological Properties and IDDSI Levels of Oral Nutrition Supplements (ONS) in Thailand
P2-E3-2	Eliza Wong Yen Sim	Dietetics Department, Hospital Sultan Ismail Johor Bahru, Malaysia	Others	IMPLEMENTATION OF INTERNATIONAL DYSPHAGIA DIET STANDARDISATION INITIATIVE (IDDSI): ARE WE READY?
P2-E3-3	Syahidatun Mardhiah Baharin	Hospital Kuala Lumpur, Malaysia	National Registered Dietitian	Enhancing Protein Consumption Through IDDSI-Compliant Jelly Pudding: Findings From a Hospital-Based Patient Satisfaction Audit
P2-E3-4	Takafumi Ooka	Division of feeding and swallowing rehabilitation, Department of Restorative and Biomaterials Sciences, Meikai University School of Dentistry, Japan	Dentist	An actual condition survey on nutritional status in a facility for people with intellectual disabilities
P2-E3-5	Shohei Mori	Iwata city hospital, Japan	National Registered Dietitian	Validity of the IWATA-4 Feeding Prognosis Score and Its Utility for Triage in a Ward-Based NST in an Orthopedic Ward
P2-E3-6	Sarah Elizabeth Barrett	None	Speech Therapist	Clinical vs Instrumental Swallow Assessments in Enteral Nutrition: Impact on Healthcare Costs and Patient Outcomes

プログラム

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:40~11:40

P2-E4. Pediatrics・Caregivers

座長：綾野 理加（昭和大学歯学部小児成育歯科学講座）
大久保 真衣（東京歯科大学社会歯科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-E4-1	PRIYA KAPOOR	Bharati Vidyapeeth (Deemed to be University) School of Audiology and Speech Language Pathology, India	Speech Therapist	When One Swallow Isn't Enough: Swallowing Patterns in Spastic Cerebral Palsy
P2-E4-2	PRIYA KAPOOR	Bharati Vidyapeeth (Deemed to be University) School of Audiology and Speech Language Pathology, India	Speech Therapist	Factors associated with the caregiver-perceived impact of feeding difficulties in children with cerebral palsy
P2-E4-3				Withdrawn
P2-E4-4	Sun-a Cha	Teachers Academy, South Korea	Occupational Therapist	Swallowing Difficulties and Mealtime Realities: Knowledge Gaps and Daily Dietary Strategies Among Dysphagia Patients and Family Caregivers
P2-E4-5	Nitchakan Utaiwattana	Occupational Therapy Division, Golden Jubilee Medical Center, Faculty of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University, Nakhon Pathom, Thailand	Occupational Therapist	Development of an Dysphagia Care E-Book for Caregivers
P2-E4-6	Aya Sugiura	AQUA HOME Kyoto Uzumasa, Japan	Occupational Therapist	Multidisciplinary Feeding Support for Dysphagia in Residential Hospice: A Retrospective Study with Family Decision-Making

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:40~11:40

P3-E1. Evaluation

座長：高島 英昭（長崎大学病院 リハビリテーション科）
井口 はるひ（東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-E1-1	Tingting Jiang	Department of Rehabilitation Medicine, the Third Affiliated Hospital of Sun Yat-sen University, Guangzhou, China	Student/ Graduate Student	An Interpretable Machine Learning Model for Tracheostomy Decannulation in Patients with Acquired Brain Injury
P3-E1-2	Esther Tsz-Tung Li	Department of Language Science and Technology, The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong	Speech Therapist	Ultrasonography for Assessing Radiation-Induced Swallowing Changes in Head and Neck Cancer Survivors: A Scoping Review
P3-E1-3	Howell Henrian Bayona	Department of Rehabilitation Medicine, School of Medicine, Fujita Health University, Japan	Speech Therapist	Clinical application of four-dimensional CT in dysphagia: an 18-year retrospective review
P3-E1-4	Katina Swan	Edith Cowan University, Australia	Speech Therapist	Development and Validation of a Visuo-perceptual Measure of Videofluoroscopic Swallow Study
P3-E1-5	Eiji Suzuki	Saitama Iwatsuki Hospital, Japan	Doctor	Voluntary swallowing frequency and swallowing function progression after VF examination
P3-E1-6	Haruhiko Matsumiya	Mogu-mogu Clinic Swallowing Rehabilitation, Nutrition and Dentistry, Japan	Dentist	Development of Radiopaque Japanese Staple Foods for Reliable Evaluation During Videofluoroscopic Swallow Study

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:40~11:40

P3-E2. Clinical research

座長：兼岡 麻子（東京大学医学部附属病院リハビリテーション部）
弘中 祥司（昭和医科大学歯学部口腔衛生学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-E2-1	Yaqi Zhang	Department of Rehabilitation Medicine, The Third Affiliated Hospital of Sun Yat Sen University, China	Student/ Graduate Student	Microstructural Damage to Swallowing-Related Cerebellar Pathways in Infratentorial Stroke: Identification of Key Tracts and Imaging Biomarkers
P3-E2-2	KuoChang Wei	Department of Physical Medicine and Rehabilitation, College of Medicine, National Taiwan University, Taipei, Taiwan	Doctor	Investigating the Role of Cortical and Subcortical Neural Substrates in Swallowing -A Voxel-based Lesion Symptom Mapping Study of Post-stroke Dysphagia
P3-E2-3	Yaqi Zhang	Department of Rehabilitation Medicine, The Third Affiliated Hospital of Sun Yat Sen University, China	Doctor	Spatiotemporal Characteristics of Pharyngeal Muscle Activation in Neurogenic Dysphagia of Different Etiologies: A High-Density sEMG Study
P3-E2-4	MOTIWAER AIMAIER	Department of Rehabilitation Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University, Japan	Student/ Graduate Student	Kinematic Characteristics of Hyolaryngeal Movement in the Acute Phase After Radical Surgery for Esophageal Cancer
P3-E2-5	Yaqi Zhang	Department of Rehabilitation Medicine, The Third Affiliated Hospital of Sun Yat Sen University, China	Doctor	Temporal Parameters of Videofluoroscopic Swallow Study and Their Correlation with Penetration-Aspiration Risk in Post-Stroke Dysphagia Patients
P3-E2-6	XIANGXIANG LIU	Department of Nursing, Graduate School of Medicine, Yokohama City University, Japan	Student/ Graduate Student	Association of Handgrip Strength and Ultrasonographic Findings of Swallowing-Related Muscles with Swallowing Function in Patients with Heart Failure

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:40~11:40

P3-E3. Intervention

座長：倉智 雅子（国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科）
真柄 仁（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-E3-1	Haiwan Wu	The Third Affiliated Hospital of Sun Yat-sen University, China	Doctor	An Individualized Dosing Strategy of Botulinum Toxin Type A for Neurogenic Sialorrhea Based on Swallowing Function Assessment
P3-E3-2	Fang-Ying Chang	Department of Physical Medicine and Rehabilitation, National Taiwan University Hospital, Taiwan	Doctor	Ultrasound-Guided Hydrodissection as a Novel Intervention for Dysphagia and Cervical Myofascial Pain Secondary to Radiation-Induced Strap Muscle Fibrosis
P3-E3-3	Naoko Kawabe	Department of Rehabilitation, Kobe City Medical Center General Hospital, Japan	Speech Therapist	A Case of Prolonged Severe Dysphagia After Open Window Thoracostomy for Fistulous Empyema Following Pulmonary Resection
P3-E3-4	YUYA XIANG	National Taiwan University Hospital, Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Taiwan	Speech Therapist	Swallowing Rehabilitation and Interdisciplinary Management of Type I Achalasia in a Nonagenarian
P3-E3-5	Mohd Azmarul A Aziz	Speech Pathology Programme, School of Health Sciences, Universiti Sains Malaysia, Kelantan, Malaysia	Speech Therapist	Clinical Efficacy and Treatment Tolerance of Neuromuscular Electrical Stimulation (NMES) in Oropharyngeal Dysphagia: A Pilot Study
P3-E3-6	KOTA AMANO	Department of Dysphagia Rehabilitation, Asahi University school of dentistry, Japan	Dentist	Effects of interferential current stimulation on prefrontal activity measured by NIRS

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:40~11:40

P3-E4. Quality of life and others

座長：青柳 陽一郎（日本医科大学大学院医学研究科リハビリテーション学分野）
中尾 真理（東北生活文化大学 家政学部 家政学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-E4-1	Li-Ting Ou	Department of Speech Language Pathology and Audiology, Hungkuang University, Taichung, Taiwan.	Student/ Graduate Student	Correlation Between Swallowing Function and Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults in Asia: A Systematic Review
P3-E4-2	Daisuke Fukumoto	Kagoshima medical professional college, Taiwan	Student/ Graduate Student	Development of a Region-Specific Dysphagia Diet Aimed at Maintaining Quality of Life in Patients with Dysphagia
P3-E4-3	Appas Saha	Assistant Professor, Speech Language Pathology, Bharati Vidyapeeth (Deemed to be University), SASLP, India	Speech Therapist	Development of the Glossectomy-Mandibulectomy Quality of Life Questionnaire (GMQOL)
P3-E4-4	Pei-Chen Lin	Kaohsiung Medical University, Taiwan	University Teacher/ Vocational School Teacher	Perceived Oral Functional Impacts and Clinical Oral Function Measures in Patients with Oral Cancer
P3-E4-5	Prawit Phoonjaroen	Occupational Therapy Division, Golden Jubilee Medical Center, Faculty of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University, Nakhon Pathom, Thailand	Occupational Therapist	Cross-cultural Validity of The Dysphagia Handicap Index (DHI), Thai Version
P3-E4-6	Chi Lo	Department of Physical Medicine and Rehabilitation, National Taiwan University Hospital, Taiwan	Speech Therapist	Clinical Considerations in Swallowing and Communication After Extensive Tongue Cancer Resection: An SLP Perspective

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:40~11:50

P3-E5. Education

座長：芳賀 信彦（国立障害者リハビリテーションセンター）
柴本 勇（聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-E5-1	Jiemei Chen	Department of Rehabilitation Medicine, The Third Affiliated Hospital, Southern Medical University, China	Doctor	The status quo of short video as sources of health information on dysphagia: a cross-sectional study
P3-E5-2	Lin Chia Hui	Department of Nursing, Chang Gung University of Science and Technology, Taiwan	Nurse/ Public Health Nurse	Core Competencies for Swallowing Support Aides in Long-Term Care
P3-E5-3	Narinya Apai	Ramathibodi Hospital ,Mahidol University .Thailand	Occupational Therapist	An Occupational Therapist–Led Early Triage Model for Dysphagia: Improving Safety and Access in a Tertiary Care Setting
P3-E5-4	Hui-Ping Chang	Department of Dietetics and Nutrition, Taipei City Hospital, Taiwan	National Registered Dietitian	Improving Access to Chewing-Friendly Diets (IDDSI Levels 6–7) in Community and Food Service Settings: A Citywide Dietitian-Led Program in Taipei
P3-E5-5				Withdrawn
P3-E5-6	Hsiaohan Wei	Taipei City Hospital Yang-Ming Branch, Taiwan	Speech Therapist	Mini-IPPC as an Integrated Output of an Interprofessional Dysphagia Care Workshop
P3-E5-7	Yumi Furuya	Hirose Hospital, Japan	Speech Therapist	Restoring Self-Feeding through Nurse-ST Collaboration: Visual Support for Executive Dysfunction in a Patient with Frontal Lobe Lesion

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A1. 基礎研究 1 Basic research 1

座長：山口 浩平（東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-A1-1	しばもと いさむ 柴本 勇 Isamu Shibamoto	聖隷クリストファー大学	言語聴覚士	異なる精製法の和風だし摂取時の前頭前野 Hb 濃度計測：高齢女性での検討 Measurement of Hb Concentrations in the Prefrontal Cortex Following Consumption of Japanese-Style Dashi Prepared Using Different Purification Method in Elderly Female
P2-A1-2	さかい じゅん 酒井 純 Jun Sakai	朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	コーヒーと増粘剤の混合味溶液をラットの舌に作用させた時の鼓索神経応答変化-刺激物質の濃度の影響- Change of the chorda tympani nerve responses by application of binary mixture of coffee and thickeners as taste stimuli in rats -Effects by the concentration of taste stimuli-
P2-A1-3	かわな ようこ 川名 葉子 Yoko Kawana	新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	学生・大学院生	健康成人における随意嚥下に対するカリウムイオンの影響 Effect of potassium inputs on voluntary swallowing performance in healthy humans
P2-A1-4	ひらさわ たつり 平澤 辰憲 Tatsunori Hirasawa	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	言語聴覚士	【第1報】とろみ付けの新提案～濃厚とろみ希釈法ノススメ～ [1st Report] A New Approach to Thickening: Introducing the Rich Thickening Dilution Method
P2-A1-5	かめたに こうじ 亀谷 浩史 Koji Kametani	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	言語聴覚士	【第2報】とろみ付けの新提案～濃厚とろみ希釈法における官能評価～ [2nd Report] A New Approach to Thickening: Sensory Evaluation of the Rich Thickening Dilution Method, Thick Textures
P2-A1-6	ひらさわ たつり 平澤 辰憲 Tatsunori Hirasawa	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	言語聴覚士	【第3報】とろみ付けの新提案～濃厚とろみ希釈法による製品比較～ [3rd Report] A New Approach to Thickening: A Comparison of Products Using the Rich Thickening Dilution Method

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A2. 栄養 1 Nutrition 1

座長：村上 正治（国立長寿医療研究センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-A2-1	の だ まさこ 野田 雅子 Masako Noda	福岡大学病院 栄養部	管理栄養士	ニュークックチルシステム導入に伴う嚥下調整食の工夫 Innovations in Dysphagia Diets Following the Introduction of the New Cook-Chill System
P2-A2-2	たかの みか 高野 未佳 Mika Takano	伊東歯科口腔病院	管理栄養士	嚥下調整食の導入に伴う顎変形症手術後の体重減少率の比較 Comparison of weight loss rates after orthognathic surgery in relation to the introduction of Japanese Dysphagia Diet
P2-A2-3	やまうら あゆむ 山浦 歩 Ayumu Yamaura	医療法人社団医風会 さいたま岩槻病院 栄養科	管理栄養士	嚥下調整食学会分類 2021 コード 4 の硬さに適合する為の食材の大きさに関する検討 A Study on food size of ingredients to match the hardness criteria of Code 4 in the Japanese Dysphagia diet 2021 by the JSDR dysphagia diet committee(JDD2021).
P2-A2-4	すぎはら みほ 杉原 美帆 miho sugihara	グリーンヒル幸寿園	管理栄養士	嚥下に配慮したとろみカクテルと米粉のおやつレクリエーションで楽しむ非日常体験 Enjoy a unique recreational experience with swallowing-friendly thickened cocktails and rice flour treats
P2-A2-5	きれがわ しずこ 喜連川 静子 shizuko kiregawa	医療法人信愛会 日比野病院 栄養管理科	管理栄養士	臼歯欠損例における咀嚼機能評価に基づいた食形態調整の検討について Evaluation of Food Texture Modification Based on Masticatory Function Assessment in Patients with Molar Defects
P2-A2-6	しょうの あやこ 荘野 綾子 Ayako Shono	特別養護老人ホームまごころの里	管理栄養士	嚥下調整食における栄養強化と食事量調整の検討ー「ひと口」を大切にするための取り組みー Consideration of Nutritional Fortification and Meal Volume Adjustment in Dysphagia-Modified Diets: Initiatives to Cherish "Every Single Bite"

一般演題 ポスター発表 9月12日(土) September 12 (Sat) ポスター会場 Poster

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A3. 看護 1 Nursing 1

座長：定松 ルリ子（特別養護老人ホーム 聖マルチンの家）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-A3-1	ねぎし さき 根岸 沙季 Saki Negishi	高島平中央総合病院	看護師・保健師	摂食嚥下障害に対する病棟看護師の意識調査 A Survey of Ward Nurses' Awareness Regarding Eating and Swallowing Disorders
P2-A3-2	さいとう かずみ 齋藤 和美 Kazumi Saito	札幌医科大学大学院保健医療 学研究科	看護師・保健師	経口摂取が必要な患者に対する看護師の摂食嚥下機能アセスメントのスコピングレビュー A scoping review of nurse's dysphagia assessment for patients requiring oral intake
P2-A3-3	のぶくに ともよ 信國 知代 Tomoyo Nobukuni	熊本大学病院 看護部	看護師・保健師	大学病院における院内嚥下スクリーニング導入1年後の普及状況の検証 Evaluation of the Adoption and Dissemination of In-Hospital Dysphagia Screening One Year After Its Introduction at a University Hospital
P2-A3-4	わたなべ あやこ 渡邊 文子 Ayako Watanabe	公益財団法人 仁泉会 北福島 医療センター	看護師・保健師	病棟看護師、看護助手に POTT プログラムを導入した取り組みと課題 Implementing the POTT Program for Ward Nurses and Nursing Assistants: Challenges and Practical Insights
P2-A3-5	うさみ やすこ 宇佐美 康子 Yasuko Usami	日本赤十字社愛知医療セン ター名古屋第二病院	看護師・保健師	NST リンクナースを対象とした多職種による摂食嚥下教育の実際 Current Practices in Multidisciplinary Education on Dysphagia for Ward-based Nutrition Support Liaison Nurses
P2-A3-6	まつお やよい 松尾 弥生 Yayoi Matsuo	神戸市立西神戸医療センター	看護師・保健師	A 急性期病院に入院する摂食嚥下機能に課題をもつ高齢患者への看護実践の現状：看護師経験年数別の比較 Current Nursing Practices for Elderly Patients with Dysphagia in an Acute Care Hospital : A Comparison by Years of Nursing Experience

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A4. 地域リハ・在宅1 Community dwelling 1

座長：白波瀬 元道（医療法人社団永生会 法人本部リハビリ統括部）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P2-A4-1	おおの みほ 大野 美穂 Miho Ono	社会医療法人仁寿会加藤病院	管理栄養士	多職種連携による食支援ツール「ハレの日プランカード」の開発と活用の検討—食意欲と思い出想起の可能性— Development and Application of the "Hare-no-hi" Plan Card in Interdisciplinary Food Support: Potential for Eating Motivation and Memory Recall
P2-A4-2	ますだ じゅんいち 増田 純市 Junichi Masuda	聖稜リハビリテーション病院	言語聴覚士	介護現場への多職種での訪問による食支援教育の試み—PDCA サイクル構築に向けた10年間の実践— A 10-Year Practice of Multidisciplinary Visit-Based Education for Dysphagia Support in Long-Term Care Settings: Toward Establishing a PDCA Cycle
P2-A4-3	えんどう ゆうき 遠藤 祐輝 Yuki Endo	医療法人 明星会 星野クリニック	言語聴覚士	和歌山市内高齢者施設における「とろみ開始」の実態と課題 Current Practices and Issues in the Initiation of Thickened Fluids in Elderly Care Facilities in Wakayama City
P2-A4-4	たぐち まこと 田口 充 Makoto Taguchi	鶴岡協立リハビリテーション病院	言語聴覚士	ユネスコ食文化創造都市における嚥下調整食モニタリングの試行と検証 Pilot Implementation and Evaluation of a Dysphagia-Friendly Culinary Monitoring Tour in a UNESCO Creative City of Gastronomy
P2-A4-5	とね じゅんこ 刀禰 順子 JUNKO TONE	朝日大学歯学部口腔病態医療学摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科衛生士	NPO 法人による地域住民を対象としたオーラルフレイル活動の実践報告 Implementation of an Oral Frailty Prevention Program for Community-Dwelling Older Adults by a Nonprofit Organization
P2-A4-6	うおずみ りょうへい 魚住 亮平 Ryohei Uozumi	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	看護師・保健師	「えんげ手帳」の活用状況と今後の課題 Utilization of the "Enge Te-cho" current status and future challenges

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A5. 補綴・装具・治療機器 Medical Device

座長：渡邊 哲（愛知学院大学歯学部 口腔顎顔面外科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-A5-1	はやし ゆうあき 林 優樹 Yuki Hayashi	藤田医科大学病院 臨床研修 センター	歯科医師	摂食嚥下リハビリテーションと義歯治療 Denture Treatment in Dysphagia Rehabilitation
P2-A5-2	ふくざわ さとし 福澤 智 Satoshi Fukuzawa	筑波大学摂食嚥下サポート チーム	歯科医師	悪性リンパ腫に対する化学療法によって生じた 軟口蓋欠損に対して軟口蓋塞栓子を用いた1例 A case of soft palate defect caused by chemotherapy for malignant lymphoma treated with a soft palate obturator.
P2-A5-3	おくむら たくま 奥村 拓真 Takuma Okumura	北海道大学 大学院歯学研究 院 口腔健康科学分野 高齢者 歯科学教室	歯科医師	アルプラゾラム内服歴を有する原因不明の進行 性嚥下障害に対する舌接触補助床の短期効果 Short-term Effect of a Palatal Augmentation Prosthesis on Progressive Dysphagia of Unknown Etiology in a Patient with a History of Alprazolam Use: A Case Report
P2-A5-4	さいとう たかゆき 齋藤 貴之 Takayuki Saito	たのしみ歯科	歯科医師	在宅復帰を見据えた PAP と義歯調整による摂食 嚥下機能改善の一例 A Case of Improved Swallowing Function Using a Palatal Augmentation Prosthesis and Denture Adjustment with a View to Home Discharge
P2-A5-5	とりたに かんじ 鳥谷 寛治 Kanji Toritani	医療法人社団スマイルクリエ ーション	歯科医師	口腔機能低下症に対して低周波電気刺激装置 「えんげくん」を用いたリハビリテーションの 検討 Consideration of rehabilitation for oral frailty with a low frequency current electrical muscle stimulation machine "Engkun".
P2-A5-6	やなぎさわ ゆうき 柳澤 優希 Yuki Yanagisawa	医療法人社団 藤聖会 富山西 総合病院	言語聴覚士	経頭蓋直流電気刺激と干渉波電気刺激の併用に より嚥下機能改善を認めた一例 Improvement of swallowing function with combined transcranial direct current stimulation and interferential current stimulation: A case report.

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A6. 神経筋疾患 Neuromuscular disease

座長：三石 敬之（済生会飯塚嘉徳病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P2-A6-1	ひょうが じゅんこ 日向 純子 Junko Hyuga	市立長浜病院	言語聴覚士	炎症性筋疾患に伴う嚥下障害に対する代償手段の有用性 －認知機能とVF所見に基づいた個別的検討－ Compensatory Strategies for Dysphagia in Inflammatory Myopathies: An Individualized Evaluation Based Cognitive Function and VF Findings
P2-A6-2	まえだ ともみ 前田 知美 Tomomi Maeda	社会保険二瀬病院	言語聴覚士	嚥下障害が進行し胃瘻造設に至った脊髄小脳失調症31型(SCA31)の一例 A case of Spinocerebellar Ataxia type 31 (SCA31) in which dysphagia progressed, leading to the creation of a gastrostomy
P2-A6-3	おもうす ゆみこ 重栖 由美子 Yumiko Omosu	医療法人社団日心会 総合病院 一心病院	看護師・保健師	嚥下障害を非定型な初期症状とする視神経脊髄炎スペクトラム障害の1例 A Case of neuromyelitis optica spectrum disorder with Dysphagia as an Atypical Initial Symptom
P2-A6-4	たうち あゆみ 田内 あゆみ Ayumi Tauchi	金沢文庫病院	言語聴覚士	倫理的ジレンマを生じた進行性核上性麻痺(PSP)患者の経口摂取の経過 The course of oral intake in patients with progressive supranuclear palsy, which presented an ethical dilemma.
P2-A6-5	おぎの ともお 荻野 智雄 Tomoo Ogino	国立病院機構宇多野病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	誤嚥防止術後も肺炎を生じたパーキンソン病の2例 Pneumonia Despite Anti-aspiration Surgery in Two Patients with Parkinson's Disease
P2-A6-6	さとう まさこ 佐藤 雅子 Masako Sato	国立精神神経医療研究センター	言語聴覚士	パーキンソン病では進行性核上性麻痺より不顕性誤嚥を呈しやすい：傾向スコアマッチングによる検討 Silent Aspiration Is More Frequent in Parkinson's Disease than in Progressive Supranuclear Palsy: A Propensity Score-Matched Study

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A7. 症例1 Case report 1

座長：菅野 亜紀（東京歯科大学短期大学歯科衛生学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P2-A7-1	すずき ゆうじ 鈴木 悠史 Yuji Suzuki	国立病院機構霞ヶ浦医療センターリハビリテーション科	言語聴覚士	食道期のリハビリテーションにより肺炎兆候が改善した1症例 A case of pneumonia prevention through esophageal training
P2-A7-2	まつお ともこ 松尾 朋子 Tomoko Matsuo	医療法人あかぎデンタルケア 北本	歯科医師	食後嘔吐による絶食から経口摂取を獲得した1例 A Case of Regaining Oral Intake After Fasting Due to Postprandial Vomiting
P2-A7-3	やなぎた ゆかり 柳田 侑香里 Yukari Yanagita	近畿大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	評価的介入が有効であった傍腫瘍性小脳変性症－Lambert-Eaton 筋無力症候群疑いの症例 A case of suspected Lambert-Eaton myasthenic syndrome with paraneoplastic cerebellar degeneration in which evaluative intervention proved effective.
P2-A7-4	はやし さちよ 林 佐智代 Sachiyo Hayashi	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座	歯科医師	多発性嚢胞腎に伴う肝嚢胞とクモ膜下出血後遺症を有する摂食嚥下障害の一例 A Case of Dysphagia in a Patient with Giant Liver Cysts Associated with Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease and Sequelae of Subarachnoid Hemorrhage
P2-A7-5	べっしょ めぐみ 別所 恵美 Megumi Bessho	石川県立中央病院リハビリテーション室	言語聴覚士	帯状疱疹により嚥下障害を呈した症例への言語聴覚士としての関わり The Role of a Speech-Language-Hearing Therapist in a Case of Dysphagia Caused by Shingles
P2-A7-6	うえだ りゅうが 植田 梨友河 Ryuga Ueda	総合病院土浦協同病院	言語聴覚士	無疱疹性帯状疱疹により混合性喉頭麻痺を来たし、重度の嚥下障害を呈した症例 A Case of Zoster Sine Herpete Presenting with Mixed Laryngeal Paralysis and Severe Dysphagia

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:00~9:30

P2-A8. チームアプローチ 1 Team approach 1

座長：薛 克良（医療法人順和長尾病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-A8-1	すきもと りょうへい 杉本 遼平 Ryohei Sugimoto	北小田原病院	言語聴覚士	資源制約環境体制構築における摂食嚥下支援体制構築時の課題整理 ―第一報― Issues in Establishing a Dysphagia Support System During System Construction in a Resource-Limited Setting: A Preliminary Report
P2-A8-2	やまなか ゆうじ 山中 裕司 Yuji Yamanaka	医療法人社団光生会 陵南診療所 摂食リハビリステーション	理学療法士	摂食嚥下支援における多職種協働体制の構築とその実際 ―開設2年間の活動報告― Building a Multidisciplinary Collaborative System for Dysphagia Management: A Two-Year Activity Report
P2-A8-3	こん けい 昆 ひなき Hinaki Kon	多摩丘陵病院	管理栄養士	多職種による入院時評価は不適切な形態の食事提供を予測できるか。 Can Multidisciplinary Assessment at Admission Predict Inappropriate Diet Consistency?
P2-A8-4	さとみ みき 佐藤 美紀 Miki Sato	津軽保健生活協同組合 健生病院	歯科衛生士	リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算における歯科衛生士の役割―早期介入による多職種連携の報告― Role of Dental Hygienists in Collaborative Care for Rehabilitation, Nutrition, and Oral Health: A Report on Early Multidisciplinary Intervention
P2-A8-5	おおしお まな 大塩 茉奈 Mana Oshio	朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	摂食嚥下リハ体制導入による院内誤嚥性肺炎発症率の変化―歯科早期介入を軸とした多職種連携の効果― Changes in Hospital-Acquired Aspiration Pneumonia After Introduction of a Multidisciplinary Dysphagia Rehabilitation System with Early Dental Intervention
P2-A8-6	まとうざき さなえ 的崎 早苗 Sanae Matozaki	兵庫県立淡路医療センター	看護師・保健師	多職種による嚥下外来の活動と役割 ―A病院摂食嚥下支援チームの取り組み― Multidisciplinary Activities and Roles in an Outpatient Dysphagia Clinic—Initiatives of the Dysphagia Support Team at A Hospital—

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B1. 基礎研究 2 Basic research 2

座長：福永 真哉 (川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B1-1	おおくす ななこ 大楠 菜々子 Nanako Okusu	北海道大学 高齢者歯科	歯科医師	円軌道における舌運動評価システムの開発 Development of a System for Evaluating Tongue Movement in Circular Trajectories
P2-B1-2	まつもと ちはる 松本 智晴 Chiharu Matsumoto	熊本大学大学院生命科学研究 部看護学分野	看護師・保健師	音声・動画・筋電のハイブリッド解析による嚥下機能の加齢変化の捕捉 Capturing Age-Related Changes in Swallowing Function Through Hybrid Analysis of Audio, Video, and Electromyography Data
P2-B1-3	もりとよ りえこ 森豊 理英子 Rieko Moritoyo	東京科学大学大学摂食嚥下リ ハビリテーション学分野	歯科医師	介護用ベッドによる膝関節軽度屈曲・下腿下方位の起き上がり姿勢は嚥下・呼吸機能に及ぼす影響を及ぼす Effects of a Raised Sitting Posture with Slight Knee Flexion and Downward Lower-Leg Positioning Using a Nursing Care Bed on Swallowing and Respiratory Function
P2-B1-4	おちが のりたか 大賀 則孝 Noritaka Ohga	北海道大学 口腔内科	歯科医師	筋シナジーによる舌運動機能の評価 Assessment of Tongue Motor Function through Muscle Synergy
P2-B1-5	の だ えみ 野田 恵未 Emi Noda	朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野	歯科医師	炭酸溶液の濃度および溶液量が咽頭内圧に及ぼす影響—高解像度マノメトリーによる検討— Effects of Carbonation Concentration and Bolus Volume on Pharyngeal Pressure: An Evaluation Using High-Resolution Manometry
P2-B1-6	みしま えみこ 三島 絵美子 Emiko Mishima	医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院	言語聴覚士	炭酸とろみを同時に付加する方法の考案 Invention of a method for simultaneously adding carbonation and thickness

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B2. 栄養2 Nutrition 2

座長：寺中 智（あやせほりきり中央歯科口腔機能クリニック）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B2-1	おぞわ す み こ 小澤 寿美子 Sumiko Ozawa	介護老人福祉施設 心花春	管理栄養士	嚥下調整食と食事支援環境の見直しによる高齢者福祉施設入所者の BMI の変動について Changes in BMI of residents at nursing home following the dysphagia diet and mealtime support environments
P2-B2-2	しおはま な ほ こ 塩濱 奈保子 Nahoko Shiohama	京都済生会病院	管理栄養士	急性期病院に入院した誤嚥性肺炎患者におけるエネルギー密度の高い嚥下調整食摂取の影響 The Effects of Consuming High-Energy Dysphagia Diets on Patients with Aspiration Pneumonia Admitted to Acute Care Hospitals
P2-B2-3	そのもと ゆうすけ 榎本 雄介 Yusuke Enomoto	国立病院機構仙台医療センター 栄養管理室	管理栄養士	ICU 入室時の GLIM 基準低栄養と抜管後嚥下機能の関連 Association between GLIM-defined malnutrition at ICU admission and post-extubation swallowing function
P2-B2-4	くまくら ひ と み 熊倉 ひとみ Hitomi Kumakura	信楽園病院	管理栄養士	GLIM 基準による入院時低栄養と退院時 FILS の関連 Association between malnutrition at admission based on GLIM criteria and FILS at discharge
P2-B2-5	まつい ひろおき 松井 祐興 Hirooki Matsui	日本海総合病院	医師	頭頸部癌一次治療前に PEG を行った症例の使用状況と抜去の実態 Usage patterns and removal practices of PEG in head and neck cancer patients prior to first-line treatment
P2-B2-6	かやの ちひろ 茅野 千尋 Chihiro Kayano	那須赤十字病院 歯科口腔外科	歯科衛生士	口腔がん手術患者における周術期栄養管理の実態 Perioperative Nutritional Management in Patients Undergoing Surgery for Oral Cancer

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B3. 看護2 Nursing 2

座長：安部 幸（別府溝部学園高等学校）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B3-1	はせがわ 長谷川 めぐみ Megumi Hasegawa	医療法人社団浅ノ川心臓血管 センター 金沢循環器病院	看護師・保 健師	完全側臥位法への取り組みによる看護職員への 意識変化と今後の課題 Changes in awareness of nursing staff due to the approach to the complete lateral lying method and the future Issue
P2-B3-2	やましな ゆういち 山科 雄一 Yuichi Yamashina	市立長浜病院	看護師・保 健師	嚥下後の分泌物回収量の変化に着目し VE 再評 価を行い経口摂取開始に至った気管切開患者の 1 例 A case of a tracheostomized patient who resumed oral intake after reevaluation with FEES focusing on changes in post-swallow secretion clearance
P2-B3-3	いしばし みなこ 石橋 美菜子 MINAKO ISHIBASHI	地方独立行政法人 長崎みな とメディカルセンター	看護師・保 健師	摂食嚥下支援チーム介入後の成果と課題 ～誤嚥性肺炎予防に向けた看護教育の必要性～ Outcomes and Challenges Following Dysphagia Support Team Intervention The Necessity of Nursing Education for Aspiration Pneumonia Prevention
P2-B3-4	まつざわ ゆう 松澤 優 Yu Matsuzawa	社会医療法人医仁会 中村記 念南病院	看護師・保 健師	当院の嚥下リンクナースの活動報告 Activity report of our hospital's swallowing link nurses
P2-B3-5	あざみ きょう 浅見 杏 Kyo Azami	西埼玉中央病院	看護師・保 健師	GERD による誤嚥性肺炎に対する摂食嚥下障害 看護認定看護師の介入 Intervention by a certified nurse in dysphagia nursing for aspiration pneumonia caused by GERD
P2-B3-6	ありさわ みく 有澤 未来 Miku Arisawa	公立学校共済組合 北陸中央 病院	看護師・保 健師	とろみ自動調理サーバー導入による効果 一看護師・介護福祉士の業務負担と患者の安全 性の導入前後比較 Effects of Introducing an Automated Thickening Server: A Pre- and Post-Implementation Comparison of Workload for Nurses and Care Workers and Patient Safety

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B4. 地域リハ・在宅2 Community dwelling 2

座長：本村 美和（茨城県立医療大学保健医療学部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B4-1	さとう ゆきえ 佐藤 雪絵 yukie sato	諏訪赤十字病院	管理栄養士	在宅での嚥下調整食実装に対する介護者と医療者の認識の相違：実装科学の枠組みを用いた研究 Differences in Perceptions Between Caregivers and Healthcare Professionals Regarding the Implementation of Modified Diets for Swallowing at Home
P2-B4-2	やまぐち たけやす 山口 健康 Takeyasu Yamaguchi	訪問看護ステーションみんと	看護師・保健師	摂食・嚥下障害看護認定看護師からみた在宅ケアの課題 Challenges in Home Care from the Perspective of a Certified Nurse in Dysphagia
P2-B4-3	たなか としなが 田中 季良 Toshinaga Tanaka	太田川病院訪問看護ステーション	看護師・保健師	食の尊厳支援 Food dignity support
P2-B4-4	くりさわ しょうへい 栗澤 祥平 Shohei Kurisawa	健和会病院	言語聴覚士	在宅STによる地域嚥下支援体制構築への取り組み Efforts to Build a Community-Based Dysphagia Support System by Home-Based Speech Therapists
P2-B4-5	すぎうら けいこ 杉浦 啓子 Keiko Sugiura	聖隷逆瀬台デイサービスセンター	管理栄養士	地域栄養士連携による食事形態情報共有の取り組みと在宅栄養支援の課題 Initiatives for Sharing Information on Meal Formats Through Collaboration Among Community Dietitians and Challenges in Home-Based Nutritional Support
P2-B4-6	かわばた えり 川端 恵里 Eri Kawabata	EatCare クリエイト	言語聴覚士	在宅摂食嚥下支援におけるオンライン調理実習の有用性と課題～生活環境に即した伴走型支援モデルの構築～ Utility and Challenges of Online Cooking Classes in Home-Based Eating and Swallowing Support: Building a Accompaniment-Type Support Model Adapted to Living Environments

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B5. 高齢者 1 Older adults 1

座長：大久保 正彦（永寿会恩方病院 歯科・歯科口腔外科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B5-1	みちした かずお 道下 和生 Kazuo Michishita	愛知淑徳大学/西濃厚生病院	言語聴覚士	横紋筋融解症と診断された27例の嚥下機能の 予後調査 Prognostic study of swallowing function in 27 cases diagnosed with rhabdomyolysis.
P2-B5-2	さいとう よしなり 齋藤 善成 Yoshinari Saitou	介護老人保健施設 ハートケ ア湘南・芦名	作業療法士	SFS ボードによる食事環境調整が職員の 関心と 観察視点に与える影響 Effects of Eating Environment Adjustment Using the SFS Board on Staff Awareness and Observational Perspectives
P2-B5-3	いまい えみこ 今井 絵美子 Emiko Imai	姫路獨協大学	言語聴覚士	心象機能を活用した嚥下失行へのアプローチの 検討 Examination of approach to swallowing apraxia using mental image function
P2-B5-4	おさな い なつみ 小山内 奈津美 NATSUMI OSANAI	津軽保健生活協同組合 健生 病院	言語聴覚士	高齢心不全患者の嚥下能力に影響する要因－嚥 下リハビリテーションの実践からの検討－ Determinants of Swallowing Ability and the Impact of Rehabilitation in Elderly Patients with Heart Failure
P2-B5-5	かない えみ 金井 枝美 Emi Kanai	聖ヨゼフ病院	言語聴覚士	嚥下困難と診断され療養型病床に転院した高齢 患者が言語聴覚士の介入により経口摂取に至っ た例の続報 Following their diagnosis of dysphagia and transfer to a long-term care ward, the elderly patient has successfully resumed oral intake, thanks to targeted intervention by a ST.
P2-B5-6	ひろばやし まさのり 廣林 正則 Masanori Hirobayashi	周南市立新南陽市民病院	言語聴覚士	高齢嚥下障害患者における干渉電流刺激の嚥下 機能に対する即時効果 Immediate Effects of Interferential Current Stimulation on Swallowing Function in Elderly Patients with Dysphagia

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B6. 介入 Intervention

座長：永見 慎輔（北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B6-1	みみた のぶひろ 耳田 伸寛 Nobuhiro Mimita	医療法人 上野病院 言語聴覚室	言語聴覚士	精神科病院における摂食嚥下障害の現状と言語聴覚士の重要性 －言語聴覚室開設後4年間の実績に基づく検討－ Dysphagia in Psychiatric Hospitals: Current Status and Importance of Speech-Language-Hearing Therapists Four-Year Study after Establishing a Therapy Unit
P2-B6-2	てぜん ひろ 手銭 ひろ Hiro Tezen	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	在宅歯科診療における摂食嚥下機能と栄養状態 Eating Problem and Nutritional Status in Home Dental Care Patients
P2-B6-3	やすい なつか 保井 菜緑 NATSUKA YASUI	本山リハビリテーション病院	言語聴覚士	退院時に指導された増粘剤の継続使用は現実的か？－多職種を対象とした意識調査－ Is Continued Use of Hospital-Recommended Thickeners Feasible After Discharge? A Multidisciplinary Survey
P2-B6-4	おくだ まき 奥田 万貴 Maki Okuda	地方独立行政法人桑名市総合医療センター 栄養管理室	管理栄養士	当院で行っている嚥下教室の変遷と課題 Evolution and Current Challenges of a Swallowing Therapy Program at Our Institution
P2-B6-5	わだ ゆり 和田 由史 Yuri Wada	東京都立北療育医療センター	管理栄養士	障害児者入所施設におけるミールラウンド5年間の実施状況と介助者アンケート Five-Year Implementation of Multidisciplinary Meal Rounds for Dysphagia Support and a Caregiver Survey in a Residential Facility for Children and Adults with Disabilities
P2-B6-6	たま ゆうじ 田摩 裕司 YUJI TAMA	医療法人恵泉会 堺平成病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	認知機能低下がある患者の筋力と退院時の摂食レベルの関連 Association between muscle strength and oral intake level at discharge in patients with cognitive impairment.

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B7. 症例2 Case report 2

座長：村田 尚道 (医療法人 湧泉会 ひまわり歯科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B7-1	うえだ さき 植田 早希 Ueda Saki	貴志川リハビリテーション病院	言語聴覚士	重度嚥下障害を呈し、姿勢調整と頸部回旋法を併用した結果、座位・正中位にて経口摂取可能となった一例 A Case of Severe Dysphagia Successfully Managed With Combined Postural Adjustment and Head Rotation, Enabling Oral Intake in the Seated Midline Position
P2-B7-2	ますだ かほり 増田 薫 KAHORI MASUDA	竹の塚脳神経リハビリテーション病院	言語聴覚士	聴神経腫瘍術後の食道入口部開大不全に対しバルーン拡張法と頸部回旋位が有効であった症例 A Case in Which Balloon Dilatation and a Neck rotation Were Effective for Postoperative Esophageal Sphincter Dysfunction Following Acoustic Neuroma Surgery
P2-B7-3	いながき あさこ 稲垣 明咲子 Asako Inagaki	国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部	言語聴覚士	整形外科手術後に生じた上部食道括約筋開大不全に対しバルーン拡張法が有効であった1例 Successful Balloon Dilatation for Impaired Upper Esophageal Sphincter Opening Following Orthopedic Surgery: A Case Report
P2-B7-4	わじま しほ 輪島 志保 SHIHO WAJIMA	岩手県立磐井病院	言語聴覚士	左延髄外側および左小脳梗塞後に嚥下障害を呈した超高齢者の一例 A case of an elderly patient who presented with dysphagia after left lateral medullary and left cerebellar infarction.
P2-B7-5	しらとり えりか 白鳥 瑛理主 Erika Shiratori	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	左側食道入口部開大不全により、術後肺炎発症後に経口摂取が難渋した一症例 A case of difficulty with oral intake after developing postoperative pneumonia due to left-sided upper esophageal sphincter failure.
P2-B7-6	しばた あさこ 柴田 麻子 Asako Shibata	社会医療法人生長会 泉大津急性期メディカルセンター	言語聴覚士	急性期 Wallenberg 症候群に干渉波電気刺激の嚥下訓練を併用した一症例 A case of acute Wallenberg syndrome treated with swallowing therapy using interferometric electrical stimulation

9月12日(土) September 12 (Sat) 9:30~10:00

P2-B8. チームアプローチ 2 Team approach 2

座長：糸田 昌隆 (大阪歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-B8-1	たくま はるみ 詫間 晴美 Harumi Takuma	神戸医療生活協同組合 神戸 協同病院	管理栄養士	NST 回診患者における食形態改善の検討 Consideration of improving the diet form in NST catroping patients
P2-B8-2	あさおか たつひこ 朝岡 蒼津彦 Tatsuhiko Asaoka	一般財団法人 竹田健康財団 竹田綜合病院 栄養科	管理栄養士	当院における摂食嚥下チームの介入実態と経口 摂取状況 (FOIS) の変化 Intervention status of a dysphagia team and changes in oral intake (FOIS) at our hospital
P2-B8-3	おざき さゆり 尾崎 佐有里 Sayuri Ozaki	高岡市市民病院	看護師・保 健師	急性期病院における摂食嚥下チームの活動 —誤嚥性肺炎患者の絶食期間短縮と経口摂取維 持への取り組み— Activities of a Dysphagia Team in an Acute Care Hospital: Efforts to Shorten Fasting Duration and Maintain Oral Intake in Aspiration Pneumonia
P2-B8-4	とだ こうじ 戸田 浩司 KOJI TODA	自治医科大学附属病院看護部	看護師・保 健師	当院における摂食嚥下機能回復体制加算算定の 取り組み Initiatives for Implementing the Feeding and Swallowing Function Recovery Support Surcharge at Jichi Medical University Hospital
P2-B8-5	ささ あんな 笹 杏奈 Anna Sasa	新潟大学大学院医歯保健学研 究科摂食嚥下リハビリテー ション学分野	言語聴覚士	当院における摂食嚥下機能回復支援カンファレ ンス導入効果の検討 Evaluation of the Effects of a Multidisciplinary Dysphagia Rehabilitation Support Conference at Our Hospital
P2-B8-6	こいけ なほ 小池 奈歩 naho Koike	五反田リハビリテーション病 院 リハビリテーション科	言語聴覚士	回復期リハビリテーション病院はコミュニティ・ フード・サポートの中心的役割を担えるか The importance of convalescent rehabilitation hospitals to take a central coordinator in food- related support within Community Care System

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10～10:40

P2-C1. 基礎研究3 Basic research 3

座長：原 豪志（衣笠あかり訪問歯科クリニック）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C1-1	おむら こうき 大村 航希 Koki Omura	森永乳業株式会社 研究本部 食品開発研究所	企業関係者	栄養補助ゼリーの物性と摂食嚥下時の舌圧との関連 Relationship between tongue pressure during squeezing and swallowing and mechanical properties of nutritional jelly products
P2-C1-2	ながた けんたろう 長田 健太郎 Kentaro Nagata	徳島大学大学院創成科学研究科 理工学専攻	学生・大学院生	健康成人における嚥下音と表面筋電図の持続時間の関連性調査 Investigating the relationships between swallowing sound duration and surface electromyography duration in healthy subjects
P2-C1-3	おぬき わかな 小貴 和佳奈 Wakana Onuki	新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部	歯科医師	新たな食品物性を有するゼリーが口腔運動にもたらす効果 Effects of a Jelly with Novel Food Texture Properties on Oral Motor Function
P2-C1-4	やぶなか なつみ 藪中 夏海 Natsumi Yabunaka	森ノ宮医療大学	理学療法士	ハイフローネーザルセラピーが嚥下機能に与える影響～喉頭挙上機能と鼻咽腔閉鎖機能に着目して～ Impact of High-Flow Nasal Cannula Therapy on Swallowing Function: Focusing on Laryngeal Elevation and Velopharyngeal Closure
P2-C1-5	いのうえ まこと 井上 誠 Makoto Inoue	新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	学生・大学院生	唾液分泌低下が咀嚼動態にもたらす影響 Effect of hyposalivation on masticatory movements in healthy humans
P2-C1-6	しむら えいじ 志村 栄二 Eiji Shimura	愛知淑徳大学	言語聴覚士	口唇閉鎖トレーニングによる嚥下機能指標と舌骨上筋群活動の変化 Changes in Swallowing-Related Measures and Suprahyoid Muscle Activity after Lip-Closure Training

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10~10:40

P2-C2. 栄養 3 Nutrition 3

座長：上島 順子 (NTT 東日本関東病院)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C2-1	よしだ しりゅう 吉田 志竜 Shiryu Yoshida	国立病院機構宇多野病院 リ ハビリテーション科	言語聴覚士	多職種介入により普通食摂取に至った短腸症候 群合併 ICU-acquired weakness の1例 A case of ICU-acquired weakness complicated by short bowel syndrome that achieved normal food intake through multidisciplinary intervention
P2-C2-2	かわむら りりこ 河村 瑞梨子 ruriko kawamura	ならまちリハビリテーション 病院 栄養科	管理栄養士	経鼻栄養から経口摂取へ移行する段階での嚥下 訓練で PT-INR が急変した脳出血症例 A case of intracerebral hemorrhage with a sudden change in PT-INR during swallowing training in the transition from nasogastric feeding to oral intake
P2-C2-3	あいす はの か 愛須 穂乃香 Honoka Aisu	重工大須病院 医療技術部 栄 養科	管理栄養士	経鼻経管栄養の91歳女性に対し多職種連携と 積極的栄養介入で希望食摂取と ADL 改善を認 めた一例 Achievement of preferred food intake and ADL improvement in a 91-year-old on tube feeding through multidisciplinary and active nutrition intervention.
P2-C2-4	かくら い まき 加倉井 真紀 Maki Kakurai	茨城県立中央病院	看護師・保 健師	食欲低下から嚥下障害をきたし、生きることを 諦めていた高齢患者への食支援 Dietary support for elderly patients who have developed dysphagia following a loss of appetite and have given up on living
P2-C2-5	まつもと みさと 松本 美里 Misato Matsumoto	市立敦賀病院 栄養管理室	管理栄養士	栄養指導を契機に家族の意向を把握し食形態調 整を行った一症例 A Case Study on Diet Modification Based on Family Preferences Identified Through Nutritional Counseling
P2-C2-6	にしばやし まいこ 西林 栄子 Eiko Nishibayashi	医療法人社団幸隆会 多摩丘 陵病院	看護師・保 健師	嚥下障害患者の施設退院を見据えた適切な食事 介助方法の検討 A Case Study on Feeding Assistance for a Patient with Dysphagia Prior to Discharge to a Care Facility

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10～10:40

P2-C3. 看護3 Nursing 3

座長：新井 香奈子（滋賀県立大学 人間看護学部・人間看護学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C3-1	むらかみ みき 村上 未来 Miki Murakami	東京都立神経病院	看護師・保健師	神経筋疾患専門病院における看護師の食事介助の現状と課題 Current Practices and Challenges of Nursing Feeding Assistance in a Specialized Neuromuscular Disease Hospital
P2-C3-2	おがた のりこ 緒方 範子 noriko ogata	地方独立行政法人 大牟田市立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下機能が低下している患者に対する服薬介助の現状 Current Status of Medication Assistance for Patients with Dysphagia
P2-C3-3	やまぐち あやか 山口 彩香 Ayaka Yamaguchi	筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院	看護師・保健師	頸髄損傷および重症感染を伴う気管切開患者に対する摂食嚥下リハビリテーションの経過と多職種連携の検討 Course of Dysphagia Rehabilitation and Examination of Multidisciplinary Collaboration in a Tracheostomized Patient with Cervical Spinal Cord injury and Severe Infection
P2-C3-4	こまい のりこ 駒井 則子 NORIKO KOMAI	順天堂大学医学部付属練馬病院	看護師・保健師	摂食嚥下運動が誘発された右前頭葉広範囲脳梗塞患者への援助 Nursing Care to Promote Swallowing Movements Through Independent Eating in Patients with Frontal Lobe Stroke
P2-C3-5	ふじさわ ゆみ 藤澤 ゆみ Yumi Fujisawa	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	看護師・保健師	摂食嚥下障害患者の日常ケア統一と質向上を目指して Toward Standardizing Daily Care and Improving Quality for Patients with Dysphagia
P2-C3-6	とほり あいり 戸堀 愛史 Airi Tabori	社会医療法人正和会 介護老人保健施設 男鹿老健	看護師・保健師	意識障害患者における覚醒維持への看護の意義～嚥下機能に焦点を当てて～ The Significance of Nursing in Maintaining Wakefulness in Patients with Consciousness Disorders: Focusing on Swallowing Function and Autonomic Nervous System Activity

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10~10:40

P2-C4. 多職種連携 Transdisciplinary Collaboration

座長：塚田 徹（竹田綜合病院リハビリテーション部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C4-1	よねもと ゆうだい 米本 雄大 Yudai Yonemoto	医療法人 関東病院	作業療法士	障害者病棟における季節行事を活用したお楽しみ嚥下の実践 -多職種連携と QOL への影響- Practice of "Enjoyment Swallowing" using seasonal events in disability wards: Multi-professional collaboration and its impact on QOL.
P2-C4-2	すずき のりこ 鈴木 典子 Noriko Suzuki	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	理学療法士	症例検討用紙の改訂による摂食嚥下情報の標準化と多職種連携の強化 Standardization of Swallowing Information and Strengthening of Multidisciplinary Collaboration Through the Revision of Case Study Forms
P2-C4-3	まつもと えいこ 松本 英子 Eiko Matsumoto	医療法人 吉備会 中谷外科病院 栄養部	管理栄養士	食を切り口としたコーチング型アドバンス・ケア・プランニング介入が人生満足度に与える影響 Effects of a Food-Focused Coaching-Based Advance Care Planning Intervention on Life Satisfaction
P2-C4-4	いけざき みゆき 池崎 美由紀 Miyuki Ikezaki	医療法人協和会 川西市立総合医療センター 言語療法科	言語聴覚士	入院直後から患者及び家族の希望を重視し適切な経口摂取の提案と在宅復帰が出来た一例 a case of successful home discharge through early consideration of patient and family wishes and appropriate oral intake management
P2-C4-5	かじ はるか 梶 玄 Haruka Kaji	国立病院機構北陸病院	看護師・保健師	摂食・嚥下障害看護認定看護師のコンサルテーションの実態からみたチームアプローチの課題 Challenges of team approach from the perspective of consultation of Certified Nurses in Dysphasia Nursing
P2-C4-6	おおかわ しゅうじ 大川 修司 Shuji Okawa	大川歯科医院	歯科医師	黒岩メソッドを核にした食支援多職種連携の構築ー10年間の地域教育と臨床実践からー Development of an Interprofessional Feeding Support Network Centered on the Kuroiwa Method. Ten Years of Community-Based Education and Clinical Practice

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10~10:40

P2-C5. 高齢者 2 Older adults 2

座長：岡崎 英人（医療法人桂名会 瀬尾記念慶友病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C5-1	ながと かずこ 長戸 和子 kazuko nagato	医) 徳治会 徳治会歯科医院 宇城	歯科衛生士	肺炎再発を繰り返した高齢者への訪問歯科の積極的な関与によって改善の得られた症例 A Case Report of Reduced Recurrent Aspiration Pneumonia Following Intensive Home-Visit Dental Care for an Elderly Patient
P2-C5-2	いまい あやの 今井 彩乃 Ayano Imai	奥羽大学歯学部歯科補綴学講座 座高齢者歯科学分野	歯科医師	経鼻経管栄養患者に対し段階的摂食訓練により経口摂取が可能となった症例 A case in which oral intake was achieved through stepwise feeding training in a patient receiving nasogastric tube feeding
P2-C5-3	にへい よしかつ 二瓶 義勝 Yoshikatsu Nihei	奥羽大学歯学部歯科補綴学講座 座高齢者歯科学分野	歯科医師	むせが多く間接訓練に拒否があった要介護高齢者に対応した症例 A case of an older adult requiring long-term care with frequent coughing who refused indirect swallowing training
P2-C5-4	たけい けいすけ 武井 圭佑 Keisuke Takei	特別養護老人ホーム 癒しの里 南千住	管理栄養士	食事形態をめぐる本人・家族の意向対立への介入-特別養護老人ホームにおけるコンフリクトマネジメント- Intervention in Conflicts Between Residents and Their Families Regarding Meal Arrangements: Conflict Management in Special Nursing Homes for the Elderly
P2-C5-5	よしの ひろみ 吉野 ひろみ Hiromi Yoshino	はら歯科口腔外科・嚥下 曾根 田駅前	歯科衛生士	嚥下障害のあるパーキンソン病の患者が簡単に自分でケアできるように口腔内環境を改善した1症例 A case in which the oral environment was improved so that a Parkinson's disease patient with dysphagia could easily care for themselves
P2-C5-6	わたなべ まさと 渡辺 真人 Masato Watanabe	藤沢市歯科医師会	歯科医師	食事時間の延長を主訴に来院した Pierre Robin 症候群高齢者に対するアプローチの一例 A Case Study of the Approach to an Elderly Patient with Pierre Robin Syndrome Who Presented with Prolonged Meal Times

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10～10:40

P2-C6. 経口摂取 Oral intake

座長：名古 将太郎 (医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院リハビリテーション部言語聴覚療科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C6-1	まつうら ひでき 松浦 英輝 Hideki Matsuura	三郷中央総合病院	言語聴覚士	経口での栄養摂取の確立を予測する上での MASA と FIM 項目の検討 The analysis of MASA and FIM for predicting the achievement of oral nutrition intake.
P2-C6-2	よしだ りつこ 吉田 律子 Ritsuko Yoshida	阪南中央病院	言語聴覚士	当院における嚥下障害を有する高齢者の経口摂 取の可否に関連する因子の検討 Examination of factors related to the possibility of oral intake in elderly people with dysphagia in our hospital.
P2-C6-3	おおき あすか 大木 明日香 Asuka Oki	医療法人静和会浅井病院 リ ハビリテーション科	言語聴覚士	地域包括ケア病棟における経口摂取再獲得に関 連する因子の検討 Factors Associated with the Reacquisition of Oral Intake in a Community-Based Integrated Care Ward
P2-C6-4	なかむら ちよこ 中村 智代子 Chiyoko Nakamura	医療法人社団大和会 平成扇 病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	療養病棟での経口摂取再獲得への戦略的アプ ローチー「移行の好機」を捉える評価指標と多 職種介入の統合— Strategic Approaches to Oral Intake Recovery in Long-Term Care Wards: Identifying the “Window of Transition” and Multidisciplinary Care
P2-C6-5	せきど しょうこ 関戸 葉子 Yoko Sekido	岡部病院診療部栄養科	管理栄養士	災害時における嚥下障害患者への食事提供体制 の検討～非常食の調理・試食研修会を通して～ Study on Meal Services for Dysphagic Patients in Emergencies: Based on Training Workshops for Cooking and Tasting Emergency Food
P2-C6-6	もりさわ ひろゆき 森澤 広行 Hiroyuki Morisawa	姫路獨協大学 医療保健学部 言語聴覚療法学科	言語聴覚士	災害時における摂食嚥下障害者の生活の困難さ ～JRAT 活動を行った言語聴覚士への調査～ Post-Disaster Living Challenges for Patients with Dysphagia: A Survey of Speech-Language-Hearing Therapists Engaged in JRAT Activities

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10~10:40

P2-C7. 症例3 Case report 3

座長：佐藤 百合子（藤田医科大学病院 リハビリテーション部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C7-1	ふくむら なおき 福村 直毅 Naoki Fukumura	社会医療法人健和会 健和会 病院	医師	パーキンソン病 Yahr5 で肺炎を繰り返し胃瘻造 設後に完全側臥位経口栄養で6年間に在宅生活継 続した症例 A case of Yahr5 Parkinson's disease with repeated pneumonia and gastrostomy, who was able to continue home life for 6 years with complete lateral position method oral nutrition.
P2-C7-2	かけもと せりな 掛本 世里菜 Serina Kakemoto	松原徳洲会病院 リハビリテー ション科	言語聴覚士	誤嚥性肺炎をくり返す認知症患者に対する、完 全側臥位法での摂食嚥下の有用性 A consideration of elderly patients with dementia in whom a swallowing method using the complete lateral decubitus position was attempted in an acute care hospital.
P2-C7-3	あいざわ ひとし 相澤 仁志 Hitoshi Aizawa	市立大町総合病院 特殊歯科 口腔外科	歯科医師	深頸部膿瘍後の重度嚥下障害に対し完全側臥位 法を経て常食摂取可能になった1例 A case of severe dysphagia following a deep neck abscess, in which the patient was able to consume regular food after being placed in the complete lateral decubitus position.
P2-C7-4	あおやま えみ 青山 衣美 Emi Aoyama	特別養護老人ホーム開寿園	管理栄養士	多職種介入により、食事摂取量の増加がみら れた認知症高齢者の一症例 A case of an elderly dementia patient whose food intake increased due to multidisciplinary intervention
P2-C7-5	ほんま ひさえ 本間 久恵 Hisae Honma	富士歯科医院	歯科衛生士	誤嚥防止術後の在宅 ALS 患者に、お楽しみドリ ンクを叶えたチーム連携の報告 Report on team collaboration that made it possible for ALS patients at home after aspiration prevention surgery to enjoy drinks

9月12日(土) September 12 (Sat) 10:10～10:40

P2-C8. チームアプローチ 3 Team approach 3

座長：中嶋 優太（南魚沼市民病院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P2-C8-1	かど ともみ 門 智美 tomomi kado	医療法人圭良会 永生病院 リ ハビリテーション部	言語聴覚士	経口摂取困難であった患者に対してのチームア プローチ～当院における摂食嚥下の取り組み～ Team approach to patient with poor oral intake:Our initiatives for dysphagia management
P2-C8-2	やまざき あかり 山崎 朱里 Akari Yamazaki	多摩丘陵病院	言語聴覚士	多職種連携介入によって病識欠如患者の行動変 容が示され、嚥下障害の改善に繋がった症例 A case in which behavioral changes through multidisciplinary collaboration led to improved swallowing function in a patient with impaired insight into their illness.
P2-C8-3	まえだ まほ 前田 真秀 Maho Maeda	金沢赤十字病院	言語聴覚士	言語聴覚士と歯科衛生士の連携が経口摂取再獲 得に寄与した視床出血の一例 A Case of Thalamic Hemorrhage in Which Collaboration Between a Speech-Language- Hearing-Therapist and a Dental Hygienist Contributed to the Restoration of Oral Intake
P2-C8-4	なかじま るい 中島 瑠偉 Rui Nakajima	特定医療法人 博仁会 第一 病院	言語聴覚士	ST 介入と多職種連携により PEG 造設回避に 至った一例 A Case in Which PEG Placement Was Avoided Through Speech Therapy Intervention and Multidisciplinary Collaboration
P2-C8-5	きたがわ ゆうき 北川 雄貴 Yuuki kitagawa	訪問看護ステーション「コス モス」	言語聴覚士	「在宅患者に対して言語聴覚士・歯科衛生士・ケ アマネージャーが同時訪問し歯磨きの自立が維 持できた症例」 A case study where a ST,DH,CM conducted a joint home visit for a patient,successfully maintaining their independence in toothbrushing.
P2-C8-6	ちば さちこ 千葉 幸子 Sachiko Chiba	医療法人祥義会 井上整形外 科医院訪問リハビリテーショ ン	理学療法士	在宅高齢者におけるリハビリテーション・栄養・ 口腔の三位一体アプローチにより低栄養が改善 した一例 A case of improved malnutrition in a home- dwelling older adult through a multidisciplinary approach: Rehabilitation, Nutrition, and Oral Management

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A1. 小児1 Pediatrics 1

座長：曾根 翠（東京都立東大和療育センター）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A1-1	おおもと せいこ 大本 聖子 Seiko Oomoto	横浜市立若葉台特別支援学校	管理栄養士	学校給食における摂食嚥下調整食の個別対応 ～歯科医師による評価を踏まえた標準化と実践～ Individualized Support for Dysphagia-Modifield School Meals ～Standardization and Practice Based on Dentist Assessment～
P3-A1-2	こだま あやこ 児玉 綾子 Ayako Kodama	藤沢市歯科医師会	歯科衛生士	地域歯科医師会における摂食機能支援相談会の 取り組みについて Activities of Regional Dental Association's Counseling Program for Eating Function Support
P3-A1-3	さかい はるか 坂井 遥 Haruka Sakai	新潟大学大学院医歯保健学研 究科摂食嚥下リハビリテー ション学分野	歯科衛生士	摂食嚥下障害児に外食の機会を提供する「ばり あふりーお食事会」の取り組み The "Barrier-Free meal Event" for patients with dysphagia and their families
P3-A1-4	なかむら あすか 中村 明日香 Asuka Nakamura	あいち小児保健医療総合セン ター	言語聴覚士	当院のダウン症児の摂食訓練終了後のフォロー アップ調査－アンケート結果から見た現状と課 題－ A Follow-up Study on Children with Down Syndrome Following Feeding Therapy at Our Medical Center. Current Status and Challenges Identified Through Questionnaire Surveys
P3-A1-5	おのであら ゆり 小野寺 友里 Yuri Onodera	ことのは発達相談室	言語聴覚士	発達障がい児への摂食指導についての一考察 A Study on Feeding Support for Children with Developmental Disabilities
P3-A1-6	ほりこし 堀越 あゆみ Ayumi Horikoshi	名古屋歯科保健医療センター	歯科衛生士	歯科受診を目的とした自閉スペクトラム症患者 における服薬状況の検討 An examination of medication use in patients with autism spectrum disorder presenting for dental treatment

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A2. 栄養4 Nutrition 4

座長：清水 昭雄（三重大学附属病院 リハビリテーション部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A2-1	おおた かつひと 太田 勝仁 Katsuhito Ota	医療法人健康会 霧島記念 病院	管理栄養士	加水ゼロ式調理法を用いた糖尿病患者への嚥下 調整食アプローチ Swallowing food approach for diabetic patients using zero water addition cooking method.
P3-A2-2	ひぐち りょうこ 樋口 良子 Ryoko Higuchi	神奈川県立保健福祉大学	管理栄養士	「加水ゼロ式調理法」を用いたペースト食のビタ ミン B1 充足性の検討 Evaluation of Vitamin B1 Adequacy in Paste Diets Prepared Using the Zero-water Cooking Method
P3-A2-3	かんざき さとこ 神崎 智子 Satoko Kanzaki	県立広島大学大学院 総合学 術研究科 人間文化学専攻	言語聴覚士	シリンジ法による市販液体栄養補助食品のとろ みの調査ならびにエネルギー密度との関連につ いて Investigation of the viscosity of commercially available liquid nutritional supplements using the syringe test and its relationship to energy density.
P3-A2-4	かadowaki えりか 門脇 恵理香 Erika Kadowaki	札幌西円山病院	その他	五感活用法を取り入れたお粥の離水を防止する 介護技術 —前後比較による離水と食事体験の評価— Evaluation of a Multisensory Caregiving Technique for Preventing Water Separation in Rice Porridge: A Pre-Post Study of Water Separation and Mealtime Experience
P3-A2-5	さとう ゆうこ 佐藤 祐子 YUKO SATO		言語聴覚士	嚥下調整食「やわとろ酒田のラーメン」の開発 Development of a Texture-modified Ramen for People with Dysphagia: “Yawatoro Sakata no Ramen”
P3-A2-6	いしだ みどり 石田 みどり MIDORI ISHIDA	医療法人社団 鈴正会 生駒 病院	管理栄養士	当院のソフト食の取り組み Our hospital's approach to soft foods

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A3. 評価1 Evaluation 1

座長：杉下 周平（高砂市民病院リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A3-1	あおき ひろなり 青木 寛成 Hironari Aoki	北原国際病院	言語聴覚士	嚥下内視鏡検査における喉頭蓋形態の観察 ー嚥下造影検査による形態判定を踏まえての比較ー Endoscopic Assessment of Epiglottic Structure: Comparison with Morphological Findings from Videofluorography
P3-A3-2	いとう ふみえ 伊藤 史恵 Fumie Ito	札幌医科大学	医師	嚥下外来における内視鏡下嚥下機能評価に関する検討 Examination about the videoendoscopic evaluation of swallowing in the swallowing outpatient department
P3-A3-3	しらいし はるよ 白石 春代 Haruyo Shiraishi	さいたま市立病院	看護師・保健師	見えることで変わる食事支援 ー嚥下内視鏡画像の共有による多職種カンファ レンスを通してー Use of FEES Images in Multidisciplinary Conferences Helps Oral Intake Support
P3-A3-4	いしわた のぼる 石渡 登 Noboru Ishiwata	城東桐和会 タムス瑞江病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	内科医の経鼻内視鏡による VE 検査の可能性 ~ 急性期病院における取り組み~ Possibility of VE examination using transnasal endoscopy by an internal medicine physician ~Initiatives in acute care hospital~
P3-A3-5	まつむら 松村 あずみ azumi matsumura	医療法人博光会御幸病院	言語聴覚士	当院での嚥下エコー導入の取り組み Initiatives for Swallowing Ultrasound at Our Hospital
P3-A3-6	あらかわ もとき 荒川 元喜 MOTOKI ARAKAWA	山梨大学医学部附属病院	管理栄養士	「超音波動画画像を用いた非侵襲的嚥下機能評価 法の検討」 A Study on a Non-invasive Method for Evaluating Swallowing Function Using Real-time Ultrasound Imaging

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A4. 窒息 Suffocation

座長：米永 一理（日本大学 歯学部 摂食機能療法学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A4-1	いのくち のぶひろ 井口 寛弘 Nobuhiro Inokuchi	JA とりで総合医療センター	歯科医師	急性期病院の機能限界を打破する窒息予防戦略：NST 主導による多職種タスクフォースの構築と成果 Strategy to Overcome Functional Limits of Acute Care Hospitals: A Multidisciplinary Choking Prevention Task Force Initiated by the NST.
P3-A4-2	よつひ やすひろ 四井 泰大 Yasuhiro Yotsui	福岡大学病院 看護部	看護師・保健師	緊急入院患者における窒息予防のための食事形態決定プロセス標準化 一多職種連携による ER からの取り組みー Standardizing the Meal-Form Selection Process to Prevent Choking in Emergency Admissions -A Multidisciplinary Initiative Originating from the Emergency Room-
P3-A4-3	たかはし ようすけ 高橋 陽助 Yosuke Takahashi	長崎大学病院 嚥下障害治療センター	歯科医師	窒息対策を目的とした食形態選択フローチャートに関するアンケート調査 Survey of a Flowchart for Selecting Food Consistencies to Prevent Choking
P3-A4-4				演題取り下げ
P3-A4-5	ふじた ちえ 藤田 知恵 Chie Fujita	社会医療法人信愛会 交野病院	管理栄養士	向精神薬中止後 ADL 回復へ繋げることができた、過去に窒息も経験した低栄養患者の一例 The malnourished patient recovered the ADL by stopping psychotropic drugs, who had choked in the past.: A case report
P3-A4-6	なかむら ふみえ 中村 史絵 Fumie Nakamura	道南勤労者医療協会 函館後北病院	言語聴覚士	窒息リスクの高い終末期頸部食道癌患者に対し、切れ目ない支援により最期まで経口摂取を継続し得た一例 A case in which a terminally ill cervical esophageal cancer patient at high risk of choking was able to continue oral intake until the very end through continuous support.

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A5. 高齢者 3 Older adults 3

座長：若杉 葉子（医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック 歯科診療部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A5-1	まるやま けんた 丸山 研太 KENTA MARUYAMA	医療法人浜仁会 手稲浜仁会 病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	当院のサルコペニア患者における摂食嚥下障害 の有病率の検討について A study on the prevalence of feeding and swallowing disorders in sarcopenia patients at our hospital
P3-A5-2	えびさき ひろみ 江崎 ひろみ Hiromi Ezaki	神戸常盤大学 口腔保健学科	大学・専門学 校等教員	オーラルフレイル予防に資する実践的介入研究 (1 報) 口腔機能と注意処理速度に合わせたプロ グラムの検討 Practical Intervention Study Contributing to Oral Frailty Prevention :Current Status of Oral Function and Attention Processing Speed of Participants in Oral Health Classes
P3-A5-3	かなまる ともこ 金丸 智子 tomoko kanamaru	社会医療法人愛仁会 明石医 療センター	看護師・保 健師	急性期病院における嚥下障害リスク患者スク リーニング導入への取り組み Implementation of Swallowing Dysphagia Risk Screening in Acute Care Hospitals
P3-A5-4	まつい みさき 松井 美早紀 Misaki Matsui	医療法人社団 三思会 くすの 木病院	看護師・保 健師	当院における誤嚥性肺炎患者の食事再開までの 期間および嚥下評価実施状況に関する実態調査 Time to Resumption of Oral Intake and Swallowing Assessment Practices in Patients with Aspiration Pneumonia : A Retrospective Descriptive Report from Our Hospital.
P3-A5-5	おおの けんた 大野 憲太 Kenta Ohno	苑田会 竹の塚脳神経リハビ リテーション病院	言語聴覚士	超高齢嚥下障害患者における常食移行と FIM 利得の関連:ケースシリーズ Relationship between improvement of functional independence measure gain and feedingto have staple food in super-olderly patients oner 90years old with dysphagia
P3-A5-6	うゑたに りえ 植谷 利英 Rie Uetani	川崎医科大学高齢者医療セン ター	言語聴覚士	高齢入院患者の食欲と食事摂取量の変化と口腔 運動機能・嚥下機能の関係について The Relationship Between Changes in Appetite and Food Intake and Oral Motor and Swallowing Functions in Elderly Inpatients

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A6. 訓練 1 Exercise 1

座長：石山 寿子（群馬バース大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A6-1	さいとう ひろたか 齊藤 大孝 Hirotaka Saito	神戸医療生活協同組合 神戸 協同病院	言語聴覚士	当院における干渉電流型低周波治療器の導入効果の検証 Verification of the effectiveness of introducing an interferential current type low-frequency therapy device at our hospital.
P3-A6-2	こんどう えいじ 近藤 英司 Eiji Kondo	国立病院機構函館医療セン ター 歯科口腔外科	歯科医師	挿管による声帯麻痺に対する干渉電流型治療器の治療経験 Treatment experience with interferential current therapy devices for vocal cord paralysis caused by intubation.
P3-A6-3	わだもり さや 和田守 紗也 Saya Wadamori	医療法人協和会第二協立病院	言語聴覚士	表面筋電バイオフィードバック機器を用いた訓練が代償方法の学習に繋がった一症例 A Case in Which Training Using sEMG Biofeedback Facilitated the Learning of Compensatory Strategies
P3-A6-4	たかはし みき 高橋 美希 Miki Takahashi	公益社団法人地域医療振興協 会 湯沢町保健医療センター	管理栄養士	自主的ペットボトルブローイングが食事への自己効力感に与えた影響—2 症例の検討— The impact of self Initiated PET Bottle Blowing on self efficacy for eating:A case study of two patients
P3-A6-5	かたぎり ひろゆき 片桐 啓之 Hiroyuki Katagiri	新潟厚生連 長岡中央綜合 病院	言語聴覚士	椅子立ち上がり訓練により咀嚼力改善を認めた長期入所高齢者 3 症例 Three Cases of Improved Masticatory Performance Following Chair-Stand Exercise
P3-A6-6	うえまつ かおる 上松 郁 Kaoru Uematsu	介護老人保健施設 衣笠ろう けん	管理栄養士	衣笠ろうけんにおける口腔体操による嚥下機能改善の効果 The effect of oral exercises on improving swallowing function at Kinugasa Rouken

一般演題 ポスター発表 9月13日(日) September 13 (Sun) ポスター会場 Poster

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00～9:30

P3-A7. 口腔ケア 1 Oral care 1

座長：中村 純也(国立長寿医療研究センター 歯科口腔外科)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A7-1	たむら しげる 田村 茂 Shigeru Tamura	藤田医科大学病院	看護師・保健師	服薬用カレンダーを活用した口腔ケア実践の取り組み Initiatives for oral care using a medication calendar
P3-A7-2	ほんだ ひろゆき 本田 寛幸 Hiroyuki Honda	春日井製菓株式会社	企業関係者	口腔内セルフケアにおける飴の有効性について Effectiveness of Candies for Oral Self-Care
P3-A7-3	いわさか しょうご 岩坂 省吾 Shogo Iwasaka	医療法人財団 聖十字会 西日本病院	言語聴覚士	口腔機能アセスメントツール OHAT-J の研修会実施による看護職員の意識の変化への影響 The Impact of Conducting Training Sessions on the Oral Health Assessment Tool OHAT-J on Changes in Nurses' Awareness.
P3-A7-4	もりや めぐみ 守谷 恵未 Megumi Moriya	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 歯科口腔外科部	歯科衛生士	口腔ケアの統一化に向けた病棟看護師・介護士の口腔ケア実施状況の調査 Survey of Oral Care Practices Among Ward Nurses and Caregivers Aimed at Standardizing Oral Care
P3-A7-5	なみかわ かへ 浪川 夏絵 Kae Namikawa	昭和医科大学歯学研究科 口腔健康管理学講座 口腔機能管理学部門	学生・大学院生	AIを用いた動画による口腔健康状態評価を目指した口腔健康状態撮影支援アプリの開発 Development of an AI-based method for oral health assessment using video
P3-A7-6	さかぐち ゆき 坂口 由妃 Yuki Sakaguchi	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立豊島病院	歯科衛生士	栄養サポートにおける歯科衛生士の取り組み Dental hygienists' efforts in nutritional support

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:00~9:30

P3-A8. 取り組み 1 Approach 1

座長：尾崎 健一（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-A8-1	とみた ましこ 富田 佳子 Yoshiko Tomita	出雲医療生活協同組合 出雲 市民病院	言語聴覚士	みんなで同じものを食べられる喜びを～インクルーシブフードへの第一歩～ Pleasure of eating the same thing with everyone -The first step inclusive food-
P3-A8-2	とみた じゅんこ 富田 純子 Junko Tomita	愛知学院大学歯学部附属病院 歯科衛生部	歯科衛生士	大学病院歯科衛生士の摂食嚥下リハビリテーションに関する意識調査 Awareness of Dysphagia Rehabilitation Among Dental Hygienists in a University Dental Hospital: A Survey
P3-A8-3	ほうちど ひな 寶地戸 陽菜 Hina Hochido	浜松市リハビリテーション 病院	歯科衛生士	歯科スタッフによる口腔ケア勉強会後の職員の 変化:アンケート調査 Questionnaire survey : Changes of oral care skills after training sessions by dental staff
P3-A8-4	いがらし 五十嵐 めぐみ Megumi Igarashi	福井県食品加工研究所	管理栄養士	多職種で開発した指導用ツールを用いた嚥下調整食の学びを深めるための試み Learning Enhancement on Texture Modified Diets Using an Instructional Tool Developed Through Multidisciplinary Collaboration
P3-A8-5	まきの まさみ 前野 雅美 Masami Mao	公益社団法人信和会 京都民 医連あすかい病院	管理栄養士	2026 年診療報酬改定における嚥下調整食提供への特別食加算と調製労務費の関係性の検討 Relationship between the Special Meal Addition for Dysphagia Diets in the Medical fee system and Labor Costs for Food Preparation Personnel
P3-A8-6	せきや ひでき 関谷 秀樹 Hideki Sekiya	東邦大学医療センター大森病 院・栄養治療センター	歯科医師	摂食嚥下機能に影響を与える薬剤に関する大学間共同研究～第2報 東邦大学大森病院と慈恵大学病院の比較 Inter-university Collaborative Research on Drugs Affecting Swallowing Function: Report No. 2—A Comparison Between Toho University and Jikei University

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B1. 小児2・他 Pediatrics 2/Miscellaneous

座長：四津 有人（日本医科大学付属病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B1-1	たかはし まや 高橋 摩耶 Maya Takahashi	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	言語聴覚士	喉頭軟化症を合併した視覚聴覚二重障害児の哺乳障害に対する言語聴覚療法の一例 A Case Report of Speech-Language Therapy for Feeding Difficulties in an Infant with Deafblindness and Laryngomalacia
P3-B1-2				演題取り下げ
P3-B1-3	たねだ なな 種田 菜那 Nana Taneda	独立行政法人 国立病院機構 函館医療センター リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下評価困難者に対する頸部装着型機器の使用効果 Effectiveness of using neck-worn devices for individuals with swallowing difficulties
P3-B1-4	すなはら かずお 砂原 一夫 Kazuo Sunahara	神戸徳洲会病院リハビリテーション科	言語聴覚士	頭頸部の屈曲や伸展肢位が及ぼす嚥下機能の変化 Changes in swallowing function due to head and neck flexion and extension positions
P3-B1-5	すずき なおや 鈴木 直哉 Naoya Suzuki	船橋二和病院	言語聴覚士	終末期の摂食支援～フラット位とスプーンテクニック～ End-of-Life Eating Support: Flat Position and Spoon Technique
P3-B1-6	しま ふるか 島 楓佳 Fuka Shima	日本大学歯学部 摂食機能療法学講座	歯科医師	要介護高齢者の口腔内細菌数に関連する因子の予備調査 Preliminary Study of Factors Associated with Oral Bacteria Counts in Elderly Individuals Requiring Long-Term Care

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B2. 栄養5 Nutrition 5

座長：稲垣 良輔（藤田医科大学病院 リハビリテーション医学I）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B2-1	ばく えんか 朴 媛華 Yuanhua Piao	東京科学大学摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科衛生士	口腔機能低下症を有する高齢者の機能性胃腸疾患および栄養状態を検討した3例 Functional Gastrointestinal Disorders and Nutritional Status in Older Adults with Oral Hypofunction: A Three-Case Study
P3-B2-2	やまだ みか 山田 美香 Mika Yamada	医療法人社団秀和会 つがや す歯科医院	歯科衛生士	要介護高齢者に対する当院のミールラウンドの概要 Meal rounds for elderly patients requiring long-term care performed by our dental clinic
P3-B2-3	えちご 和恵 KAZUE ECHIGO	岡部病院診療部栄養科	管理栄養士	長期入院高齢患者における嚥下障害と低栄養の関連性—BMI改善群の下腿周囲長変化と背景因子の検討— Relationship Between Dysphagia and Malnutrition in Long-Term Hospitalized Elderly Patients: Changes in Calf Circumference and Background Factors in the BMI-Improved Group
P3-B2-4	きむら まみこ 木村 麻美子 Mamiko Kimura	衣笠病院 栄養科	管理栄養士	通所介護における摂食嚥下リハビリテーション 栄養専門管理栄養士介入と嚥下リハビリテーション導入の効果 Effect of Intervention by Nutrition Specialist Dietitians in Feeding and Swallowing Rehabilitation and Introduction of Swallowing Rehabilitation in Day Care Services.
P3-B2-5	まつなが ゆみこ 松長 由美子 yumiko matsunaga	富山西リハビリテーション病院 栄養科	管理栄養士	リハ栄養管理を実践し自宅退院した嚥下障害患者が食事指導により経口摂取を継続できた症例 A Case Study of a Patient with Dysphagia Who Was Able to Continue Oral Intake After Discharge Through Rehabilitation Nutrition and Dietary Guidance
P3-B2-6	とのか なみ 殿本 可奈美 Kanami Tonoki	社会福祉法人三恵会 介護老人保健施設 希望の館	管理栄養士	介護老人保健施設の摂食拒否を呈した認知症高齢者が多職種協働により食べる喜びを再獲得した一症例 Interdisciplinary Support Enabling an Older Adult with Dementia to Reacquire the Joy of Eating: A Case Report from a Long-Term Care Health Facility

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B3. 評価2 Evaluation 2

座長：中山 剛志（大久野病院 リハビリテーション部言語聴覚療法科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B3-1	ごとう しんぺい 後藤 新平 shimpei goto	南部徳洲会病院 歯科口腔 外科	歯科医師	当院における嚥下造影検査の実施状況 — 2022 年から 2025 年の後方視的検討 — Current Status of Videofluoroscopic Swallowing Examination at Our Hospital: A Retrospective Study from 2022 to 2025
P3-B3-2	あべ やすこ 阿部 庸子 Yasuko Abe	社会福祉法人浴風会 浴風会 病院	医師	高齢患者を対象とした嚥下造影検査の難しさ The difficulty of videofluoroscopic examination for elderly patients
P3-B3-3	おおたか あきお 大高 明夫 akio ootaka	和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	統合失調症患者の嚥下障害における抗精神病薬 投与量と嚥下機能の乖離—VF 所見に基づく 4 例の検討— Discrepancy Between Antipsychotic Dosage and Swallowing Function in Patients with Schizophrenia with Dysphagia: A Study of Four Cases Based on VF Findings
P3-B3-4	ひがしぐち あやの 東口 綾乃 Ayano Higashiguchi	医療法人社団 石橋内科 広畑 センチュリー病院	言語聴覚士	複雑な病態を呈した 3 症例における VF 検査の 有効性とリハビリテーションへの応用 Effectiveness of VideoFluoroscopic examination of swallowing and Its Application to Rehabilitation in Three Cases with Complex Pathologies
P3-B3-5	いいだ たかとし 飯田 貴俊 Takatoshi Iida	北海道医療大学 歯学部 生体 機能・病態学系 摂食機能療 法・加齢歯科学	歯科医師	口腔内残留量計測による口腔期摂食嚥下障害評 価法の開発 Development of an Evaluation Method for Oral- Phase Dysphagia Using Quantitative Measurement of Oral Residue
P3-B3-6	こばやし りほ 小林 莉歩 Riho Kobayashi	津軽保健生活協同組合 健生 病院	言語聴覚士	胃蠕動運動障害により嚥下機能と消化器症状の 乖離を呈した一例 — 長期的嚥下リハビリテーション介入の意義 — A Case of Discrepancy Between Swallowing Function and Gastrointestinal Symptoms Due to Gastric Motility Disorder : The Significance of Long-term Dysphagia Rehabilitation

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B4. 地域リハ・在宅3 Community dwelling 3

座長：迫田 綾子（日本赤十字広島看護大学看護学部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B4-1	たなか そうこ 田中 陽子 Yoko Tanaka	日本大学松戸歯学部有病者歯 科検査医学	歯科医師	食支援はどうあるべきかを考えさせられた進行 性核上麻痺による摂食機能障害患者の1例 A case report of the difficulty of managing severe dysphagia in PSP patient
P3-B4-2	いわつぎ ゆい 岩月 優衣 Yui Iwatsuki	名古屋市立大学医学部付属東 部医療センター	言語聴覚士	定期的な嚥下評価により経口摂取を継続できた 進行性核状性麻痺の一例 Maintenance of Oral Intake Through Regular Swallowing Assessment: A Case of Progressive Supranuclear Palsy
P3-B4-3	さいとう さち 齋藤 幸 Sachi Saito	医療法人祥義会 二本松歯科 医院	歯科衛生士	在宅療養患者への継続的な歯科介入により3食 経口摂取へ移行した一症例 Case report: Continuous dental intervention in a home-care patient led to a transition to oral intake.
P3-B4-4	やまぐち かなえ 山口 香苗 Kanae Yamaguchi	医療法人きずな歯科医院	歯科衛生士	在宅における歯科医院と介護支援専門員の協働 による摂食嚥下支援の一事例 A Case of Dysphagia Support Through Collaboration Between a Dental Clinic and a Home Care Manager
P3-B4-5				演題取り下げ
P3-B4-6	なかむら じゅんや 中村 純也 Junya Nakamura	国立長寿医療研究センター歯 科口腔外科部	歯科医師	5Ms フレームワークを活用し歯科訪問診療へ移 行した若年発症のアルツハイマー型認知症患者 の一例 Transition to home-visit dental treatment using the 5Ms framework in a patient with young-onset Alzheimer's Disease: A case report

9月13日(日) September 13(Sun) 9:30~10:00

P3-B5. 高齢者 4 Older adults 4

座長：深田 順子（愛知県立大学 看護学部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B5-1	なかた はるか 中田 悠 Haruka Nakata	東京歯科大学短期大学	歯科衛生士	施設入所高齢者における咬筋厚と口腔機能の関連性 Association between Masseter Muscle Thickness and Oral Function among Older Adults in Nursing Home
P3-B5-2	おかざわ まさし 岡澤 仁志 MASASHI OKAZAWA	明海大学歯学部	歯科医師	特別養護老人ホームにおける多職種による経口摂取維持の取り組みおよび5年の経過報告 Five-Year Outcomes of Multidisciplinary Efforts to Maintain Oral Intake in a Special Nursing Home for the Elderly
P3-B5-3	ひらやま けいこ 平山 景子 Keiko Hirayama	特別養護老人ホーム コスモスの里	管理栄養士	適切な経口維持支援に向けた課題抽出のための入所者の栄養状態の実態把握 Assessing the nutritional status of residents to identify challenges in providing appropriate oral feeding support
P3-B5-4	むらみ みき 室 美樹 Miki Muro	介護老人保健施設 ハートケア湘南・芦名	管理栄養士	施設外の食事に対して老健管理栄養士としてできること ～在宅復帰に向けた外出・外泊支援～ What Dietitians in Geriatric Health Services Facilities Can Do to Support Off-Site Meals-Outing and Overnight Support for Home Return
P3-B5-5	なご あきこ 名古 亜貴子 Akiko Nako	介護老人保健施設ハートケア湘南・芦名	管理栄養士	多職種連携で食べるを支える「食事アドバイスツール」～在宅復帰に向けた外出・外泊支援～ A Multidisciplinary Eating Support Advisory System for Strengthening -Outing and Overnight Support for Home Return
P3-B5-6	おざわ すみこ 小澤 寿美子 Sumiko Ozawa	介護老人福祉施設 心花春	管理栄養士	嚥下調整食喫食者に対する食の楽しみの提供への取組ー施設イベントを通してー Initiatives to pleasure of eating for residents with dysphagia at event of Nursing home

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B6. 回復期 1 Convalescent phase 1

座長：室谷 ゆかり (アルペンリハビリテーション病院診療部)

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B6-1	きたしげ ちえみ 北重 智恵美 Chiemi Kitashige	藤井会リハビリテーション病院	言語聴覚士	脳梗塞後、嚥下障害と高次脳機能障害を呈した症例に対し、経口摂取への移行に苦慮した一例 A case of a patient who, following a cerebral infarction, developed dysphagia and higher brain dysfunction, in whom transitioning to oral intake proved challenging
P3-B6-2	おかだ はるか 岡田 遥 Haruka Okada	江東リハビリテーション病院	言語聴覚士	嚥下機能改善術後に部分的な経口摂取を獲得した延髄出血の症例ーリハ病院と嚥下機能外科をつなぐー A Case of Medullary Hemorrhage Achieving Partial Oral Intake After Swallowing Function Improvement Surgery -Bridging a Rehabilitation Hospital and Swallowing Surgery-
P3-B6-3	はやし あいみ 林 愛美 Aimi Hayashi	イムス東京葛飾総合病院	言語聴覚士	経口摂取困難であったが、長期の訓練により常食摂取に至った症例 Long-Term Rehabilitation Enabled Oral Intake of Regular Diet in a Patient with Severe Dysphagia
P3-B6-4	やまうち たえこ 山内 妙子 Taeko Yamauchi	医療法人社団 高邦会 成田リハビリテーション病院	看護師・保健師	脳出血後に嚥下障害、失語、片麻痺を呈した患者が、多職種連携により経口摂取に至った一症例 A case of a patient who developed dysphagia, aphasia, and hemiplegia after intracerebral hemorrhage and achieved oral intake through multidisciplinary collaboration.
P3-B6-5	うめきだ かずき 梅木田 一輝 Kazuki Umekida	医療法人財団 健貢会 総合東京病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	重度嚥下障害を呈した患者に対し、多職種間での連携が経口摂取の安全性向上につながった一例 An example of how multidisciplinary collaboration led to improved safety of oral intake in a patient with severe dysphagia
P3-B6-6	takeuchi ibuki 竹内 維吹 Ibuki Takeuchi	仁寿会 石川病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	悪性関節リウマチに伴う嚥下障害に対し VF による経時的評価が有用であった一症例 A Case in Which Video Fluoroscopy Was Useful for the Longitudinal Assessment of Dysphagia Associated with Rheumatoid Arthritis

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B7. 症例4 Case report 4

座長：布施 郁子（恩賜財団済生会守山市民病院リハビリテーション科・脳神経外科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B7-1	ながた さちこ 永田 幸子 Sachiko Nagata	東京科学大学病院 歯科衛生 保健部	歯科衛生士	右舌痛による舌半側切除後の摂食嚥下機能低下 において口腔筋機能療法(MFT)を応用した一例 A case of oral myofunctional therapy (MFT) applied to impaired eating and swallowing function due to tongue cancer.
P3-B7-2	おきた ひろかず 沖田 浩一 Hirokazu Okita	金沢大学附属病院 リハビリ テーション部	言語聴覚士	食道がん術後患者における口腔機能の経時的変 化と吻合部狭窄の関連 Investigation of the association between postoperative dysphagia and anastomotic stricture in patients after esophagectomy for esophageal cancer
P3-B7-3	かたおか ともみ 片岡 朋美 Tomomi Kataoka	医誠会 国際総合病院	管理栄養士	喉頭気管分離術後に経口摂取へ移行し、短期間 で排便コントロールが改善した1症例 A case in which oral intake was resumed after laryngotracheal separation surgery, resulting in rapid improvement of diarrhea
P3-B7-4	おの みずき 小野 瑞祈 Mizuki Ono	新潟大学大学院医歯保健学研 究科 摂食嚥下リハビリテー ション学分野	歯科医師	喉頭水平部分切除術後、摂食嚥下リハビリテー ションを継続し予後良好であった症例. A case with favorable prognosis after horizontal partial laryngectomy through continued dysphagia rehabilitation.
P3-B7-5	の も と ようすけ 野本 洋輔 Yosuke Nomoto	札幌孝仁会記念病院	言語聴覚士	喉頭中央切除術を施行した難治性嚥下障害の一 例～術後逆流により経口摂取に難渋した症例～ A case of intractable dysphagia treated with laryngeal central resection complicated by post- operative reflux hindering oral intake.
P3-B7-6	すがはら たかひろ 菅原 崇広 Takahiro Sugahara	周南市立新南陽市民病院	言語聴覚士	腺様嚢胞癌術後の重度嚥下障害に対し NAIM 法と代償的手段による QOL 支援を試みた一例 QOL Support via NAIM and Sensory Stimulation: A Case Report of Severe Dysphagia after Adenoid Cystic Carcinoma Surgery

9月13日(日) September 13 (Sun) 9:30~10:00

P3-B8. 取り組み2 Approach 2

座長：大久保 明（大久保歯科医院）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-B8-1	つきなが あきひろ 月永 暁裕 Akihiro Tsukinaga	国立国際医療センター病院リ ハビリテーション科	言語聴覚士	ベトナム・バックマイ病院における嚥下障害診 療体制構築に向けた支援報告 Establishing a Dysphagia Management System at Bach Mai Hospital, Vietnam: A Support Report
P3-B8-2	こうだ まさゆき 神田 正之 Masayuki Kouda	周南市立新南陽市民病院	言語聴覚士	リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算 の導入がリハプロセスと臨床アウトカムに及ぼ す影響 Impact of the Rehab-Nutrition-Oral Collaboration Fee on Rehab Processes and Clinical Outcomes.
P3-B8-3	はやし ともこ 林 知子 Tomoko Hayashi	協和マリナホスピタル	言語聴覚士	当法人における摂食嚥下プロジェクトの報告と その成果について Overview and results report of our organization's feeding and swallowing project
P3-B8-4	しもまち ともこ 下町 智子 Tomoko Shimomachi	訪問看護ステーションつなぐ	看護師・保 健師	訪問看護ステーションにおける終末期がん患者 への SST 連携体制の構築 Establishment of a Collaborative SST System for Terminal Cancer Patients in Home-Visit Nursing Stations
P3-B8-5	いわこし のりこ 岩腰 紀子 NORIKO IWAKOSHI	高山赤十字病院	看護師・保 健師	介護老人保健施設から摂食嚥下障害看護認定看 護師が求められること —3年8ヶ月の統計から解ったこと— Nursing care facilities for the elderly are seeking certified nurses specializing in feeding and swallowing disorders.
P3-B8-6	むらかみ まさはる 村上 正治 Masaharu Murakami	国立長寿医療研究センター 歯科口腔外科部	歯科医師	歯科訪問診療における嚥下内視鏡検査の遠隔共 有による教育的支援システムとしての有用性 Usefulness of a Remote Sharing System for Videoendoscopic Evaluation of Swallowing as an Educational Support Tool in Home-Visit Dental Treatment

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C1. 回復期2 Convalescent phase 2

座長：尾崎 研一郎（足利赤十字病院 第二リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C1-1	寺見 雅子 Masako Terami	済生会東神奈川リハビリテーション病院	看護師・保健師	摂食嚥下機能回復体制整備の現状と課題 Current Status and Challenges in Developing a Dysphagia Care System at Our Hospital
P3-C1-2	佐藤 菜花 Nanoka Sato	五反田リハビリテーション病院	歯科衛生士	回復期リハビリテーション病院における 歯科衛生士主導の口腔管理体制構築 Oral Management in a Convalescent Rehabilitation Hospital: Building a Dental Hygienist-Led System
P3-C1-3	田中 公美 Kumi Tanaka	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	回復期リハビリテーション病棟入院中の患者の口腔内細菌数は、リハ効果と関連する Relationship between oral bacterial counts and rehabilitation outcomes in the convalescent ward
P3-C1-4	大村 智也 Tomoya Omura	平成病院	言語聴覚士	回復期リハビリテーション病棟における 整形外科疾患患者の入院中の食事形態低下に関連する要因-第2報- Factors Associated with The Decline in Diet Texture Levels during Hospitalization among Orthopedic Patients in a Convalescent Rehabilitation Ward: Part 2
P3-C1-5	久保 ゆかり Yukari Kubo	平成とうや病院	言語聴覚士	「入院患者における嚥下スクリーニング結果と食形態の変化との関連」 Association Between Swallowing Screening Results and Changes in Dietary Consistency in Hospitalized Patients
P3-C1-6	黒田 あゆ美 AYUMI KURODA	千葉みなとリハビリテーション病院	管理栄養士	頸椎損傷・ギランバレー症候群・グルコーストランスポート1欠損症の患者でケトン食で食事管理を行った症例 Ketogenic Diet Management for a Case of GLUT1 Deficiency Syndrome Complicated by Cervical Spinal Injury and Guillain-Barré Syndrome.

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C2. 呼吸 Respiration

座長：村田 和樹（佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C2-1	かわもと 河本 ちひろ Chihiro Kawamoto	石川県立中央病院 リハビリ テーション室	言語聴覚士	当院における気管切開患者の摂食・嚥下機能の経過 Progress in Eating and Swallowing Function in Tracheostomy Patients at Our Hospital
P3-C2-2	うらべ はるき 占部 晴樹 Haruki Urabe	社会医療法人福西会 福西会 南病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	長期間気管カニューレの留置後、嚥下機能が病 前の状態まで回復した2症例 Two cases in which swallowing function recovered to the pre-illness state after long-term tracheal cannula placement
P3-C2-3	もり あかお 森 西衣 Akane Mori	おかもと訪問看護ステーショ ン枚方	言語聴覚士	多職種連携による呼吸嚥下協調障害への介入が 社会参加と QOL 向上に寄与した COPD 患者の 一例 A case of a COPD patient in whom multidisciplinary intervention for respiratory- swallowing coordination disorder contributed to social participation and improved QOL.
P3-C2-4	みやわき ともこ 宮脇 智子 Tomoko Miyawaki	平山病院 リハビリテーショ ン課	言語聴覚士	外傷性くも膜下出血のち複音ハーモニカ呼吸 訓練により摂食嚥下機能改善を認めた1例 Respiratory Training Using a Double Harmonica Improved Feeding and Swallowing Function after Traumatic Subarachnoid Hemorrhage: A Case Report
P3-C2-5	すずき ゆかり 鈴木 結加里 yukari suzuki	徳島大学病院小児歯科	歯科医師	CBCT での軟口蓋の筋脂肪組成ならびに鼻腔通 気状態の流体力学解析による口呼吸小児に関す る包括的研究 Comprehensive Study of Mouth-Breathing Children Using CBCT Analysis of Soft Palate Muscle and Fat Composition and Computational Fluid Dynamics Analysis of Nasal Airflow
P3-C2-6	ひさまつのりこ 久松 徳子 Noriko Hisamatsu	長崎大学病院	歯科医師	同大工学部実践型講義「創成プロジェクト」で の呼吸機能改善ゲームの開発とビジネス展開の 体験 Experience in developing and commercializing a respiratory function improvement game in the university's Faculty of Engineering's practical lecture.

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C3. 評価3 Evaluation 3

座長：谷合 信一（防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C3-1	しみず しょうたろう 清水 翔太郎 Shotaro Shimizu	浜松医科大学医学部附属病院 看護部	看護師・保健師	質問紙 Swallow-5 を用いた入院前嚥下スクリーニングの見直し —EAT-10 との比較— Review of Preoperative Dysphagia Screening Using the Swallow-5 Questionnaire: A Comparison with EAT-10
P3-C3-2	なりた えりか 成田 瑛里香 Erika Narita	大館市立総合病院 栄養科	管理栄養士	嚥下スクリーニングとしての簡易嚥下評価ツール EAT-10 の有用性に対する検討 Consideration of the usefulness of the simple swallowing evaluation tool EAT-10 as a swallowing screening
P3-C3-3	いけだ なお 池田 菜緒 Nao Ikeda	鹿児島大学口腔顎顔面補綴学分野	歯科医師	各口腔機能検査と嚥下質問紙との関連 —EAT-10 と聖隷式嚥下質問紙による検討— Relationship Between Oral Function Tests and Swallowing Questionnaires: An Examination Using the EAT-10 and the Seirei Swallowing Questionnaire
P3-C3-4	にし の あきひろ 西野 昌宏 Akihiro Nishino	洛和会丸太町病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	入院時 EAT-10 導入 1 年の追跡調査でみえた看護師の嚥下に対する意識の浸透と行動変化 Growing Awareness and Behavioral Changes in Nurses' Swallowing Practice: A One-Year Follow-Up After EAT-10 Screening Implementation at Admission
P3-C3-5	なかえ ひろみ 中江 弘美 Hiromi Nakae	徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科	歯科衛生士	スコア評価式聖隷式嚥下質問紙を用いた働き世代のオーラルフレイル評価の可能性の検討 Investigation of the Possibility of Evaluating Oral Frailty in the Working-Age Generation Using the Seirei Dysphagia Questionnaire by Scoring
P3-C3-6	ねくなが しんや 福永 真哉 SHINYA FUKUNAGA	川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科	言語聴覚士	施設入所・通所高齢者におけるオーラルフレイルの定量的評価の試み Investigation of Oral Frailty in Nursing home Residents and Day-Care Elderly Residents Using Quantitative Oral Function Assessments

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C4. 地域リハ・在宅 4 Community dwelling 4

座長：西村 和子（藤田医科大学病院看護部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C4-1	みねまつ 峰松 まどか Madoka Minematsu	医療法人社団藤聖会富山西総合病院リハビリテーション科	言語聴覚士	地域・在宅へつなぐ当院嚥下外来の成果と課題 Achievements and Challenges of Our Swallowing Clinic in Connecting Patients to Community and Home Care
P3-C4-2	いけだ まき 池田 真喜 Maki Ikeda	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	看護師・保健師	超高齢嚥下障害患者への退院後訪問 －家族の受容段階に応じた専門性のリレー介入プロセス－ Post-discharge Home Visits for Super-elderly Patients with Dysphagia: A Process of Specialized "Relay Intervention" Tailored to the Family's Stages of Acceptance
P3-C4-3	やさか みほ 八阪 美穂 Miho Yasaka	パナソニックエイジフリーケアセンター四条烏丸訪問看護	看護師・保健師	誤嚥と向き合いながら「その人らしさ」を支えた在宅ケアの一例 A Case of Home Care Supporting Patient-Centered Living While Managing Aspiration
P3-C4-4	ひご ともゆき 肥後 智行 Tomoyuki Higo	東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	特別養護老人ホームで半側空間無視に伴う摂食嚥下障害が非リハビリテーション専門職の介助で改善した一例 A Case of Dysphagia related to Hemispatial Neglect Improved Through Feeding Assistance by Non-Rehabilitation Professionals in a Special Nursing Home
P3-C4-5	あおと さら 青砥 紗羅 sara aoto	杉並リハビリテーション病院	言語聴覚士	息こらえ嚥下の再獲得により、約6年を経て食事形態が向上した一症例 Diet Advancement Six Years After Reacquisition of supraglottic swallow : A Case Report
P3-C4-6	しみず よしたか 清水 義貴 Yoshitaka Shimizu	ミールエイド Merak	看護師・保健師	びまん性特発性骨増殖症による嚥下障害で胃瘻増設後に常食を再獲得した在宅支援の1例 Home-Based Dysphagia Support Leading to Regular Diet After Gastrostomy in a Patient with Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C5. 口腔ケア 2 Oral care 2

座長：吉田 光由（藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C5-1	おおい たかし 大井 孝 Takashi Ohi	石巻赤十字病院 歯科	歯科医師	誤嚥性肺炎患者への入院中の専門的口腔管理と退院後の生命予後との関連 The Association Between Professional Oral Health Management During Hospitalization and Post-Discharge Mortality in Older Patients with Aspiration Pneumonia
P3-C5-2	あなん ちはる 阿南 千春 Chiharu Anan	大分岡病院 口腔顎顔面センター マキシロフェイシャルユニット	歯科衛生士	GLIM 基準からみる周術期等口腔機能管理患者の口腔状態の調査 A survey of oral status based on GLIM criteria in patients with perioperative oral management
P3-C5-3	なかむら まさとし 中村 雅俊 Masatoshi Nakamura	社会医療法人健友会上戸町病院	言語聴覚士	当院における口腔環境と関連要因の分析 An Analysis of Oral Health and Its Associated Factors at Our Hospital
P3-C5-4	さ さ き り ま る 佐々木 力丸 Rikimaru Sasaki	抱星デンタルクリニック	歯科医師	還元型イオン水配合口腔用ジェルの使用の有無による口腔内環境の比較検討 Comparative Study of the Oral Environment With and Without the Use of a Reduced Ion Water-Containing Oral Gel
P3-C5-5	ちば たかひろ 千葉 高大 Takahiro Chiba	公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 口腔管理センター・歯科	歯科医師	急性期病院入院患者におけるマセレートジェルによる口腔乾燥物除去効果の検討 Examination of the effectiveness of Macerate Gel in removing dry mouth material in patients admitted to acute care hospitals
P3-C5-6	そのだ かおり 園田 香 Kaori Sonoda	昭和医科大学大学院保健医療学研究科	歯科衛生士	舌癌術後患者にける患側・健側の口腔清掃状態の比較 Comparison of Oral Hygiene Status Between the Affected Side and the Healthy Side in Postoperative Tongue Cancer Patients

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C6. 訓練 2 Exercise 2

座長：大橋 美穂（日本医科大学付属病院 リハビリテーション科）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C6-1	ながさか もとみ 水坂 元臣 Motoomi Nagasaka	国立長寿医療研究センター	言語聴覚士	呼吸機能評価に基づく巻き笛訓練の段階的介入 Step-by-step intervention in reciprocal whistle training based on respiratory function assessment
P3-C6-2	しんなが たくや 新永 拓也 Takuya Shinnaga	帝京科学大学 医療科学部 理 学療法学科	理学療法士	地域在住高齢者における低強度呼吸筋トレーニ ングが呼吸・口腔・嚥下機能に及ぼす影響 Effects of Low-Intensity Expiratory Muscle Strength Training on Respiratory, Oral, and Swallowing Function in Community-Dwelling Older Adults
P3-C6-3	ふじおか せいじ 藤岡 誠二 Seiji Fujioka	摂食嚥下のミカタ	言語聴覚士	舌筋強化訓練キープアップエクササイズの効果 ～サーモグラフィーを用いた効果測定～ The Effects of Tongue Muscle Strengthening Exercises: “Keep-Up Exercises”—Measuring Effects Using Thermography.
P3-C6-4	なみき ちづる 並木 千鶴 Chizuru Namiki	東京科学大学医歯学総合研究 科摂食嚥下リハビリテーション 学分野	歯科医師	舌圧向上を目的としたマウスピース型口腔内装 置使用による効果 Training Effects of a Custom Mouthpiece-Type Oral Appliance on Tongue Function in Older Adults with Oral Hypofunction
P3-C6-5	かわごえ まいこ 川越 麻衣子 Maiko Kawagoe	広島大学病院診療支援部歯科 部門	歯科衛生士	歯科外来において歯科衛生士が摂食機能療法と 口腔衛生管理を実施した一症例 A Case of Feeding and Swallowing Therapy and Oral Hygiene Management Provided by a Dental Hygienist in an Outpatient Dental Setting
P3-C6-6	みつはし まさこ 三笥 雅子 Masako Mitsuhashi	東京科学大学大学院 医歯学 総合研究科 摂食嚥下リハビ リテーション学分野	歯科医師	小脳出血後水頭症患者の口腔周囲筋過緊張の 軽減により嚥下反射惹起の改善を認めた一例 A Case of Improved Swallowing Reflex Initiation Following Reduction of Perioral Muscle Hydrocephalus After Cerebellar Hemorrhage

9月13日(日) September 13 (Sun) 10:10~10:40

P3-C7. 症例5 Case report 5

座長：清水 充子（埼玉県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション部）

演題番号	演 者	所 属	職 種	演 題
P3-C7-1	かめい なつみ 亀井 夏美 natsumi kamei	奥羽大学	歯科医師	知的能力障害者の食形態を段階的に変更することによりとろみ全解除を行った1例 A case of complete discontinuation of thickened liquids by gradually modifying food texture in a person with an intellectual disability.
P3-C7-2	なかもと はるか 中本 晴香 Haruka Nakamoto	富山協立病院	言語聴覚士	声帯過外転位を呈する頭部外傷例におけるSV装着下の嚥下動態—食塊流速による差異— Swallowing Changes Associated with Speaking Valve Use and Bolus Flow Rate in a Patient with Traumatic Brain Injury and Vocal Fold Hyperabduction
P3-C7-3	きくらの としひこ 木倉 敏彦 Toshihiko Kikura	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 内科	医師	咽頭癌化学放射線治療後の嚥下障害に難渋した経験 Experience of difficulty with swallowing disorder after chemoradiotherapy for pharyngeal cancer
P3-C7-4	なかやま ゆう 中山 優 Yuu Nakayama	医療法人 関東病院	理学療法士	維持期のPT介入による経管栄養患者に対しての安全な経口摂取獲得に向けた姿勢調整 Postural Adjustment for Safe Oral Intake Recovery in Tube-Fed Patients: The Role of Physical Therapy in the Maintenance Phase
P3-C7-5	いとう かつみ 井藤 克美 Katsumi Ito	アベックスメディカル・デンタルクリニック	歯科医師	多職種連携により口腔衛生管理と口腔機能管理を行い嚥下機能を維持した1症例 A Case of Maintaining Swallowing Function Through Interprofessional Collaboration in Oral Hygiene and Oral Function Management
P3-C7-6	おおば ゆうすけ 大庭 悠輔 Yusuke Oba	東京北医療センター	言語聴覚士	予後予測困難であった嚥下障害症例に対するTime-Limited Trialの有効性 Effectiveness of a Time-Limited Trial for Dysphagia Case with Uncertain Prognosis